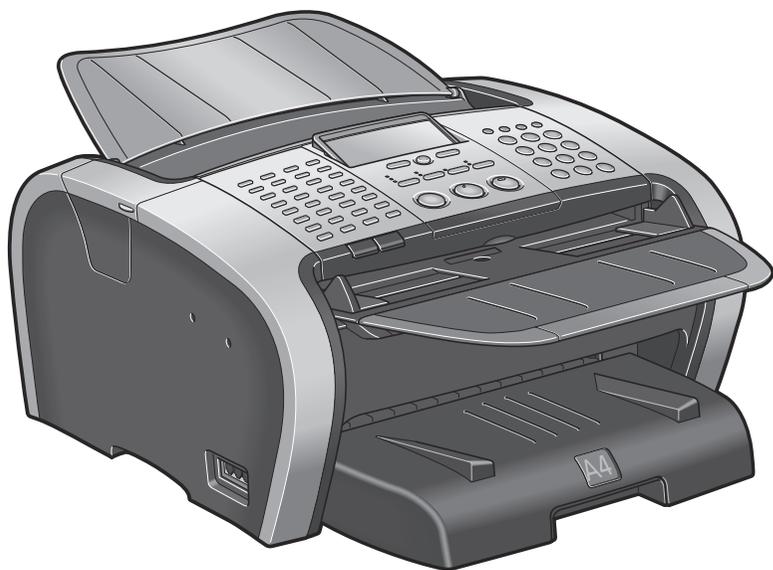


Canon

Canofax JX6000

ユーザーズガイド

- 本機をお使いになる前に
- 発信元情報の登録
- ファクスを送信する
- 送信先のダイヤル登録
- ファクスを受信する
- メモリを活用した送受信機能
- コピーする
- 各種機能の登録／設定
- 日常の管理
- 困ったときは



ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。



QT51475V03

はじめに

このたびは Canofax JX6000 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。Canofax JX6000 は、G3 規格のファクシミリです。

Canofax JX6000 の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に、本書をお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。万一、本機にトラブルが生じた場合には、「困ったときには」(P.220) をご覧ください。トラブルが解消できない場合には、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

参考

操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

お願い： 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒に持ち帰ってください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。

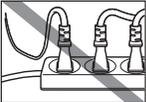
同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合もあります。

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の注意事項を必ずお守りください。

▲ 警告

- 本機から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーを使っている方は、異常を感じたら本機から離れて、医師にご相談ください。
- 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

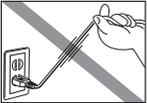
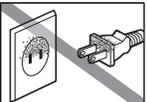
設置場所について	アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因となることがあります。
	本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。
電源、電源コードについて	本機に付属されている電源コードをご使用ください。なお、本機の動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。 電源電圧：AC 100V 電源周波数：50/60 Hz (付属の電源コードは AC 100V 用です)
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となることがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っばったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。 
	電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）場合は、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。
	タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となることがあります。 
	近くに雷が発生したときは、本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因となることがあります。
	電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因となることがあります。

取扱いについて	<p>万一、本機を落としたり、破損した場合は、まず本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本機に水や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）が入ったりしないよう、また濡らさないようご注意ください。万一、内部にこれらの液体が入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となることがあります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は、特にご注意ください。</p>
	<p>開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。</p>
	<p>万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となることがあります。特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。</p>
	<p>万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。すぐに電源スイッチを切り、そのあと必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。</p>
	<p>本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電気部品などに接触すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。</p>
保守／点検について	<p>清掃のときは、本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となることがあります。</p>
	<p>本機の清掃のときは、水を含ませて固く絞った布で汚れを落としたあと、から拭きしてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性有機溶剤が本体内部の電気部品に接触したり、揮発ガスが本機内に充満すると火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>ローラ類の清掃のときは、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性有機溶剤が本体内部の電気部品に接触したり、揮発ガスが本機内に充満すると火災・感電の原因となることがあります。なお、ローラ類の清掃には中性洗剤を使用しないでください。ローラ類を傷める原因となることがあります。</p>
	<p>内部の点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。</p>



▲ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

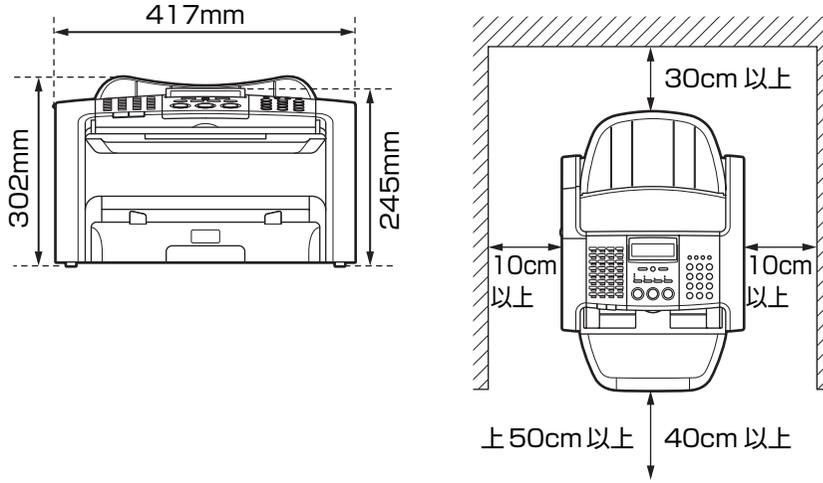
<p>設置場所について</p>	<p>湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。 次の使用環境でお使いください。温度：5℃～35℃ 湿度：10%RH～90%RH</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となる場合があります。</p> <p>振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となる場合があります。</p> <p>本機の上に重いものをのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因となる場合があります。</p>
<p>電源、電源コードについて</p>	<p>電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷ついて火災・感電の原因となる場合があります。</p>  <p>延長電源コードは使用しないでください。</p>  <p>旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>いつでも電源プラグを抜けるように、電源プラグの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。</p>  <p>電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。ほこりにより、火災・感電の原因となる場合があります。なお、点検に関してはお買い上げの販売店にご相談ください。</p> 
<p>取扱いについて</p>	<p>移動させる場合は、本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、モジュージャックコードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。⇒P.16, P.17, P.193</p> <p>本機を持ち運ぶときは、指定された場所を持ってください。本機を落として、けがの原因になる場合があります。⇒P.193</p>
<p>保守／点検について</p>	<p>お手入れの際は、安全のために本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p> <p>本機に水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。</p> <p>参照先のイラストで示した補充場所以外のところにスタンプインクをこぼさないように注意してください。発煙の原因となる場合があります。⇒P.192</p> <p>紙づまりの処理などで内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が本体内部に触れないように点検してください。 やけどや感電の原因となる場合があります。</p> <p>紙づまりで記録紙を本体内部から取り除くときは、紙づまりしている記録紙の上ののっているインクが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。</p> <p>記録紙を補給するとき、つまった原稿や記録紙を取り除くときは、原稿や記録紙の端を手を切ったりしないように注意して扱ってください。</p> <p>背面カバーは強力なスプリングで自動的に元に戻ります。背面カバーに指を挟まないように気をつけてください。</p> <p>本体内部の清掃時やつまった記録紙を取り除くときなど、本体内部の部品に触れないように気をつけてください。</p>

FINE カートリッジについて	<p>お子様の手の届かないところに保管してください。 誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ1、2杯の水を飲ませてください。 万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。</p>	
	<p>インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。 インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。 万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。</p>	
	<p>FINE カートリッジを振らないでください。 インクが飛び散って周囲や衣服を汚すことがあります。</p>	
	<p>印刷後、FINE カートリッジの金属部分やノズル部分には触れないでください。 熱くなっている場合があります、やけどの原因になることがあります。</p>	
	<p>FINE カートリッジを洗浄したり、拭いたりしないでください。</p>	
	<p>FINE カートリッジを火中に投げないでください。</p>	
	<p>FINE カートリッジに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本機の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。</p>	
	<p>FINE カートリッジを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。</p>	
	<p>一度取り付けた FINE カートリッジは、不必要に取り外さないでください。</p>	

■ 使用上のご注意

重要

本機を使用するにあたっては次のことに注意してください。

設置場所について	<p>本機の操作、消耗品の交換、日常点検など、本機を正しく使用し性能を維持するための作業を行なうために、下の図の数値よりも十分に広い設置スペースを確保してください。</p>  <p>本機は、傾けないようにしてください。正常に動作しない場合があります。</p> <p>ラジオやテレビのそばには置かないでください。ラジオやテレビの音声に雑音が入ったり、テレビの画面にゆがみやチラツキが出ることがあります。</p>
電源について	<p>電源を切ったときは、10 秒以上の間隔をおいてから ON にしてください。⇒ P.17</p> <p>電源ノイズの大きい系統（たとえば空調装置、電動タイプライタ等）と電源コンセントを共有することは避けてください。</p> <p>本機は国内電源仕様です。海外ではご使用にならないでください。</p>
その他	<p>本機を移送するときは、FINE カートリッジは装着したまま梱包してください。</p> <p>本製品を保管／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れる恐れがあります。</p> <p>本機のお手入れについては「お手入れ」(P.188)を参照してください。</p> <p>停電がおきた場合や電源を切った場合は、ファクスの機能・動作が停止すると同時に、メモリに蓄積されている原稿（同報送信、メモリ送信、メモリ代行受信、タイマー送信など）が消えてしまう場合があります（内蔵のバックアップ電池により、約 30 分はバックアップ機能がはたらきます）。</p>

もくじ

はじめに.....	1	受信設定を確認／変更する.....	96
安全にお使いいただくために.....	2	ファクス原稿を自動的に受信する.....	98
第1章 本機をお使いになる前に.....	9	呼び出し音が鳴ったら.....	99
パッケージの内容を確認する.....	9	FAX/TEL 切り替えの確認と設定変更.....	100
お使いになる前の準備.....	10	受信状況を確認する.....	104
電話回線の接続と電源の入れかた.....	11	受信データの印字かすれを検知する.....	106
電源の切りかた.....	17	記録紙やインクが切れたときの受信方法.....	109
電話回線の種類を設定する.....	18	相手先のファクスにセットされている原稿を受信する.....	111
各部の名称とはたらき.....	20	接続した電話機から受信操作する.....	114
原稿をセットする.....	25	留守番電話を活用する.....	115
第2章 発信元情報の登録.....	27	記録紙の優先順位と有効記録範囲.....	116
文字の入力方式.....	27	受信原稿のプリント方法を変更する.....	118
文字を入力するには.....	28	情報サービスを活用する.....	120
発信元の情報を登録する.....	29	1本の電話回線で2種類の電話番号を活用する.....	123
日付と時刻の登録.....	31	特定の相手先からの呼び出し音を変更する.....	128
電話番号の登録.....	32	第6章 メモリを活用した送受信機能... 129	
会社や部門の名称の登録.....	33	メモリで受信する.....	129
第3章 ファクスを送信する.....	34	受信原稿を転送する.....	133
送信するための3つの方法.....	34	メモリ内の原稿を扱う.....	138
メモリから送信する.....	35	指定した時刻にポーリング受信する.....	145
原稿を直接送信する.....	37	第7章 コピーする..... 150	
相手先に電話してから送信する.....	39	コピーする.....	150
送信前にダイヤルトーンを確認する.....	41	拡大／縮小してコピーする.....	154
送信原稿をセットする.....	43	画像を鮮明にコピーする.....	157
画像を鮮明に送信する.....	45	画像が欠けないようにコピーする.....	159
送信状況を確認する.....	47	第8章 各種機能の登録／設定..... 161	
送信を中止する.....	49	登録／設定内容を変更する.....	161
複数の相手先に同じ文書を送信する.....	50	基本設定のメニュー項目.....	163
送信時刻を指定する.....	52	レポート設定のメニュー項目.....	165
Fコードを使って送信する.....	56	送信機能設定のメニュー項目.....	167
海外に送信する.....	60	受信機能設定のメニュー項目.....	169
相手先が話し中だったときは.....	62	プリント設定のメニュー項目.....	172
オートダイヤルを使ってダイヤルする.....	63	コピー設定のメニュー項目.....	174
電話帳機能を使ってダイヤルする.....	65	メモリ管理設定のメニュー項目.....	175
電話として活用する.....	67	システム管理設定のメニュー項目.....	176
第4章 送信先のダイヤル登録.....	68	登録／設定内容をリストで確認する.....	181
ワンタッチダイヤルを登録する.....	68	第9章 日常の管理..... 182	
短縮ダイヤルを登録する.....	73	通信結果の確認.....	182
グループダイヤルを登録する.....	77	お手入れ.....	188
ダイヤル登録で設定できる通信機能.....	82	記録紙を補給する.....	194
登録した電話番号を確認する.....	91	FINE カートリッジのセットと交換.....	199
第5章 ファクスを受信する.....	94	プリントヘッドのメンテナンス.....	204
受信するための基本的な設定.....	94		

第10章 困ったときは 208

停電があったときには.....	208
原稿がつまったときには.....	209
記録紙がつまったときには.....	211
ディスプレイに表示されるメッセージ.....	214
エラーコード一覧.....	218
困ったときには.....	220

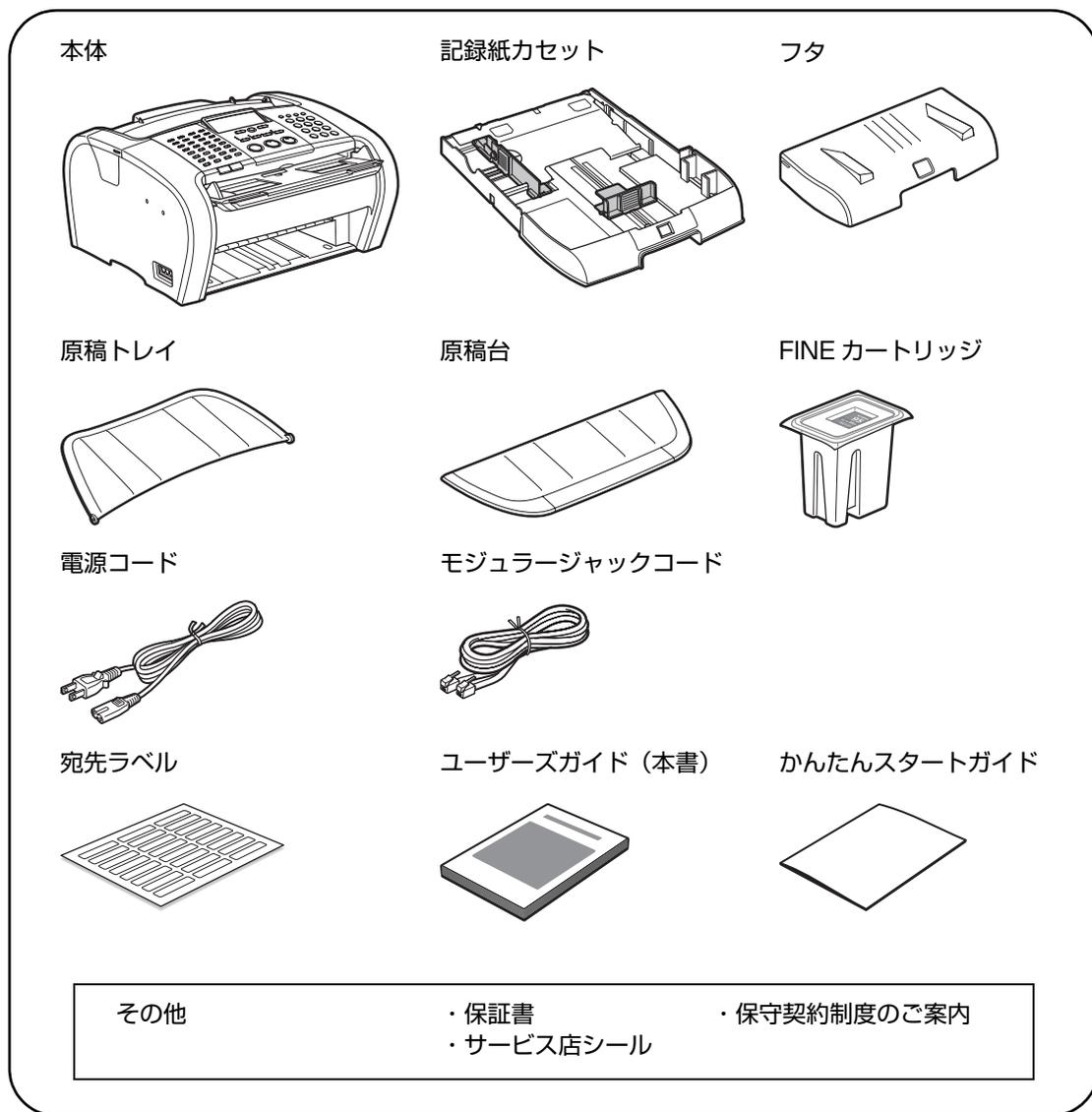
付録..... 228

F ネット（ファクシミリ通信網）を利用するには.....	228
使用済みインクカートリッジ回収のお願い.....	229
さくいん.....	230
仕様.....	236

第1章 本機をお使いになる前に

パッケージの内容を確認する

お買い上げいただいたファクスには、本体と以下の付属品が同梱されています。ご確認ください。



本機には以下のオプションが接続できます。くわしくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- FXB- カセットフィーダ 2
- ハンドセットキット L12

お使いになる前の準備

『かんたんスタートガイド』やここで示しているページの説明を参照して、本機の設置を行ってください。お客様情報（日付／時刻や電話番号、会社や部門の名称など）を登録することもできます。

- 同梱品の確認⇒ P.9
- 付属品の取り付け⇒ P.11
 - 記録紙のセット⇒ P.194
 - FINE カートリッジのセット⇒ P.199
- 電話回線の設定や電源について⇒ P.16, P.18
 - 電話回線の接続⇒ P.11
 - 外付電話機の接続⇒ P.13
 - オプションのカセットフィーダの取り付け⇒ P.14
 - オプションのハンドセットキットの接続⇒ P.15
 - 電源コードの接続⇒ P.16
 - 電源の位置と入れかた⇒ P.16
 - 回線種類の設定⇒ P.18
- お客様情報（発信元情報）の登録⇒ P.29
 - 日付と時刻の登録⇒ P.31
 - 電話番号の登録⇒ P.32
 - 会社や部門の名称の登録⇒ P.33
- 本機の設定
 - 音量の設定⇒ P.21, P.164



参考

お客様情報（発信元情報）を登録しなくても、基本的な送信や受信、コピーはできます。ただし、機能によっては、登録されていないと使用できないものもあります。

■ 推奨紙の紹介

記録紙として下記のキヤノン純正紙をお勧めします。

- PB PAPER GF-500
- スーパーホワイトペーパー SW-101

電話回線の接続と電源の入れかた

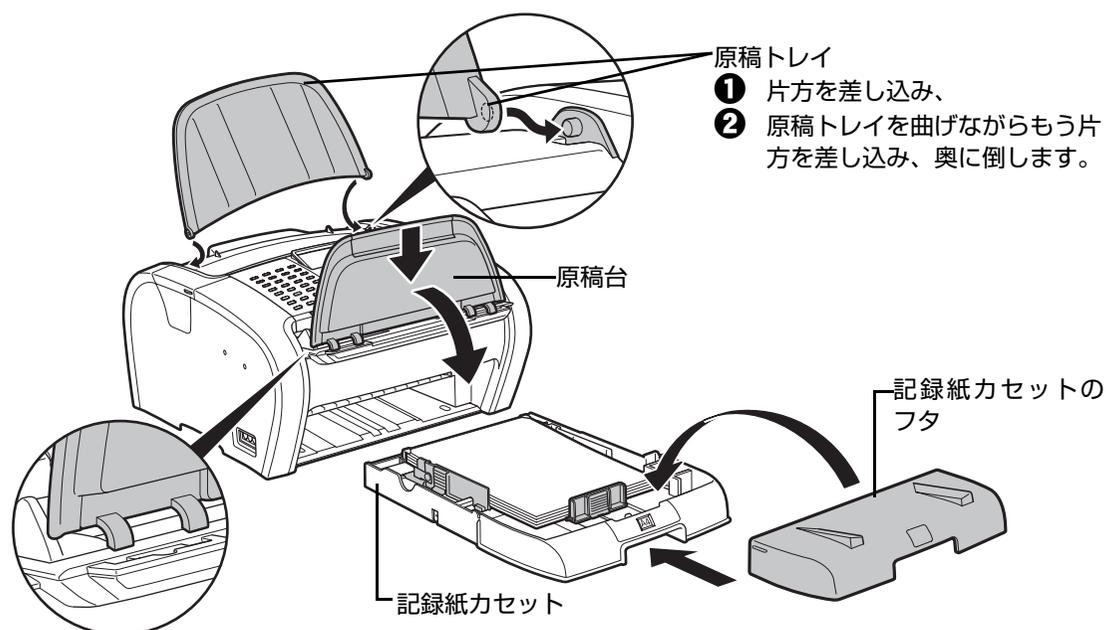
本機をお使いになるときは、まず付属品を取り付け、電話回線を接続してから電源を入れてください。必要に応じて、電話機やオプションのハンドセットなども取り付けてください。

重要

オプションのカセットフィーダを取り付ける場合は、最初に取り付けてください。⇒ P.14

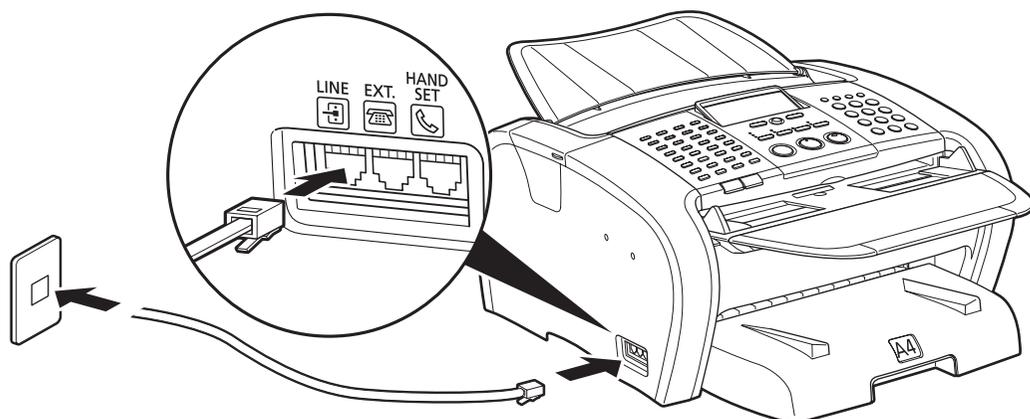
カセットフィーダを取り付けるときは、その他の付属品、電源コード、モジュージャックコードなどを取り外しておく必要があります。

原稿トレイ、原稿台、記録紙カセットの取り付け

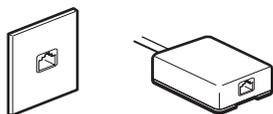


電話回線の接続

壁側の電話回線用コンセントを確認してから、本機に付属しているモジュージャックコードを電話回線接続端子に接続してください。左端の☎マークの差し込み口 (LINE) に差し込んでください。

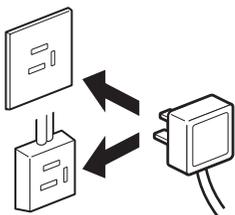


■ モジュラー式差し込み口の場合は



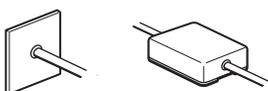
そのままつなげます。カチッと音がするまで差し込んでください。

■ 3ピンプラグ式コンセントの場合は



3ピンプラグ式コンセントの場合は市販の3ピンプラグ交換アダプタをお買い求めください。

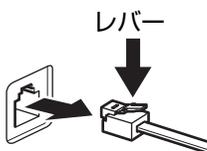
■ 直結配線コンセントの場合は



モジュラー式差し込み口に変える必要があります。工事には資格が必要です。NTT 窓口にご相談ください。

※ PBX（構内交換機）をお使いの場合は販売店にご相談ください。

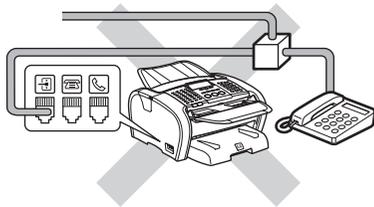
■ モジュラージャックコードを引き抜くときは



モジュラージャックのレバーを押さえながら引き抜いてください。

重要

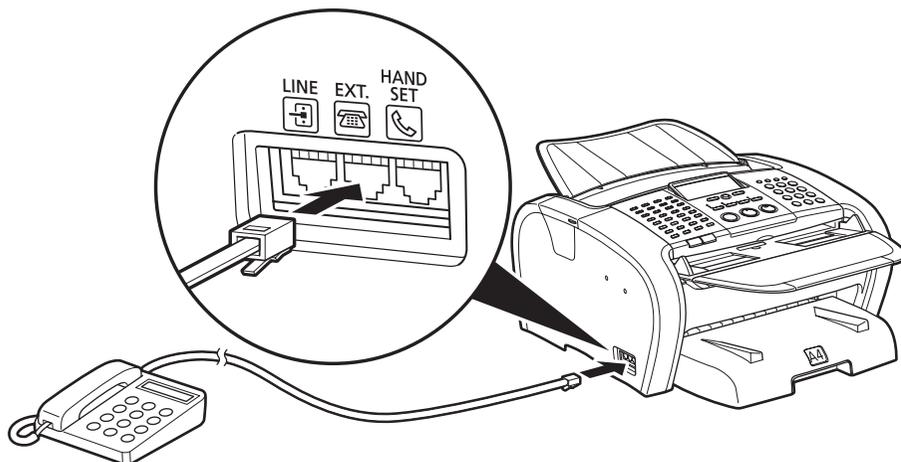
- 電話線分配器を使用して、本機と外付け機器を同じ電話回線に並列接続しないでください。正常に動作しないことがあります。



- 本機を ADSL モデムに接続すると、ADSL モデム側の原因で、ファクスが送受信できなくなったり、モデムダイヤルインなどの一部の電話サービスが正常に動作しなくなることがありますのでご注意ください。詳しくは、ご利用の ADSL サービスの提供元にお問い合わせください。
必ず電話回線の種類をご契約の回線種別に設定してください。
- 本機を ISDN ターミナルアダプタ (TA) や構内交換機 (PBX) に接続すると、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。ISDN 回線でダイヤルイン機能などを利用するときは、各サービスに対応した TA (ターミナルアダプタ) をお使いください。詳しくは、お使いの TA の製造元にお問い合わせください。

外付電話機の接続

一般の電話機は、子電話接続端子にのみ接続することができます（ビジネスホンは接続できません）。中央の☒マークの差し込み口（EXT.）に差し込んでください。



参考

- 電話機用の差し込み口には、一般の電話回線で利用可能な電話機を接続することができます。それ以外の通信機器を接続しても、接続した通信機器は正常に動作しません。
- ビジネスホンやホームテレホンなど、特殊なPBX（構内交換機）に接続されていた電話機は使用できません。
- 接続する電話機の種類によっては、発信や着信が正常に動作しないこともあります。
- ナンバー・ディスプレイ回線契約時、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続しても受信方法が「自動受信」で「着信呼び出し」が「シナイ」に設定されている場合は、番号表示されません。

オプションのカセットフィーダの取り付け

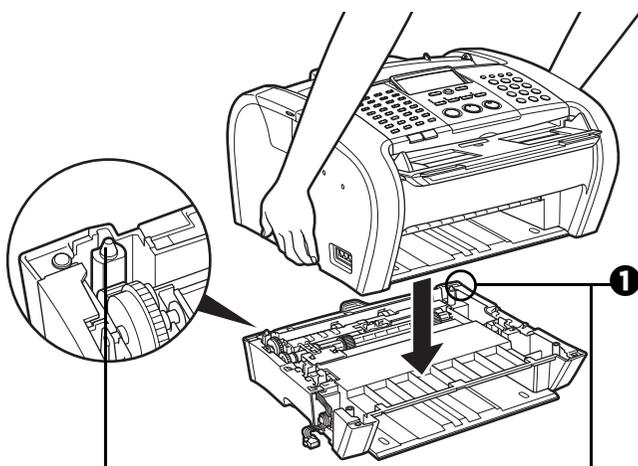
オプションのカセットフィーダは次の手順で取り付けてください。



カセットフィーダを取り付ける前に

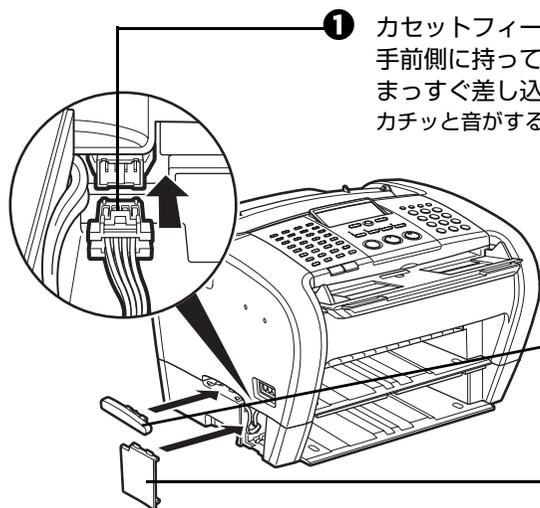
- 電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、モジュラージャックコードなど外部の接続線を外したことを確認してください。⇒ P.17
- 本体左側の底面にあるコネクタの保護シートをはがしてください。
- 下記のものを取り付けている場合は、すべて取り外してください。
 - － 本体付属の記録紙カセット
 - － 原稿台
 - － 原稿トレイ
 - － オプションのハンドセット、ハンドセット置き台

1 水平の状態を保ったまま本体を持ち上げ、カセットフィーダの上に下ろします



- ① カセットフィーダの奥の左右の突起と合うように、本体をまっすぐに下ろします。
本体とカセットフィーダが固定されます。

2 コネクタを差し込み、カバーを取り付けます



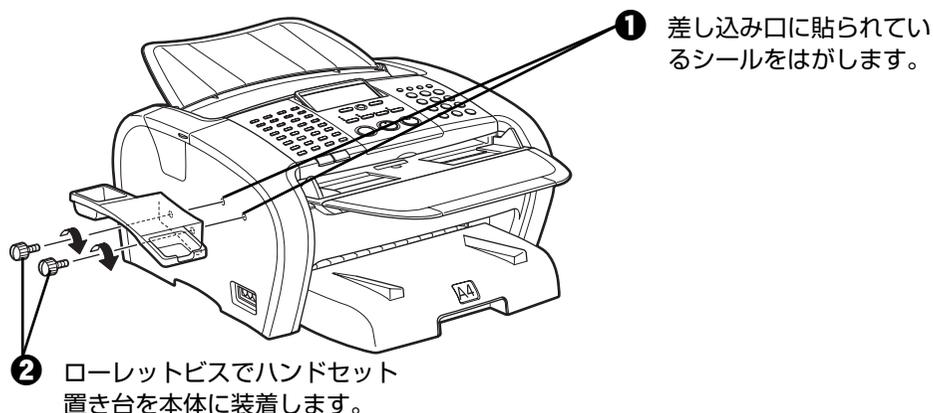
- ① カセットフィーダのコネクタを、ツメを手前側に持って、本体底面の接続端子にまっすぐ差し込みます。
カチッと音がするまで差し込んでください。

- ② コネクタカバーを取り付けます。
- ③ 左右のサイドカバーキャップを取り付けます。
先端が細いほうを手前側に向けてください。

オプションのハンドセットキットの接続

オプションのハンドセットは必ず受話器接続端子に接続してください。ハンドセットは、次の手順で接続してください。

1 ハンドセット置き台をローレットビスで本体に装着します



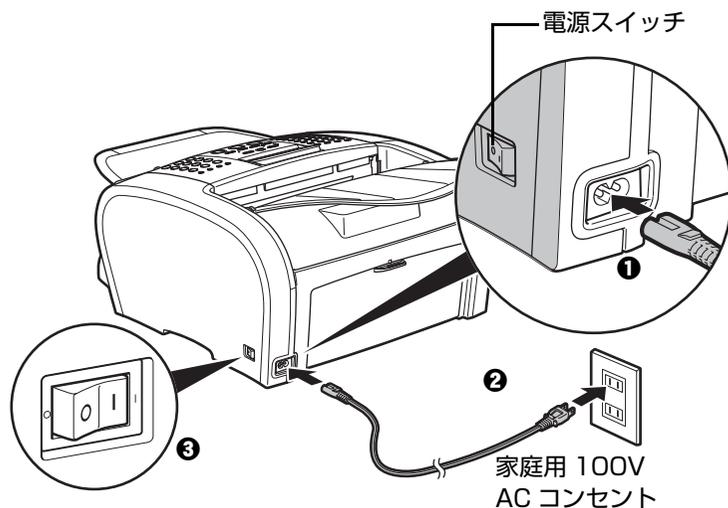
2 ハンドセットのコードを受話器接続端子に接続します



電源の位置と入れかた

電源コードは、まず本機に接続して、本体右側の電源スイッチが“○”（OFF）になっていることを確認してから、100VのACコンセントに接続してください。

電源コードを接続したあと、電源スイッチを“|”（ON）にします。



▲ 注意

- 電源コードは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードが本機に触れないように設置してください。

- 電源が入ると、次のように表示されます。

シハ[®]ラク オマチクタ[®] サイ

- 使用できる状態になると、日付と時刻が表示されます。

2008 07/01 TUE 09:15

“カートリッジが セットサレテイマセン” と表示された場合は、「ディスプレイに表示されるメッセージ」(P.214) を参照してください。

このように日付と時刻が表示されている状態を待機状態と呼びます。

電源の切りかた

本機の電源を切る際は、必ずディスプレイライトが消灯していることを確認してください。

● ディスプレイライトが消灯しているとき

1 本体右側の電源スイッチを“○”（OFF）にします



再度電源を入れる場合は、10秒以上待ってから電源スイッチを“|”（ON）にしてください。

● ディスプレイライトが点灯しているとき

ディスプレイライトが点灯している場合は、本機が動作中または通信中であることを示しています。
⇒ P.22

この状態で電源スイッチを切ると、本機がファクスの送受信を行っている場合は通信中のデータが消えてしまうことがありますので、以下の手順で操作してください。

1 “プリンタ パワー オフ” を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[メンテナンス] ボタンを押します。

メンテナンスモード
1. ヨミトリフ ショキカ

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、“7. プリンタ パワー オフ” を表示させます。

7. プリンタ パワー オフ

2 ディスプレイライトを消灯します (○)

[セット] ボタンを押します。

ディスプレイライトが消灯してディスプレイに次のように表示され、本機が以降のボタン操作を受け付けられない状態になります。

プリンタ パワー オフ
シュウリョウ シマシタ

3 本体右側の電源スイッチを“○”（OFF）にします



再度電源を入れる場合は、10秒以上待ってから電源スイッチを“|”（ON）にしてください。

電話回線の種類を設定する

電話回線は、NTT とお客様の契約にもとづいて回線の種類が設定されています。プッシュ回線（トーン回線）かダイヤル回線（パルス回線）かを確認し、正しく設定してください。

回線の種類を確認するには

本機は、あらかじめプッシュ回線に設定されています。117（時報）や177（天気予報）にダイヤルしてつながったときは、そのまま使用してください。

- 時報や天気予報につながらないときはダイヤル回線に設定してください。ダイヤル回線をお使いの場合、20PPS でつながらないときは10PPS に設定してください。

回線の種類を変更するには

1 回線の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

- ③ [セット] ボタンを押します。

キホン セッテイ
1. ヒツケ/ジゴク セット

- ④ [八] または [V] ボタンを押して、“8. カイセン シュルイ センタク” を表示させます。

8. カイセン シュルイ センタク

2 現在設定されている回線の種類を確認します (○)

[セット] ボタンを押します。現在設定されている回線種類が表示されます。

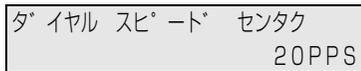
カイセン シュルイ センタク
プッシュ カイセン

3 回線種類を選択します

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“プッシュ カイセン”、“ダイヤル カイセン” のいずれかを表示させます。

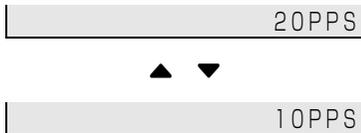


- ② [セット] ボタンを押します。表示されていた回線種類が設定されます。
 - “プッシュ カイセン” を設定したときは、回線種類の設定が終了し、他の項目が表示されます。[ストップ] ボタンで待機状態に戻ってください。
 - “ダイヤル カイセン” を設定したときは、ダイヤルスピードの設定項目が表示されます。手順4に進んでください。



4 ダイヤルスピードを選択します

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“20PPS”、“10PPS” のいずれかを表示させます。



- ② [セット] ボタンを押します。表示されていたダイヤルスピードが設定されます。回線種類の登録が終了し、他の項目が表示されます。
- ③ [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

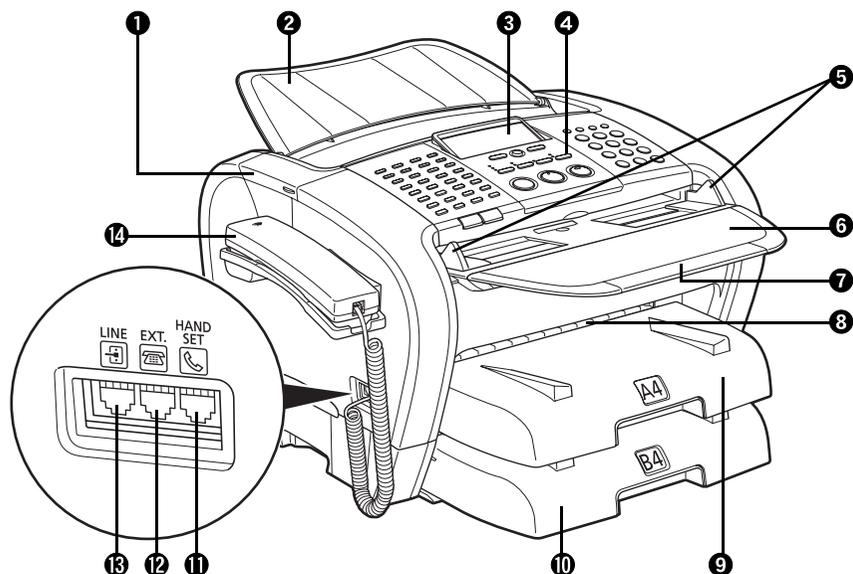


操作の途中でも、[ストップ] ボタンを押せば、いつでも待機状態に戻ることができます。

各部の名称とはたらき

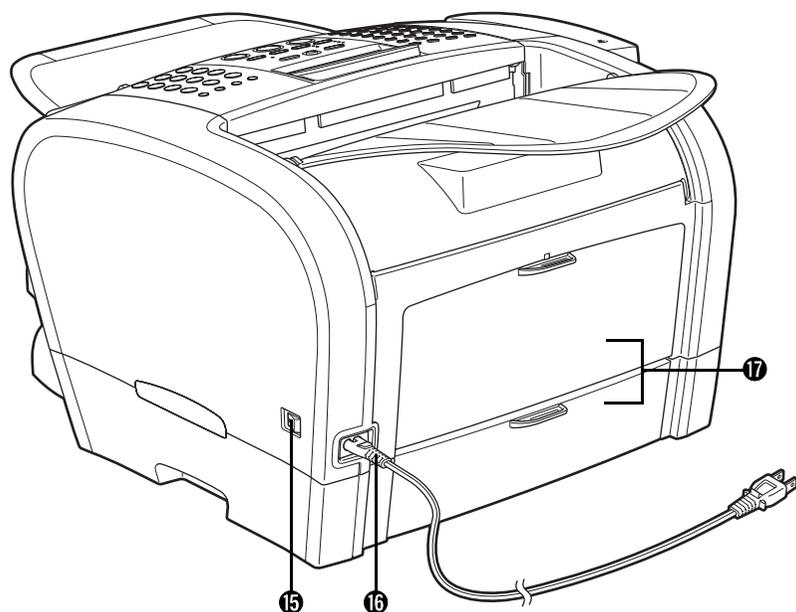
本機には、オプションで記録紙カセットやハンドセットなどを追加することができます。ここでは、オプションの記録紙カセットやハンドセットを追加した状態で説明しています。オプション品については、「パッケージの内容を確認する」(P.9)を参照してください。

装置全体



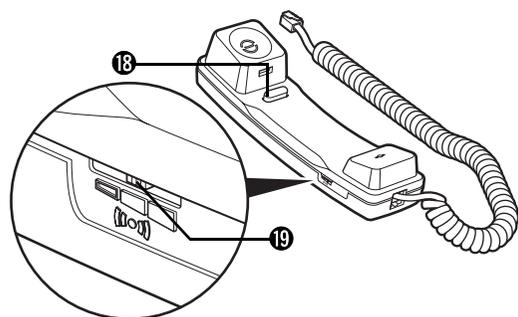
- ① **プリンタカバー** FINE カートリッジを交換するときや、記録紙が詰まったときに開きます。⇒ P.190, P.199, P.212
- ② **原稿トレイ** 読み込まれた原稿が排出されます。⇒ P.11
- ③ **ディスプレイ** ⇒ P.22, P.47, P.104, P.214
- ④ **操作パネル** ⇒ P.22
- ⑤ **スライダ** セットする原稿の幅に合わせます。⇒ P.43, P.150
- ⑥ **原稿台** 原稿を送信したり、コピーするときに原稿をセットします。⇒ P.11, P.43, P.150
- ⑦ **原稿台延長トレイ** 縦方向に長い原稿をセットするときに引き出します。⇒ P.43, P.150
- ⑧ **記録紙排出口** 受信した原稿やコピーされた記録紙が排出されます。
- ⑨ **記録紙カセット** 記録紙をセットします。⇒ P.11, P.194, P.211
- ⑩ **FXB-カセットフィーダ 2** ⇒ P.116, P.195, P.211 (オプション)
- ⑪ **受話器接続端子 (HAND SET)** ⇒ P.15
- ⑫ **子電話接続端子 (EXT.)** ⇒ P.13
- ⑬ **電話回線接続端子 (LINE)** ⇒ P.11
- ⑭ **ハンドセットキット L12** ⇒ P.15, P.21 (オプション)

背面



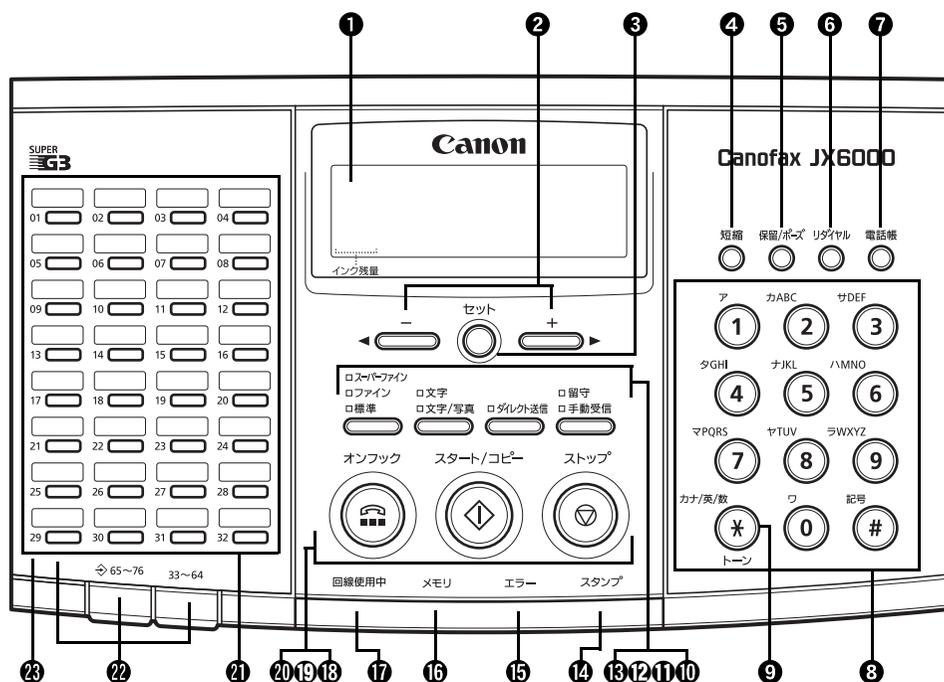
- ⑮ 電源スイッチ ⇒ P.16, P.17
- ⑯ 電源コード ⇒ P.16
- ⑰ 背面カバー 記録紙がつまったときに開きます。⇒ P.212

ハンドセット (オプション)



- ⑱ フックボタン
- ⑲ 呼び出し音量調整器 呼び出し音量は、大、小、切の3段階で調整できます。シャープペンシルの先などで切り替えてください。

操作パネルの名称とはたらき

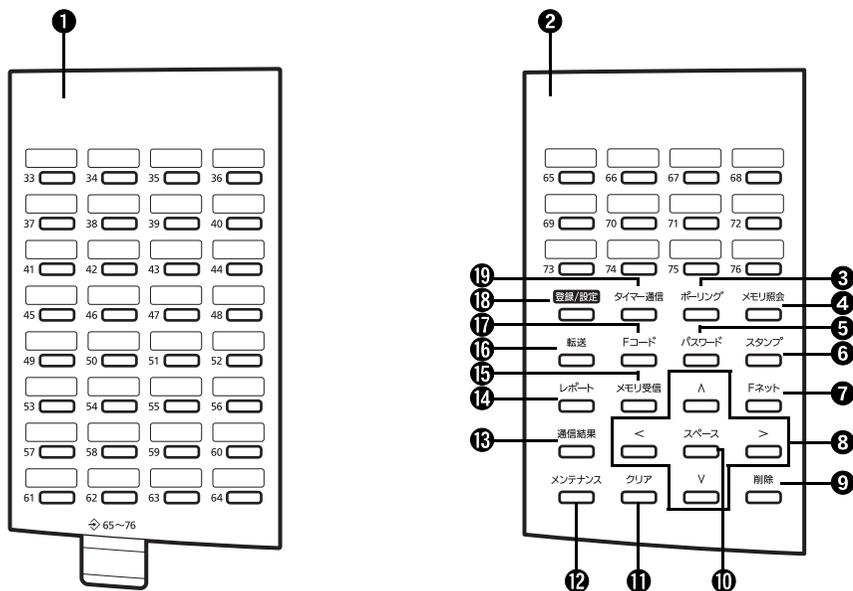


- 1 ディスプレイ (ディスプレイライト)** 通信状況の確認やデータの登録、設定、確認のメッセージなど、いろいろな情報が表示されます。⇒ P.47, P.104, P.214

 - **ディスプレイライト**
操作中や通信時などにライトが点灯します。
- 2 [◀ -] [+ ▶] ボタン** 本体の内蔵スピーカから出る相手の方の声などの音量を調整するときに使います。また、電話帳を検索したり、メニュー項目を順次表示させるときにも使います。この場合は、機能ボタンの [∧] ボタン、[∨] ボタンと同じはたらきをします。⇒ P.39, P.65, P.67, P.162
- 3 [セット] ボタン** 電話番号やユーザデータの項目の登録/設定内容をディスプレイに表示させたり、登録/設定内容を確定するときに使います。
- 4 [短縮] ボタン** 短縮ダイヤルを登録するときや、短縮ダイヤルで相手先を指定するときに使います。⇒ P.63, P.73
- 5 [保留/ポーズ] ボタン** 通話を保留するときや、ダイヤル登録で電話番号にポーズを入れるときに使います。⇒ P.67, P.89, P.90
- 6 [リダイヤル] ボタン** テンキーでダイヤルした相手先が話し中のときなど、かけ直すときに使います。⇒ P.62
- 7 [電話帳] ボタン** 短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録した相手先を検索するときに使います。⇒ P.65
- 8 テンキー** ダイヤルするときや、データの登録、設定、確認に使います。文字を入力するときにも使います。
- 9 [トーン] ボタン ([*] ボタンと兼用)** ダイヤル回線で、トーン信号を発信したいときに使います。⇒ P.67, P.120
- 10 受信モードボタン (留守、手動受信ランプ)** 受信モードを変更したり、留守モードを設定するときに使います。⇒ P.94, P.96, P.115
- 11 ダイレクト送信ボタン (ダイレクト送信ランプ)** 原稿をメモリに読み込ませずに、直接ファクス送信するときに使います。⇒ P.37
- 12 画像モードボタン (文字、文字/写真ランプ)** 原稿読み取り時の画質を指定するときに使います。⇒ P.45, P.157

- ⑬ **解像度ボタン**
(スーパーファイン、
ファイン、標準ランプ) 原稿読み取り時の解像度を設定するときに使います。⇒ P.45
- ⑭ **スタンプランプ** 読み込み済みスタンプや送信済みスタンプが押されるように設定しているときに点灯します。⇒ P.44
- ⑮ **エラーランプ** 記録紙や FINE カートリッジのインクがなくなったり、記録紙がつまったりしたときに点滅します (赤色)。⇒ P.109
- ⑯ **メモリランプ** メモリ内に原稿が記憶されているときに点灯します (緑色)。⇒ P.131
- ⑰ **回線使用中ランプ** 送信中や受信中、通話中など、電話回線を使用しているときに点灯します (緑色)。⇒ P.39
- ⑱ **【ストップ】ボタン** 送信やコピー、登録や設定などの操作を中止、終了するときに使います。
- ⑲ **【スタート/コピー】
ボタン** 送信や受信、コピーなどを始めるときに使います。
- ⑳ **【オンフック】ボタン** オプションのハンドセットや接続した電話機の受話器を手に持たずにダイヤルするときに使います。⇒ P.39, P.60, P.67, P.120
- ㉑ **ワンタッチダイヤルボタン** よく使う電話番号を登録しておき、ワンタッチでダイヤルするときに使います。ワンタッチパネルを開くと、機能ボタンとして使うことができます。⇒ P.63, P.68
- ㉒ **ワンタッチパネル** ワンタッチパネルを開閉すると、ワンタッチダイヤルボタンや機能ボタンを切り替えることができます。ワンタッチダイヤルボタン 33～76 を使うとき、機能ボタンを使うときは、ワンタッチパネルを開きます。⇒ P.24, P.63
- ㉓ **ワンタッチパネル 1** ワンタッチパネルをすべて閉じた状態です。ワンタッチパネル 1 では、ワンタッチダイヤルボタン 01～32 を使うことができます。

ワンタッチパネル 2 とワンタッチパネル 3 (機能ボタン)

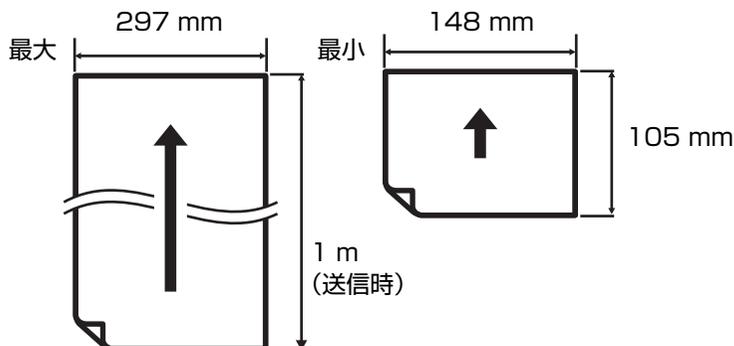


- ① **ワンタッチパネル 2** ワンタッチパネルの右のタブを持って開きます。ワンタッチパネル 2 では、ワンタッチダイヤルボタン 33 ～ 64 を使うことができます。
- ② **ワンタッチパネル 3** ワンタッチパネルの左のタブを持って開きます。ワンタッチパネル 3 では、ワンタッチダイヤルボタン 65 ～ 76 と機能ボタン (③ ～ ⑱) を使うことができます。
- ③ **【ポーリング】 ボタン** ポーリング受信するときに使います。⇒ P.111
- ④ **【メモリ照会】 ボタン** メモリの内容を確認したり、消去するときに使います。⇒ P.138
- ⑤ **【パスワード】 ボタン** パスワードを指定して送信するときに使います。⇒ P.58
- ⑥ **【スタンプ】 ボタン** 読み込みや送信が済んだ原稿にスタンプをつけるときに使います。⇒ P.44
- ⑦ **【F ネット】 ボタン** F ネットを利用するときに使います。⇒ P.228
- ⑧ **【△】 【▽】 【<】 【>】 ボタン** 項目の検索や設定内容を確認するとき、カーソルを移動させるときに使います。
- ⑨ **【削除】 ボタン** 電話番号登録の際、入力した数字を 1 桁ずつ消去するときに使います。
- ⑩ **【スペース】 ボタン** 数字や文字列にスペース (空白) を入れるときに使います。
- ⑪ **【クリア】 ボタン** 電話番号や、ユーザデータの項目の登録/設定内容をクリアするときに使います。
- ⑫ **【メンテナンス】 ボタン** プリントヘッドをメンテナンスするときなどに使います。⇒ P.204
- ⑬ **【通信結果】 ボタン** 通信結果を順次表示するときに使います。⇒ P.48, P.105
- ⑭ **【レポート】 ボタン** 通信関連のレポートやダイヤルリスト、ユーザデータリスト、通信予約リスト、原稿リストなどをプリントするときに使います。⇒ P.91, P.181, P.182
- ⑮ **【メモリ受信】 ボタン** 受信した原稿をプリントせず、メモリに記憶したいときに使います。⇒ P.132
- ⑯ **【転送】 ボタン** 受信した原稿を他のファクスに転送するときに使います。⇒ P.137
- ⑰ **【F コード】 ボタン** F コードを指定して送信するときに使います。⇒ P.58
- ⑱ **【登録/設定】 ボタン** 電話番号や機能を登録/設定するときに使います。⇒ P.68, P.162
- ⑲ **【タイマー通信】 ボタン** 送信時刻を指定するときに使います。⇒ P.52

原稿をセットする

セットできる原稿のサイズ

セットできるのは、次のサイズの原稿です（矢印は原稿のセット方向を示しています）。



参考

- サイズが大きい場合は縮小コピー、サイズが小さい場合は上記範囲のサイズ用の紙にコピーし、コピーした原稿を送信原稿としてセットしてください。
- こちらでセットした原稿よりも相手先のファクスにセットされている記録紙のサイズが小さいときは相手先の記録紙のサイズまで縮小して送信されます。

セットできる原稿の厚さ

セットできるのは、厚さが0.06mm～0.13mmの範囲の原稿です。これよりも薄い原稿や厚い原稿は、複写機でコピーしてからセットしてください。なお、新聞紙は0.05～0.06mm、上質紙は0.10mm、はがきは0.23mmですので目安としてください。

また、はがきは0.23mmなのでそのまま送信／コピーすることはできません。

セットできない原稿

次のような原稿はセットしないでください。途中でつまることがあります。

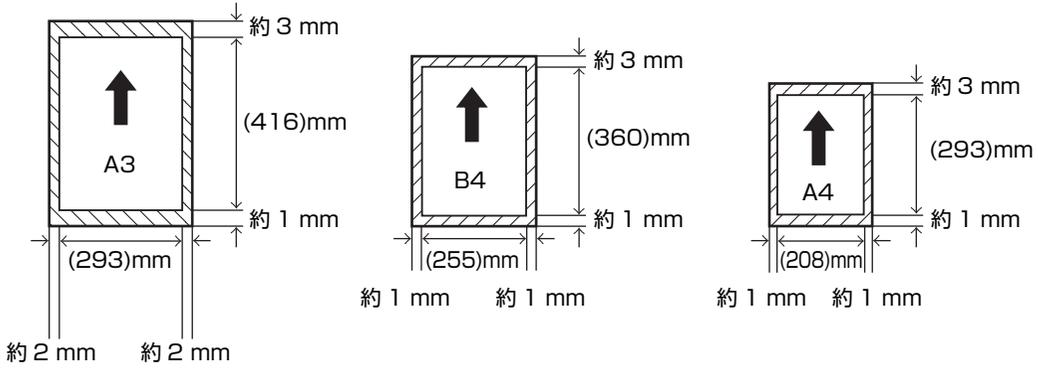
- しわや折り目のある原稿
- やぶれている原稿
- はげしくカールしている原稿
- コーティングされた原稿
- 切り貼りした原稿
- ノンカーボン、裏カーボン紙の原稿
- レポート用紙のようにノリで閉じられていた用紙（ノリの部分を取り除いてください）

重要

- クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。
- インクは乾かしてからセットしてください。
- サイズや厚さが異なる原稿をいっしょにセットしないでください。

原稿の読み取り範囲

原稿の読み取り範囲には制限があります。次の図の斜線部分の文字や画像は読み取れませんので注意してください（矢印は原稿のセット方向を示しています）。



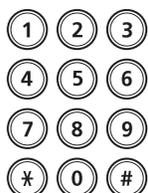
第2章 発信元情報の登録

文字の入力方式

発信元情報、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録などでは、必要に応じてテンキーで文字を入力することができます。

入力できる文字の種類

本機では、テンキーを使って次の文字が入力できます。カタカナ、英字、数字は、[*] ボタンを押して切り替えることができます。



テンキー	カナ (:ア)	英字 (:A)	数字 (:1)
①	アイウエオアイウエオ		1
②	カキクケコ	ABCabc	2
③	サシスセソ	DEFdef	3
④	タチツテトツ	GHIghi	4
⑤	ナニヌネノ	JKLjkl	5
⑥	ハヒフヘホ	MNOmno	6
⑦	マミムメモ	PQRSpqrs	7
⑧	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
⑨	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
⑩	ワヲン		0
#	ゝ 〃 。 「 」 ・ ー	— . * # ! “ ; : ^ ` _ = / ’ ? \$ @ % & + () [] { } < >	

● その他のボタン

文字の種類切り替え	カナ/英/数 [*] ボタン
カーソル移動	[<] ボタン (左に移動)、[>] ボタン (右に移動)
全文字の削除	[クリア] ボタン

文字を入力するには

カタカナ、英数字、記号は、ディスプレイの表示を参照しながらテンキーで入力することができます。

カタカナを入力するには

ディスプレイの右上に“:ア”と表示されているとき、カタカナが入力できます。“:ア”と表示されていないときは、[*] ボタンを何度か押してください。

- テンキーの同じボタンを押すたびに、文字が切り替わります。たとえば“イ”を入力するときは、[1] を2回押します。“リ”を入力するときは、[9] を2回押します。“ノ”を入力するときは、[5] を5回押します。
- 同じ行の文字は、[>] ボタンでカーソルを移動してから入力してください。たとえば“アイ”は、[1] を1回押し、[>] ボタンを押したあと [1] を2回押すと入力することができます。

英字を入力するには

ディスプレイの右上に“:A”と表示されているとき、英字が入力できます。“:A”と表示されていないときは、[*] ボタンを何度か押してください。

- テンキーの同じボタンを押すたびに、文字が切り替わります。たとえば“l”を入力するときは、[4] を3回押します。“S”を入力するときは、[7] を4回押します。“Y”を入力するときは、[9] を3回押します。
- 同じボタンの文字は、[>] ボタンでカーソルを移動してから入力してください。たとえば“RS”は、[7] を3回押し、[>] ボタンを押したあと [7] を4回押すと入力することができます。

数字を入力するには

ディスプレイの右上に“:1”と表示されているとき、数字が入力できます。“:1”と表示されていないときは、[*] ボタンを何度か押してください。

- 数字は、テンキーの各数字に対応しています。

記号を入力するには

ディスプレイの右上に“:ア”あるいは“:A”と表示されているときには、[#] ボタンで記号が入力できます。なお、“:1”と表示されているときに [#] ボタンを押したときは、“:A”と表示されているときと同じ記号が入力できます。

参考

- 入力する文字を間違えてしまったときは、[<] または [>] ボタンで訂正したい文字の下にカーソルを移動してから入力し直してください。
- 空白は、ワンタッチパネル3を開いて、[スペース] ボタンで入力することができます。
- カタカナ、英字、数字を混在させるときは、[*] ボタンで入力する文字の種類を変更してください。

発信元の情報を登録する

原稿を送信したとき、相手先ファクスの記録紙にこちらの電話番号や名前がプリントされるように設定することができます。相手先では誰からの送信かすぐに知ることができます。これを発信元情報と呼びます。

発信元情報が登録されると

原稿を送信したとき、相手先の記録紙に次の情報が発信元記録としてプリントされます。相手先の機種によっては、通信中、ディスプレイなどに表示されます。

2008 02/18 09:07 FAX 01 2345 6789 キノン ネット キノン ネット @001

日付と時刻
送信の日付と時刻が記録されます。
⇒ P.31

電話番号 (20桁)
本機に登録した電話番号が記録されます。“FAX”を“TEL”に変えることもできます。
⇒ P.32, P.164

こちらの名前
本機に登録した会社や部門の略称 (ユーザ略称) が記録されます。
⇒ P.33

相手先の名前
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使用した場合、登録した相手先の名前が記録されます。
⇒ P.68, P.73

ページ数
何枚目の原稿かが記録されます。



参考

日付や時刻、電話番号などを登録しなくても、ファクス原稿を送受信することはできますが、なるべく登録するようにしてください。

■ 発信元情報の登録方法について

発信元情報の各項目（日付／時刻、電話番号、ユーザ略称）は、次ページ以降の [登録／設定] ボタンを使った操作で登録できます。1 つの項目を登録すると自動的に次の項目が表示されます。各項目は別々に登録することもできます。

- 登録操作の途中でも、[ストップ] ボタンを押して待機状態に戻ることができます。

参考

- 発信元情報を登録しなくても原稿は送信できます。原稿をコピーするときは発信元情報は記録されません。
- 発信元記録をつけないように設定することもできます。⇒ P.164
- 相手先のファクスによっては、こちらの発信元情報が相手先のディスプレイやレポートなどに表示されないこともあります。
- 発信元情報の登録内容は、ユーザデータリストで確認できます。⇒ P.181

日付と時刻の登録

本機をお使いになる前に、現在の日付と時刻を登録してください。時刻を指定して送信するときや各種のレポートを確認するときに、正確な通信時刻を記録するために必要になります。

1 基本設定の項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウログ/セッテイ
1. データ トウログ

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウログ
1. キホン セッテイ

- ③ [セット] ボタンを押します。

キホン セッテイ
1. ヒツケ/ジコク セット

2 日付と時刻の登録項目を表示させます (○)

[セット] ボタンを押します。現在設定されている年月日と時刻が表示されます。

ヒツケ/ジコク セット
' 08 07/01 00:00

- 時刻は 24 時間制で表示されます。年月日の表示順は、変更することができます。⇒ P.177 (日付タイプ)
- 日付登録時に西暦は 1999 年が 99、2000～2089 年が 00～89 のように下 2 桁で表示され、待機時のディスプレイ表示の西暦は 4 桁で表示されます。

3 日付と時刻を登録します

- ① テンキーで現在の年月日、時刻を入力します。
年は下 2 桁、月、日、時刻はそれぞれ 2 桁で入力します。

' 08 07/11 13:34

- 入力を間違えたときは、[<] または [>] ボタンを押して、カーソルを修正したい文字まで移動し入力し直してください。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。
- ② [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“2. ユーザ TEL トウログ”の登録項目が表示されます。⇒ P.32
 - [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。



時刻表示はあくまでも目安として利用してください。なお、誤差が生じたときは、登録し直してください (時間精度：平均月差± 30 秒以内)。

電話番号の登録

電話番号は 20 桁まで登録できます。

1 電話番号の登録項目を表示させます

- ① 日付と時刻の登録が終了すると、自動的に“2. ユーザ TEL トウログ”が表示されます。
 - 「日付と時刻の登録」(P.31)の手順 1 の最後で、[V] ボタンを押して表示させることもできます。

キホン セッテイ
2. ユーザ TEL トウログ

- ② [セット] ボタンを押します。

ユーザ TEL トウログ
TEL=

- すでに電話番号が登録済みのときは、電話番号も表示されます。登録済みの電話番号を削除するときは、[クリア] ボタンを押したあと [セット] ボタンを押してください。

2 電話番号を登録します

- ① テンキーで番号を入力します。[スペース] ボタンで空白を入れることもできます。

TEL= 03 XXXX XXXX

- 間違えたときは、[削除] ボタンを押して、1 つ前の桁に戻り入力し直すことができます。[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。
- ② [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“3. ユーザ リャクショウ トウログ”の登録項目が表示されます。⇒ P.33
 - [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

参考

- 電話番号を登録しなくても原稿は送信できます。
- 電話番号は正しく登録してください。登録に誤りがあると、誤った番号を相手に伝えることになります。
- 相手先のファクスによっては、こちらの電話番号が相手先のディスプレイやレポートなどに表示されない場合もあります。

会社や部門の名称の登録

会社や部門の名称をユーザ略称として登録することができます。ユーザ略称には、カタカナ、英数字、記号が24文字まで登録できます。

1 ユーザ略称登録の項目を表示させます

- ① 電話番号の登録が終了すると、自動的に“3. ユーザ リャクショウ トウロク”が表示されます。
 - 「日付と時刻の登録」(P.31)の手順1の最後で、[V] ボタンを押して表示させることもできます。

キホン セツテイ
3. ユーザ リャクショウ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

ユーザ リャクショウ トウロク :ア
—

- すでにユーザ略称が登録済みのときは、その名称が表示されます。登録済みのユーザ略称を削除するときは、[クリア] ボタンを押したあと [セット] ボタンを押してください。

2 ユーザ略称を登録します

- ① テンキーで文字を入力します。文字の入力方法は、「文字を入力するには」(P.28)の説明を参照してください。

キヤノン ホンシユ

- ユーザ略称は、ディスプレイには16文字までしか表示されません。17文字以上の文字を入力したときは、[<] または [>] ボタンを押して表示されていない部分を確認することができます。
- ② [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“4. ハッシンモト キロク”の設定項目が表示されます。⇒ P.164
 - [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

第3章 ファクスを送信する

送信するための3つの方法

原稿の送信には、基本的にメモリ送信、ダイレクト送信、手動送信という3つの方法があります。状況に応じて使い分けてください。

● **メモリ送信—一番簡単ですばやい送信⇒ P.35**

セットした原稿をまとめてメモリに読み込んでからクイックメモリ送信できます。読み込みスピードが早く、送信が完了するのを待たずに原稿を持ち帰ることができます。メモリ送信中でも、他の原稿の送信予約をすることができます。

● **ダイレクト送信—確認しながら優先的に送信⇒ P.37**

セットした原稿を1枚1枚確認しながら直接送信できます。メモリ残量が少ない場合や、大量の原稿を送信する場合でも、メモリの容量を気にすることなく確実に送信することができます。メモリに複数の送信予約原稿があるときでも、セットした原稿は優先的に送信されます。

● **手動送信—電話をしてから送信⇒ P.39**

本機にオプションのハンドセットまたは電話機を接続しているときには、電話で相手の方と通話したり、相手先を確認したあと、そのまま原稿が送信できます。相手先のファクスから電話がかかってきたときも、原稿をセットすれば送信できます。

重要

オートダイヤル機能を使って原稿を送信する場合、“相手先番号の押し間違い”、“[短縮] ボタンの押し忘れ”、“ファクス番号の登録ミス”などにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。

大切な原稿を送信する場合は、「手動送信」により、相手先を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

⇒ P.39

参考

- 送信エラーが発生したときは、エラー送信レポートが自動的にプリントされます。エラーの原因を確認してから原稿を送信し直してください。なお、エラー送信レポートをプリントしないように設定することもできます。
⇒ P.166, P.185
- 通信速度は、回線の状態により変わることがあります。

メモリから送信する

3つの送信方法のうち最も操作が簡単なのは、原稿をメモリに読み込ませてから送信する方法です。この送信方法をメモリ送信と呼びます。メモリ送信中でも同じ操作で他の原稿の送信を予約することができます（デュアルアクセス機能）。

1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にセットします⇒ P.43

原稿に合わせて解像度や画質が設定できます。⇒ P.45

2 相手先の電話番号をダイヤルします（①～⑨など）

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤル、グループダイヤルが使用できます。⇒ P.62, P.63

TEL= 03XXXXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。⇒ P.65
- 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの76（⇒ P.69）を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけてダイヤルすることもできます。⇒ P.164
- 間違えたときは、[ストップ] ボタンを押してからダイヤルし直してください。
- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤルで相手先を指定したあと、5秒以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれ、送信されます。この機能がはたらかないように設定を変更することもできます。⇒ P.178

3 [スタート／コピー] ボタンを押します（）

原稿がメモリに読み込まれ、受付番号とページ番号が表示されます。

受付番号

ソウシン	0004
ゲンコウ ヨミコミ チュウ	P.002

ページ番号

読み込まれた原稿は、メモリから自動的に送信されます。

- ページ番号は、読み込み中の原稿が何枚目であることを示しています。受付番号は、通信ごとに自動的につけられる一連の番号で、通信の中止やメモリ内の原稿をプリントしたりクリアするときに使います。
- 途中で送信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。
“ツウシンヲ チュウシ シマスカ？”というメッセージが表示されたら [*] ボタンを押してください。⇒ P.49
- 相手先が話し中だったときは、自動的にリダイヤル（⇒ P.62）します。リダイヤル待機中に送信を中止するときは、[メモリ照会] ボタンを使って、該当する原稿を削除してください。
- メモリには、他に原稿が記憶されていない状態で約484枚読み込めます（キヤノンFAX標準チャートNo.1、標準モード使用時）。

重要

読み取りガラスにゴミやほこりがついていると、原稿に汚れがついた状態で送信されてしまいます。読み取りガラスは常にきれいな状態にしておいてください。⇒ P.188

参考

- メモリがいっぱいのときは、メモリ送信機能ははたらきません。
- メモリ送信は最大 30 件まで予約できます。
- 送信が正常に終了すると原稿は自動的にメモリから消去されます。
- 送信でエラーになった原稿は、自動的にメモリから消去されます。
- クイックメモリ送信機能を使うと、原稿の読み込み途中で送信が開始されます。この機能がはたらかないように設定することもできます。⇒ P.168
- 原稿の読み込み途中でメモリがいっぱいになると、自動的にダイレクト送信（⇒ P.37）に切り替わります。メモリに読み込ませることのできる原稿の枚数は、メモリ内に記憶されている原稿の量や読み込ませる原稿の画質などにより変わります。
- メモリ送信中でも、送信する原稿の読み込みが終了していれば、[スタート/コピー] ボタンを押してコピーすることができます。

原稿を直接送信する

セットした原稿をメモリに読み込ませず直接送信する方法をダイレクト送信と呼びます。メモリ内に送信原稿が記憶されているときでも、セットした送信原稿を優先的に送信することができます。

1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にセットします⇒ P.43

原稿に合わせて解像度や画質が設定できます。⇒ P.45

2 ダイレクト送信ボタンを押します ()

ダイレクト送信ランプの点灯を確認してください。

3 相手先の電話番号をダイヤルします (~ など)

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤルが使用できます。⇒ P.62, P.63

TEL= 03XXXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。⇒ P.65
- 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの76 (⇒ P.69) を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけてダイヤルすることもできます。⇒ P.164
- 間違えたときは、[ストップ] ボタンを押してからダイヤルし直してください。
- 相手先を2件以上指定すると、ダイレクト送信を指定しても同報送信となり、原稿はメモリに読み込まれます。⇒ P.50

4 [スタート/コピー] ボタンを押します ()

相手先のファクスを呼び出し、原稿の送信が始まります。

- 送信中は、受付番号や相手先の電話番号、送信中のページ番号などが表示されます。
- 途中で送信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。

参考

- メモリに複数の送信予約原稿があるときでも、ダイレクト送信ボタンを押すと、原稿台にセットした原稿が優先的に送信されます。
- 送信を中止した場合、原稿が操作パネルの下につまった状態になることがあります。その場合は操作パネルを開いて原稿を取り出してください。⇒ P.209

ECM 方式での通信について

本機は、ECM 方式で通信するように設定されています。ECM というのは、Error Correction Mode（自動誤り訂正モード）の頭文字をとった呼びかたです。

ECM 方式で通信すると、送信側と受信側で送受信状態を確認し合いながら通信するため、画像の通信エラーを防ぐことができます。

- 相手先が ECM 方式で通信するように設定されていないときは、通常の方式で通信します。
- ECM 方式で通信していても、回線の状態によっては画像エラーが発生することがあります。また、回線のトラブルなどがあると、エラーを訂正しながら送信するため通常の通信に比べて時間がかかってしまいます。



参考

ECM 方式で通信しないように設定することもできます。⇒ P.88, P.168, P.170

相手先に電話してから送信する

本機にオプションのハンドセットまたは電話機を接続しているときは、電話で相手の方と通話したり、相手先を確認してから原稿を送信することができます。この機能を手動送信と呼びます。

1 【オンフック】 ボタンを押します ()

回線使用中ランプが点灯し、“ツー” という信号音が聞こえます。

- 【オンフック】 ボタンを押さずに、オプションのハンドセットあるいは電話機の手話器を取ってもかまいません。
- 信号音の大きさは [◀ -] [+ ▶] ボタンを押して調整することができます。⇒ P.22

TEL=

2 相手先の電話番号をダイヤルします (~ など)

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルが使用できます。⇒ P.63

TEL= 03XXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。⇒ P.65
- 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの76 (⇒ P.69) を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけてダイヤルすることもできます。⇒ P.164
- 間違えたときは、【オンフック】 ボタンを押す (手順1でハンドセットか手話器を取ったときは戻して)、手順1からやり直してください。

3 相手の方の声が聞こえたら、ハンドセット (手話器) を取り通話します

- 手順1で【オンフック】 ボタンを押したときは、相手の方の声が聞こえても、ハンドセットや手話器を取るまでこちらの声は伝わりません。相手の方が出ないときは、【オンフック】 ボタンを押して電話を切ってください。
- 相手先のファクスがファクス専用になっているときは、相手の方が出て “ピー” という信号音が聞こえるだけで、通話することはできません。そのまま手順4に進んでください。

4 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にセットします ⇒ P.43

原稿に合わせて解像度や画質が設定できます。⇒ P.45

ファクスを送ることを相手の方に伝え、ファクス受信に切り替えてもらいます。相手先のファクスが受信可能になると、“ピー” という信号音が聞こえます。

5 [スタート／コピー] ボタンを押して (), ハンドセット (受話器) を戻します

原稿の送信が始まります。

- 送信中は、受付番号や相手先の電話番号、送信中のページ番号などが表示されます。
- 途中で送信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。
- ハンドセットや受話器をきちんと戻しておかないと送信終了後“ピロピロピロ……”というアラーム音（オフフックアラーム）が鳴ります。アラーム音が鳴らないように設定することもできます。⇒ P.164

送信前にダイヤルトーンを確認する

ファクスを送信するときに、ダイヤルトーンの確認を行ってからダイヤルするかどうか設定できます。本機は、あらかじめ確認「スル」に設定されています。PBXなどを利用して、ファクスを送信するときにディスプレイに「カイセンカクニン デキマセンデシタ」と表示されたり、送信結果／通信管理レポートにエラーコード「# 017」と記録される場合は、確認「シナイ」に設定してください。

送信前のダイヤルトーン確認の設定

1 データ登録の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録／設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

2 送信前のダイヤルトーン確認の設定項目を表示させます

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“3. ソウシン キノウ セッテイ” を表示させます。

3. ソウシン キノウ セッテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

ソウシン キノウ セッテイ
1. ECM ソウシン

- ③ [∧] または [∨] ボタンを押して、“6. ソウシンマエノ ダイヤルトーン” を表示させます。

6. ソウシンマエノ ダイヤルトーン

- ④ [セット] ボタンを押します。

3 設定を選択します

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“カクニン スル”、“カクニン シナイ” のいずれかを表示させます（あらかじめ、“カクニン スル” に設定されています）。

ソウシンマエノ ダイヤルトーン
カクニン スル



カクニン シナイ

- ② [セット] ボタンを押します。表示されていた内容が設定されます。

4 送信前のダイヤルトーン確認の設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

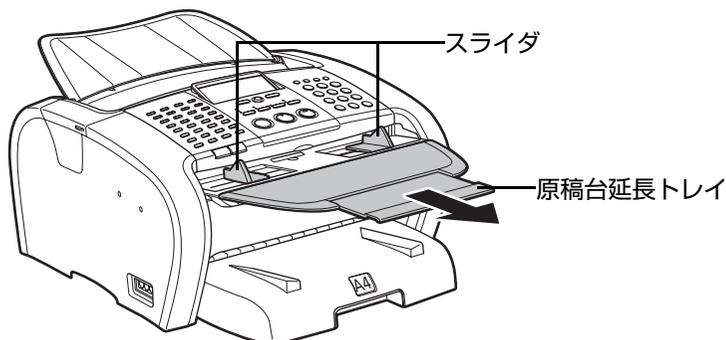
送信原稿をセットする

原稿は、A4 サイズは最大 40 枚、B4 サイズは最大 15 枚、A3 サイズは最大 10 枚まで一度にセットできます（原稿の種類により、少なくなる場合もあります）。一度に複数枚セットしたときは、一番下の原稿から順番に読み込まれます。

用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を約半分に減らしてください。

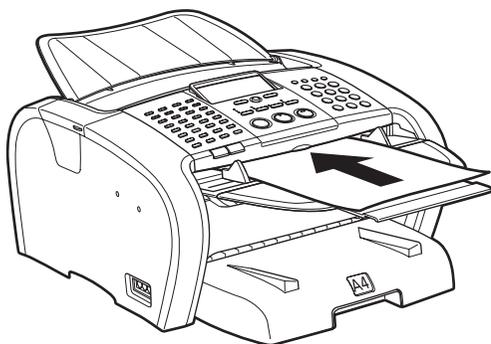
1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にのせます

原稿の幅に合わせてスライダを調整します。原稿セット方向に長い原稿のときは、原稿台延長トレイを引き出してください。



2 原稿を差し込みます

ピッという音がするように原稿が突き当たるまで差し込んでください。



原稿をセットすると、メモリの使用量が表示されたあと、原稿がセットされたことを示すメッセージが表示されます。

メモリ ショウ リョウ
12%



ゲ ンコウガ セット サレマシタ



原稿をセットしてもピッという音が鳴らず、「ゲンコウガ セット サレマシタ」というメッセージも出ないときは、もう一度原稿をセットし直してください。または「原稿がつまったときには」(P.209)の手順5の を参照してください。

送信原稿の自動縮小

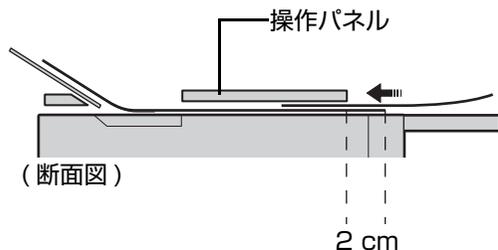
相手先のファクスの記録紙サイズに応じて、送信原稿を自動的に縮小して送信します。

相手先ファクスの最大記録紙	送信原稿のサイズ		
	A3 サイズ	B4 サイズ	A4 サイズ
A3 サイズ	そのまま (等倍)	そのまま (等倍)	そのまま (等倍)
B4 サイズ	B4 サイズに縮小	そのまま (等倍)	そのまま (等倍)
A4 サイズ	A4 サイズに縮小	A4 サイズに縮小	そのまま (等倍)

送信原稿を追加するには

原稿はなるべく追加しないでください。原稿がつまったり重送（複数枚が一度に送られること）のおそれがあります。

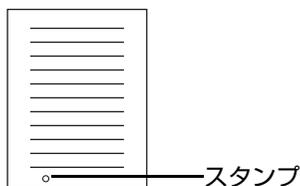
どうしても追加しなければならない場合、追加原稿のサイズは、読み込まれている原稿と同じサイズにしてください。原稿台にのっている原稿の枚数が制限を超えないように、読み込まれている最後の原稿の後端が、操作パネルの端から約 2 cm の位置にきたとき、追加原稿の先端を上に乗せて差し込みます。



送信原稿にスタンプを押すには



本機には、読み込みまたは送信の済んだ原稿にスタンプ（黄色）を押す機能があります（⇒ P.168）。送信する前にワンタッチパネル 3 を開き [スタンプ] ボタンを押して、スタンプランプを点灯させてください。下の図の位置にスタンプが押されます。なお、コピーするときにはこの機能ははたらきません。



- スタンプが薄くなってきたらインクを補充してください。⇒ P.192
- 手動送信やダイレクト送信時の送信済み原稿だけにスタンプを押すか、メモリ送信時に読み込まれた原稿にもスタンプを押すか選択できます。⇒ P.168 (スタンプの種類)

画像を鮮明に送信する

送信原稿に合わせて解像度や画質、読み取り濃度などを選択すると、より鮮明な画像を送信することができます。お買い上げ時には解像度は「標準」、画像モードは「文字」、読み取り濃度は“フツウ”に設定されています。

文字が細かいとき（写真があるとき）



解像度ボタンを押して、ファインランプあるいはスーパーファインランプを点灯させてください。

解像度を選択するときの目安

- 標準 : 普通の文字のとき（新聞活字よりも大きな文字のとき）
- ファイン : 細かい文字のとき（新聞活字程度の文字のとき）、標準の2倍の解像度
- スーパーファイン : 細かい文字や図のとき（新聞活字の中の小さめの文字のとき）、標準の4倍の解像度
- 「スーパーファイン」を選択していても、通信する相手先が「スーパーファイン」に対応していない場合は、通信する相手先の解像度に合わせて送信されます。
 - 解像度ボタンで「ファイン」、「スーパーファイン」を選択したときは、「標準」を選択したときよりも送信に時間がかかります。

文字だけの原稿のとき



画像モードボタンを押して、文字ランプを点灯させてください。

文字と写真が両方あるとき



画像モードボタンを押して、文字／写真ランプを点灯させてください。

- 画像モードボタンで「文字／写真」を選択したときは、解像度ボタンで「ファイン」または「スーパーファイン」を選択すると、より鮮明な画像を送信することができます。

参考

- 原稿の読み取り中に、解像度や画質などの設定を変更することができますが変更後の設定が有効になるのは、次ページの原稿を読み込むときからです。
- 原稿の読み取り中に、読み取り濃度の設定を変更することはできません。

■文字や写真の濃度が気になるとき

送信する原稿の読み取り濃度は、あらかじめ設定しておくことができます。原稿の読み取り濃度を設定するときは、次の手順で操作してください。

1 基本設定の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル 3 を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

2 読み取り濃度の設定項目を表示させます

- ① [セット] ボタンを押します。

キホン セッテイ
1. ヒツ ケ/ジ コク セット

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、“5. ヨミトリ ノウド セット” を表示させます。

5. ヨミトリ ノウド セット

3 読み取り濃度を選択します

- ① [セット] ボタンを押します。

ヨミトリ ノウド セット
フツウ

- ② [∧] または [∨] ボタンで、読み取り濃度を切り替えることができます。

例: フツウ

- ・フツウ
- ・コク
- ・ウスク

- ③ [セット] ボタンを押すと、表示されている読み取り濃度が選択できます。

4 読み取り濃度の設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

送信状況を確認する

送信中には、送信している原稿や相手先に関する情報がディスプレイに表示されます。送信が終了したすぐあとには、通信結果が表示されます。

また、[通信結果] ボタンを使うと 40 通信分の通信状況や通信結果が確認できます。

■ 送信中に表示されるメッセージ

原稿の送信中は、状況に応じて次のようなメッセージが交互に表示されます。

● 通信状況

2008 07/01 TUE 09:15
ソウシン P.001
ページ番号

● 受付番号

ウケツケ パンゴウ 0004
受付番号

● 電話番号

03XXXXXXXXX
電話番号

- 相手先の機種の設定によっては、相手先の名前などが表示される場合もあります。
- ECM 方式で通信しているときは、“ECM ソウシン” というメッセージも表示されます。⇒ P.88, P.168
- ダイレクト送信、手動送信のときは、日付や時刻は表示されません。

■ 送信終了後に表示されるメッセージ

原稿の送信が正常に終了すると、次のメッセージが交互に表示されます。

2008 07/01 TUE 09:15
ソウシン オワリマシタ
▲ ▼
ウケツケ パンゴウ 0004

- 送信の途中でエラーが発生すると、エラー送信レポートをプリントします。⇒ P.185
- エラー送信レポートをプリントしないように設定することもできます。⇒ P.166

通信結果を知らせるメッセージは、しばらくすると自動的に消えます。

通信結果を確認するには



[通信結果] ボタンを押します。

受付番号
送信原稿には0001～4999の
番号が付き、受信原稿には5001
～9999の番号が付きます。

送受信の追加分
TX…送信
RX…受信

通信開始時刻

通信中や待機中のものは
“--:--”と表示されます。

相手先略称

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを使用した
場合は、登録した名前が表示されます。
テンキーを使って送信した場合は、電話番号が
表示されます。相手先のファクスに発信人名称
が登録されていればその名前が表示されます。

通信結果

OK…通信が正しく終了しました。
NG…通信がエラー終了しました。
タイキチュウ
……リダイヤル、タイマー送信
などで送信待機中です。
ツウワチュウ……通信中です。

[V] ボタンを押すと、40 通信までさかのぼって確認できます。

[^] ボタンを押して戻することもできます。

- まず送信結果が、次に受信結果が表示されます。
 - 送信の結果は、送信結果レポートや通信管理レポートでも確認することができます。⇒ P.182 ～ P.185
- [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

送信を中止する

原稿の送信を途中で中止することができます。メモリ内の送信予約原稿も、受付番号がわかっている場合はメモリから削除し、送信予約を取り消すことができます。

送信の中止方法



送信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。

ダイレクト送信のときは、すぐに送信が中止できます。

メモリ送信のときは、送信中に [ストップ] ボタンを押すと、次のように表示されます。表示されないときは、もう一度 [ストップ] ボタンを押してください。

ツウシンヲ	チュウシ	シマスカ?
ハイ=(*)		イイエ=(#)

[*] ボタンを押すと、送信が中止できます。中止しないときは、[#] ボタンを押してください。

- 送信を中止しようとして [ストップ] ボタンを押しても、[*] ボタンを押すまでは送信し続けます。
- 通信予約を取り消したいときや、リダイヤル待機中に送信を中止したいときは、[メモリ照会] ボタンを使って、該当する受付番号の原稿をメモリから消去してください。⇒ P.139
- [*] ボタンを押すと、エラー送信レポートがプリントされます。⇒ P.185
- エラー送信レポートをプリントしないように設定することもできます。⇒ P.166

重要

ダイレクト送信を中止した場合、およびメモリ送信において原稿の読み込み中に中止した場合、原稿が操作パネルの下につまった状態になることがあります。その場合は操作パネルを開いて原稿を取り出してください。⇒ P.209

複数の相手先に同じ文書を送信する

1回の操作で、最大245カ所の相手先に同じ原稿が送信できます。この機能を同報送信と呼びます。なお、同報送信するときに、送信結果レポートを“プリント スル”に設定しておく、マルチ通信結果レポート（複数の相手先の送信結果レポート）がプリントされます。⇒ P.166, P.186

1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にセットします⇒ P.43

原稿に合わせて解像度や画質が設定できます。⇒ P.45

2 電話番号を順に指定します（短縮01□□～76□□、短縮◎など）

ワンタッチダイヤルでは、76カ所まで指定できます。⇒ P.63

```
TEL= 03 XXXX XXXX
      01 キヤノン キカク
```

短縮ダイヤルでは、168カ所まで指定できます。⇒ P.63

```
TEL= 03 XXXX XXXX
      *000 キヤノン ホンシャ
```

リダイヤルでは1カ所指定することができます。⇒ P.62

テンキーでは1カ所指定することができます。

テンキーで電話番号を指定したあとは必ず【セット】ボタンを押してください。

```
TEL= 03XXXXXXXXXX
```

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索して指定することもできます。この場合は、指定したい相手先を表示させ、【セット】ボタンを押してください。⇒ P.65
- 指定した相手先は【◀ -】【+ ▶】ボタンで確認できます。表示している相手先を外したいときは、【クリア】ボタンを押すとその相手のみクリアされます。また、【ストップ】ボタンを押すと、指定がすべてクリアされます。
- 最初の電話番号を指定してから5秒以上、2番目以降の電話番号を指定してからは10秒以上の間隔をあげると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿のメモリへの読み込みが自動的に開始され、残りの宛先への同報送信ができなくなってしまいます。
- グループダイヤルを使うと、簡単な操作で最大243カ所の相手先が指定できます。⇒ P.64
- 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの76（⇒ P.69）を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけてダイヤルすることもできます。⇒ P.164

3 原稿をメモリに読み込ませます ()

[スタート/コピー] ボタンを押します。原稿がメモリに読み込まれます。

原稿の読み込みが終わると、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーの順番に送信されます。送信がすべて正常に終了すると原稿はメモリから消去されます。

- 途中で送信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。
“ツウシンヲ チュウシ シマスカ?” というメッセージが表示されたら [*] ボタンを押してください。[ストップ] ボタンを押すと、すべての相手先への送信が中止されます (1ヵ所だけ送信を中止することはできません)。
- 話し中などで応答しなかった相手先には、その他の相手先に送信したあと、自動リダイヤル機能で再送信します。⇒ P.62
自動リダイヤル機能で設定されている回数分リダイヤルしても原稿が送信できなかった場合は、マルチ通信結果レポートをプリントします。⇒ P.186
- 同報送信の相手先が多いときは、通信が終了するまでに多少時間がかかります。
- ダイレクト送信を指定しているときでも、手順2で複数の相手先を指定すると、自動的に原稿はメモリに読み込まれ、同報送信されます。

重要

- 電話番号をダイヤルするとき、間隔があいてもダイヤルタイムアウト機能がはたらかないように設定することもできます。⇒ P.178
- 送信時刻を指定してタイマー同報送信することもできます。⇒ P.52
- 原稿の読み込み中に [ストップ] ボタンを押すと、原稿が操作パネルの下につまった状態になることがあります。その場合は操作パネルを開いて原稿を取り出してください。⇒ P.209
- メモリに大量の原稿が記憶されていると、同報送信ができなくなることがあります。原稿メモリ蓄積中、ディスプレイに“メモリがいっぱい”と表示されたときは、送信予約原稿の送信が終了するか、メモリ内に記憶された受信原稿をプリントしてから同報送信し直してください。⇒ P.217

送信時刻を指定する

原稿をメモリに読み込ませておき、指定した時刻に送信するよう設定できます。この機能をタイマー送信と呼びます。通信料金の安い深夜の時間帯を指定するなど、通信コストを削減するために活用できます。タイマー送信は最大 30 件まで予約できます。



正しい時刻に送信するには、タイマー送信の機能をお使いになる前に、本機に現在の日付と時刻を登録しておく必要があります。

ディスプレイに表示されている日付と時刻が正しくない場合は、本機の日付と時刻を設定してください。⇒ P.31

■ タイマー送信の設定

1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にセットします⇒ P.43

原稿に合わせて解像度や画質が設定できます。⇒ P.45

2 タイマー送信の設定項目を表示させます ()

ワンタッチパネル 3 を開いて、[タイマー通信] ボタンを押します。

タイマー ソウシン
1.ヨヤク

3 送信時刻を指定します

- ① [セット] ボタンを押します。[セット] ボタンを押したときの時刻が表示されます。
- ② テンキーで送信時刻を指定します。時、分は、それぞれ 24 時間表示の 2 桁で指定します。1 桁の場合は数字の前に“0”をつけます。

ソウシン ジ コク 07:05

- 間違えたときは、[クリア] ボタンを押してから指定し直してください。

4 相手先の電話番号をダイヤルします

- ① [セット] ボタンを押します。次のように表示が切り替わります。

アテサキ



TEL=

- ② 電話番号をダイヤルします。テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤルで最大 245 か所にダイヤルできます。⇒ P.62, P.63

TEL= 03XXXXXXXX

- テンキーを使ってダイヤルするときは、電話番号の最後で [セット] ボタンを押してください。
- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。この場合、指定したい相手先を表示させ、[セット] ボタンを押してください。⇒ P.65
- グループダイヤルを使うと、簡単な操作で最大 243ヵ所の相手が指定できます。⇒ P.64
- 複数の相手先を指定して、タイマー同報送信することもできます。⇒ P.50
- 間違えたときは、[クリア] ボタンを押してから指定し直してください。

5 原稿をメモリに記憶させます ()

[スタート/コピー] ボタンを押します。原稿の読み込みが始まります。

原稿は指定時刻に自動的に送信されます。送信が終了するとメモリに読み込まれた原稿は消去されます。

- 送信結果は、送信結果レポートあるいは通信管理レポートで確認することができます。⇒ P.182 ~ P.185
- ダイレクト送信を指定しているときでも、タイマー送信を指定すると、自動的に原稿はメモリに読み込まれ、送信されます。

■ タイマー送信の解除

タイマー送信予約した原稿の送信を取り消すときは、次の手順で操作してください。

1 タイマー送信の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル 3 を開いて、[タイマー通信] ボタンを押します。

タイマー ソウシン
1.ヨヤク

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、“2. トリケシ” を表示させます。

2.トリケシ

2 取り消したい原稿を指定します

- ① [セット] ボタンを押します。

ウケツケ パンゴウ 1018

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、取り消したい原稿の受付番号を検索します。

ウケツケ パンゴウ 1021

- [<] または [>] ボタンで、タイマー送信予約相手の電話番号や原稿の受付時刻が確認できます。なお、受付番号、送信予約相手の電話番号、受付時刻は、原稿リストでも確認できます。⇒ P.138

3 タイマー送信予約を取り消します

- ① [セット] ボタンを押します。

クリアシテ イイデ° スカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ② [*] ボタンを押します。原稿がクリアされます。

- [#] ボタンを押すと原稿はクリアされず、手順2に戻ります。

ウケツケ パンゴ° ウ 1021
クリア シマシタ

- ③ [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。



参考

メモリ照会の機能を使って、メモリ内のタイマー送信予約原稿をクリアすることもできます。⇒P.139

タイマー送信原稿のプリント

タイマー送信予約した原稿の内容をプリントして確認することができます。

1 タイマー送信のプリント項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[タイマー通信] ボタンを押します。

タイマー ソウシン
1.ヨヤク

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、“3. プリント”を表示させます。

3.プリント

2 プリントしたい原稿を指定します

- ① [セット] ボタンを押します。

ウケツケ パンゴ° ウ 1018

- ② [∧] または [∨] ボタンで、プリントしたい原稿の受付番号を検索します。

ウケツケ パンゴ° ウ 1021

- [<] または [>] ボタンで、タイマー送信予約相手の電話番号や原稿の受付時刻が確認できます。なお、受付番号、送信予約相手の電話番号、受付時刻は、原稿リストでも確認できます。⇒P.139

- ③ [セット] ボタンを押します。

1ペーシ° ノミ シュツリョク?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ④ 1 ページ目だけをプリントしたいときは [*] ボタンを、全ページをプリントしたいときは [#] ボタンを押してください。

- ⑤ プリントが終了したら、[ストップ] ボタンを押して待機状態に戻ります。
- 通信中の原稿はプリントできません。

その他の時刻設定

Fコード送信 (⇒ P.56) や、親展送信 (⇒ P.56)、中継指示送信 (⇒ P.57) の操作途中でも、原稿の送信時刻が設定できます。

1 送信時刻の設定画面を表示させます ()

操作の途中でワンタッチパネル 3 を開いて [タイマー通信] ボタンを押すと、送信時刻の設定画面が表示されます。

ソウシン ジ コク	
ソウシン ジ コク	12:34

2 送信時刻を指定します (~ 、)

テンキーで時刻を指定し、[セット] ボタンを押します。

送信時刻が設定され、自動的に [タイマー通信] ボタンを押す前の表示に戻ります。



- タイマー送信が正常に終了すると、原稿は自動的にメモリから消去されます。
- 原稿が設定した時刻のとおりに確実に送信されたかどうか、通信管理レポートなどで確認することをお勧めします。⇒ P.182
- タイマー同報送信機能を使って送信するときは、すべての相手先に送信し終わるまで多少時間がかかります。
- タイマー送信の通信予約状況は、通信予約リスト (タイマー送信) で確認することもできます。⇒ P.182

Fコードを使って送信する

原稿を送信するときに、ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）に従ったサブアドレスやパスワードを指定することができます。本機ではこの機能をFコード送信と呼びます。

Fコードとは

ファクス内にはメモリと呼ばれる画像情報を記憶する装置があります。Fコードはメモリ内の特定の場所を示すために使われる番号です。また、パスワードは、その場所への送信や受信を制限するために使われる暗証番号です。それぞれ20桁以内の数字、*、#、スペースで構成されます。

メモリ内の特定の場所を銀行口座に、記憶された画像情報をお金に例えると、Fコードは口座番号、パスワードはキャッシュカードの暗証番号に相当します。

口座番号と暗証番号が照合され一致すると口座からお金が引き出せるように、Fコードをサポートしたファクス同士で通信するときにFコードとパスワードを指定して、相手先のファクス内のメモリに記憶された画像情報を引き出すことができます。また、口座にお金を振り込むように、Fコードで指定された場所へ画像情報を送信することもできます。

なお、機種によっては、FコードはITU-Tサブアドレスと呼ばれ、Fコード送信はアドレス指定送信と呼ばれているものもあります。

Fコード送信とは

Fコード送信は、次のような通信を行う場合にお使いください。

- 送信した原稿がどのように扱われるかは、相手先のファクスのメモリ内の設定内容によって変わります。

■ 関係者だけに送信する（親展送信）

通信する相手先のファクスのメモリ内に親展ボックスが設定されているときは、その親展ボックスのFコードやパスワードを指定することにより、関係者以外の目に触れさせたくない重要な原稿を本機から送信することができます。通常、メモリ内の親展ボックスで受信した原稿は、パスワードを入力しないかぎり記録紙にはプリントされません。この機能を活用した送信方法を親展送信と呼びます。

- 親展送信するときは、あらかじめ相手先のファクスのメモリ内に設定されている親展ボックスのFコードやパスワードを確認して、Fコード送信してください。⇒P.58
- 相手先のファクスに汎用ボックスが設定されている場合も親展送信することができます。
- 本機には、親展ボックスや汎用ボックスを設定することはできません。したがって親展受信することはできません。

■ 別のファクスに送信を中継させる（中継指示送信）

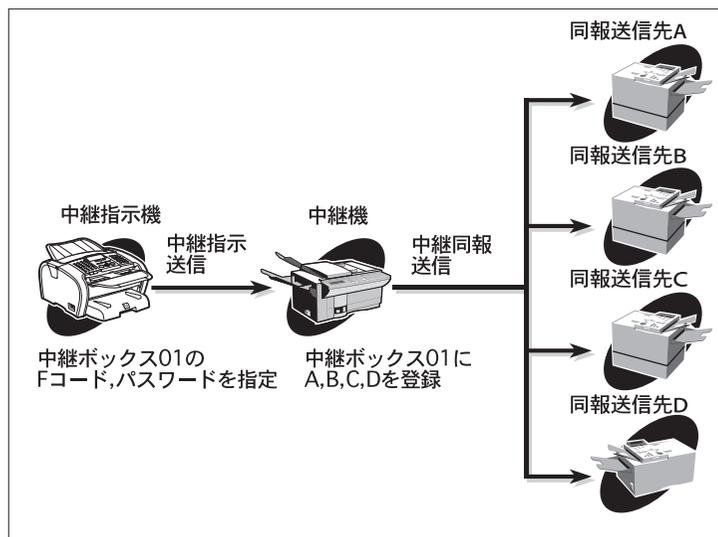
複数の相手先に同一の原稿を送信するとき、中継用の1台のファクスに原稿を送信し、そこから同報送信する機能を中継同報送信と呼びます。

中継用ファクスへの原稿送信を中継指示送信と呼びます。

相手先のファクスが中継同報送信機能を搭載している場合、Fコードやパスワードを指定することにより、本機から中継指示送信することができます。

中継指示送信するためには、相手先となる中継用のファクスが、中継同報送信する相手先をグループ化して、中継用のFコードやパスワードとともに登録しておく必要があります。中継指示送信するときは、その中継用のFコードやパスワードを指定します。

- 中継指示送信するときは、あらかじめ相手先のファクスのメモリ内に設定されている中継同報送信用のボックスのFコードやパスワードを確認して、Fコード送信してください。⇒ P.58
- 本機には、中継ボックスを設定することはできません。したがって中継機として使用することはできません。



■ 掲示板に送信する（掲示板機能）

通信する相手先のファクスが掲示板機能を搭載している場合は、相手先のメモリ内に設定されている掲示板のFコードやパスワードを指定することにより、必要に応じて掲示板にメッセージを送信したり、掲示板に登録されているメッセージを受信することができます。

- 相手先のファクスの掲示板にメッセージを送信するときは、あらかじめ相手先の掲示板のFコードやパスワードを確認して、Fコード送信してください。
- 相手先のファクスの掲示板に登録されているメッセージを受信するときは、あらかじめ相手先の掲示板のFコードやパスワードを確認して、ポーリング受信してください。⇒ P.111

Fコード送信するには

相手先のファクスが設定しているFコードとパスワードを指定して原稿を送信するときは、次の手順で操作してください。

1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にセットします⇒ P.43

原稿に合わせて解像度や画質が設定できます。⇒ P.45

2 相手先の電話番号をダイヤルします（①～⑨など）

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤルが使用できます。⇒ P.62, P.63

TEL= 03XXXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。この場合、指定したい相手先を表示させ、[セット] ボタンを押してください。⇒ P.65
- 間違えたときは、[クリア] ボタンを押してからダイヤルし直してください。
- テンキーでダイヤルするときは、電話番号の最後で [セット] ボタンを押してください。

3 Fコードを指定します

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[Fコード] ボタンを押します。

Fコード

- ② テンキーを使って、Fコードを入力します。20桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。

- 相手先のファクスのFコードと、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。

*0987654321#

- スペースを入力するときは、[スペース] ボタンを押してください。
 - 間違えたときは、[削除] ボタンを押して、1つ前の桁に戻り入力し直すことができます。[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。
- ③ [セット] ボタンを押します。
 - 相手先のファクスがパスワードを設定していないときは、本機でパスワードを設定しないで、手順5に進んでください。

4 パスワードを指定します

- ① [パスワード] ボタンを押します。
 - Fコードを入力してから [パスワード] ボタンを押すまでに5秒以上の間隔をあげないでください。ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿の送信が自動的に開始され、パスワードを指定できなくなってしまいます。

パ* スワート*

- ② テンキーを使って、パスワードを入力します。20桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。
 - 相手先のファクスのパスワードと、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。

00#1234567*

- スペースを入力するときは、[スペース] ボタンを押してください。
 - 間違えたときは、[削除] ボタンを押して、1つ前の桁に戻り入力し直すことができます。[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。
- ③ [セット] ボタンを押します。

5 原稿を送信します ()

[スタート/コピー] ボタンを押します。原稿の読み込みが始まります。

原稿には、指定したFコードやパスワードが付加されて送信されます。送信が終了すると、メモリに読み込まれた原稿は自動的に消去されます。

- 途中で送信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。
“ツウシンヲ チュウシ シマスカ?” というメッセージが表示されたら [*] ボタンを押してください。⇒ P.49



時刻を指定してFコード送信するときは、手順2まで行ってから時刻設定 (⇒ P.55) をしてください。そのあと、手順3に戻って操作を続けてください。

海外に送信する

海外の相手先に原稿を送信するときは、国際ダイヤル番号、国番号、市外局番、電話番号の順でダイヤルする必要があります。

1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にセットします⇒ P.43

原稿に合わせて解像度や画質が設定できます。⇒ P.45

2 【オンフック】 ボタンを押します ()

回線使用中ランプが点灯し“ツー”という信号音が聞こえます。

- 【オンフック】 ボタンを押さずに、オプションのハンドセットあるいは電話機の手話器を取ってもかまいません。
- 信号音の大きさは [◀ -] [+ ▶] ボタンを押して調整することができます。⇒ P.22

TEL=

3 相手先の電話番号をダイヤルします (~)

国際ダイヤル番号、相手先の国番号、市外局番、電話番号の順でダイヤルします。

たとえば、アメリカのニューヨーク (国番号 1、市外局番 212) にある 123-4567 番のファクスに原稿を送信する場合は、国際ダイヤル番号* → 1 → 212 → 1234567 の順でダイヤルしてください。

TEL= XXX12121234567

国際 国番号 市外局番 電話番号

ダイヤル番号*

* 国際ダイヤル番号は、国際電話会社によって異なります。ご利用になる国際電話会社にお問い合わせください。

- 間違えたときは、【オンフック】 ボタンを押し (手順 2 でハンドセットや受話器を取ったときは戻して)、手順 2 からやり直してください。
- 相手先の電話番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておくこともできます。⇒ P.68, P.73
- 電話帳機能を使って、登録した海外の相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。⇒ P.65

4 “ピー” という信号音が聞こえたら、【スタート/コピー】 ボタンを押しま

す ()

原稿の送信が始まります。



参考

- ダイレクト送信ボタンを使って、原稿をメモリに読み込ませずに直接送信することもできます。⇒ P.37
- 海外に送信するときに、たびたびエラーが発生するときは、その電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録し、国際送信や通信スピードの種別を指定してみてください。⇒ P.86
または、国際ダイヤル番号と国番号の間に、[保留/ポーズ] ボタンを押してポーズ時間を追加してみてください。
なお、通信スピードや国際送信の設定を変更したり、ポーズ時間を追加しても、海外への送信がうまくいかないときは、ご利用の国際電話会社にお問い合わせください。

相手先が話し中だったときは

相手先が話し中などで原稿が送信できなかったときは、約2分間待機したあと、自動的に再度送信するようになっています（自動リダイヤル）。また、最後にテンキーを使ってダイヤルした相手先の電話番号は、[リダイヤル] ボタンで簡単に呼び出すことができます（手動リダイヤル）。

リダイヤル待機中に表示されるメッセージ（自動リダイヤル）

次のメッセージが交互に表示されます。

● メモリ送信のとき

2008 07/01 TUE 09:15
ジ ド ウ リダ イヤル



ウケツケ パ ンゴ ウ 1040

● ダイレクト送信のとき

ジ ド ウ リダ イヤル
ウケツケ パ ンゴ ウ 1040

- リダイヤルの必要がないときは、ダイレクト送信時には[ストップ] ボタンを押して、原稿を取り除いてください。メモリ送信時には[メモリ照会] ボタンを使って、リダイヤル待機中の原稿をメモリから削除してください。⇒ P.139
- 自動リダイヤルしないように設定することもできます。⇒ P.168



参考

- 自動リダイヤルしたとき、相手先がまだ話し中だった場合は、さらに約2分間待機してもう一度リダイヤルします。それでも相手先が話し中のときは、送信を中止しエラー送信レポートをプリントします。⇒ P.185
ただし、レポート設定の「送信結果レポート」を「プリント シナイ」に設定していると、エラー送信レポートはプリントされません。⇒ P.166
- 自動リダイヤルのリダイヤル間隔やリダイヤル回数を変更することもできます。⇒ P.168
- リダイヤルの間隔時間は設定した時間より最大で59秒ずれることがあります。

もう一度同じ相手先を呼び出すには（手動リダイヤル）



[リダイヤル] ボタンを押してから、[スタート/コピー] ボタンを押してください。テンキーで最後にダイヤルした相手先の電話番号が表示され相手先を呼び出します。

TEL = 03XXXXXXXXX

- 中止したいときは[ストップ] ボタンを押してください。

オートダイヤルを使ってダイヤルする

電話番号をダイヤルするとき、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなど、オートダイヤル機能を使って簡単にダイヤルすることができます。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルをグループダイヤルとして使うこともできます。

ワンタッチダイヤルを使ってダイヤルするには

あらかじめワンタッチダイヤルボタンに通信する相手先の電話番号を登録しておく必要があります。⇒ P.68

- ワンタッチダイヤルには、最大 76カ所の相手先を登録しておくことができます。

ワンタッチダイヤルの使いかた

01 ☐ ~ 76 ☐ 電話番号をダイヤルするとき、テンキーの代わりにワンタッチダイヤルボタンを押します。登録した電話番号と相手先の名前が表示されます。

- ワンタッチパネル1では01～32、ワンタッチパネル2では33～64、ワンタッチパネル3では65～76のワンタッチダイヤルボタンが選択できます。

TEL=	03	XXXX	XXXX
01	キヤノン	キカク	

- ワンタッチダイヤルボタンを間違えて押したときは、[ストップ] ボタンを押してからワンタッチダイヤルボタンを選択し直してください。
- 原稿がセットされている状態で、ワンタッチダイヤルボタンを押したあと、5秒（複数の宛先を指定したときは10秒）以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれます。この機能がはたらかないようにすることもできます。⇒ P.178
- ダイヤルタイムアウトする前にメモリに原稿を読み込ませたいときは、[スタート/コピー] ボタンを押してください。
- 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの76（⇒ P.69）を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけてダイヤルすることができます。ワンタッチダイヤルボタンの76を押したあと、テンキーで電話番号入力し、入力が終わったら[スタート/コピー] ボタンを押してください。また、電話をかけるときに限りワンタッチダイヤルボタンの76のあと、テンキー以外にワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルでも相手先を指定することができます。



参考

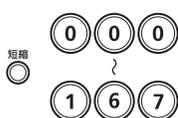
- ワンタッチダイヤルに送信時刻を設定した場合は、その時刻になってからダイヤルが開始されます。⇒ P.83
- ワンタッチダイヤルに登録した相手先の名前を電話帳で検索してからダイヤルすることもできます。⇒ P.65

短縮ダイヤルを使ってダイヤルするには

あらかじめ短縮ダイヤルに通信する相手先の電話番号を登録しておく必要があります。⇒ P.73

- 短縮ダイヤルには、最大 168カ所の相手先を登録しておくことができます。

■ 短縮ダイヤルの使いかた



電話番号をダイヤルするとき、テンキーの代わりに【短縮】ボタンを押してから、テンキーで3桁の登録番号を指定します。登録した電話番号と相手先の名前が表示されます。

```
TEL= 03 XXXX XXXX
*000 キヤノン ホンシャ
```

- 短縮ダイヤルを間違えて指定したときは、【ストップ】ボタンを押してから短縮ダイヤル番号を指定し直してください。
- 原稿がセットされている状態で、短縮ダイヤルで相手先を指定したあと、5秒（複数の宛先を指定したときは10秒）以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれます。この機能がはたらかないようにすることもできます。⇒ P.178
- ダイヤルタイムアウトする前にメモリに原稿を読み込ませたいときは、【スタート／コピー】ボタンを押してください。

参考

- 短縮ダイヤルに送信時刻を設定した場合は、その時刻になってからダイヤルが開始されます。⇒ P.83
- 短縮ダイヤルに登録した相手先の名前を電話帳で検索してからダイヤルすることもできます。⇒ P.65

■ グループダイヤルを使ってダイヤルするには

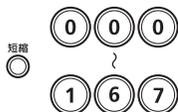
あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに複数の通信する相手先の電話番号を登録しておく必要があります。⇒ P.68, P.73, P.77

- 1つのグループダイヤルには、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている相手先を最大243カ所、グループとして登録しておくことができます。

■ グループダイヤルの使いかた

01 □ ~ 76 □

グループダイヤルを登録したワンタッチダイヤルボタンを押すか、【短縮】ボタンを押してからテンキーで3桁の短縮ダイヤル番号を指定します。登録したグループ名が表示されます。



```
TEL=グループダイヤル
20 キヤノン シテンググループ A
*099 キヤノン シテンググループ B
```

- グループダイヤルを間違えて指定したときは、【ストップ】ボタンを押してからグループダイヤルを指定し直してください。
- グループダイヤルを指定したあと、5秒以上経過すると、ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、原稿が自動的にメモリに読み込まれます。この機能がはたらかないようにすることもできます。⇒ P.178
- ダイヤルタイムアウトする前にメモリに原稿を読み込ませたいときは、【スタート／コピー】ボタンを押してください。

参考

- グループダイヤルに送信時刻を設定した場合は、その時刻になってからダイヤルが開始されます。⇒ P.83
- グループダイヤルに登録したグループの名前を電話帳で検索してからダイヤルすることもできます。⇒ P.65

電話帳機能を使ってダイヤルする

電話帳機能を使うと、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録された相手先の名前や、グループダイヤルに登録されたグループの名前を 50 音やアルファベットで検索し、ダイヤルすることができます。

50 音で検索するには

相手先の名前を 50 音で検索するときは、原稿台に原稿をセット (⇒ P.43) してから、次の手順で操作してください。

1 【電話帳】 ボタンを押します (☎)

電話帳の検索画面が表示されます。

デ`ンシ` デ`ンワ`チョウ` カシラモジ` ニュウリョク` :ア`

- ディスプレイの右下に“:ア”と表示されているときは 50 音で検索することができます。“A”と表示されているときは、テンキーの [*] ボタンを押して“:ア”を表示させてください。

2 名前の頭文字を指定します (0~9)

テンキーを使って 50 音を入力することができます。⇒ P.27

名前の頭文字に対応しているテンキーを押します。

- たとえば、“キャノン”という名前を検索するときは、力行に対応している [2] のボタンを押します。頭文字がカ~コで登録されている先頭の相手先が表示されます。

TEL= 03 XXXX XXXX 01 キャノン キカク

3 目的の相手先を検索します (◀-▶)

[◀ -] [+ ▶] ボタンで、相手先の名前が検索できます。

TEL= 03 XXXX XXXX *000 キャノン ホンシャ

▲ ▼

TEL=グループ` タ`イダル 20 キャノン シテング` ループ` A`

- 上記の例の場合は、[◀ -] [+ ▶] ボタンを押すたびに、頭文字がカ~コの相手先の電話番号と名前が表示されます。
- 目的の相手先を表示させたら、すぐに手順 4 に進んでください。10 秒以上経過すると、電話番号と名前の表示が消えてしまいます。



ワンタッチパネル 3 にある機能ボタンの [Λ] や [V] ボタンで検索することもできます。

電話として活用する

本機にオプションのハンドセットまたは電話機を接続しているときは、原稿を送受信するだけでなく、普通の電話機と同じように使うことができます。[オンフック] ボタンを使うと、ハンドセットや受話器を取らなくてもダイヤルできます。

1 [オンフック] ボタンを押します ()

回線使用中ランプが点灯し、“ツー” という信号音が聞こえます。

- [オンフック] ボタンを押さずに、オプションのハンドセットあるいは電話機の受話器を取ってもかまいません。
- 信号音の大きさは [◀ -] [+ ▶] ボタンを押して調整することができます。⇒ P.22

TEL=

2 相手の方の電話番号をダイヤルします (~ など)

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルが使用できます。⇒ P.63

TEL= 03XXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。⇒ P.65
- 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの 76 (⇒ P.69) を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけてダイヤルすることもできます。⇒ P.164
- 間違えたときは、[オンフック] ボタンを押し (手順 1 でハンドセットや受話器を取ったときは戻して)、手順 1 からやり直してください。

3 相手の方の声が聞こえたら、ハンドセット (受話器) を取り通話します

- 手順 1 で [オンフック] ボタンを押したときは、相手の方の声が聞こえても、ハンドセットや受話器を取るまでこちらの声は伝わりません。相手の方が出ないときは、[オンフック] ボタンを押して電話を切ってください。
- 通話が終了したあと、ハンドセットや受話器をきちんと戻します。



参考

- 内蔵スピーカから相手の方の声が聞こえているときに [◀ -] [+ ▶] ボタンを押すと、音量が調整できます。
- プッシュホンサービスを利用する場合、相手の方が出たらトーン [*] ボタンを押してください (本機をトーン回線で使用しているときは、この操作は不要です)。
- 通話中に保留するときは、[保留/ポーズ] ボタンを押します。保留メロディが鳴っているときに [◀ -] [+ ▶] ボタンを押すと、保留メロディの音量が調整できます。
- ファクスの着信と同時にハンドセットや電話機の受話器を取ると、“ポーポー” という信号音が聞こえることがあります。ハンドセットや受話器を取っているときは、[スタート/コピー] ボタンを押してからハンドセットや受話器を戻してください。受話器を取っているときはリモート受信 (⇒ P.114) 操作することもできます。

ファクス原稿を受信するための操作をする前にハンドセットや受話器を戻してしまうと、通信中だったファクスは受信できなくなります。

なお、すべての原稿の受信が終了するまでは、電話として利用することはできません。

- 本機に留守番電話を接続して留守番電話接続機能を活用することもできます。⇒ P.115

第4章 送信先のダイヤル登録

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルには、76カ所の相手先が登録できます。それぞれのワンタッチダイヤルボタンには120桁までの電話番号と相手先の名前を登録できます。相手先の名前には、カタカナ、英数字、記号が16文字まで入力できます。1つのワンタッチダイヤルボタンに複数の相手先を登録すると、グループダイヤルとして利用することができます。⇒ P.77

相手先は、短縮ダイヤルにも登録できます。⇒ P.73

1 電話番号の登録項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1.データ トウロク

- ② [八] または [V] ボタンを押して、“2. デンワバンゴウ トウロク” を表示させます。

2. デンワバンゴウ トウロク

2 ワンタッチダイヤルを選択します

- ① [セット] ボタンを押します。
 - TEL 暗証番号が設定されている場合は、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください (暗証番号は表示されません)。⇒ P.178

デンワバンゴウ トウロク
1. ワンタッチ ダイヤル

- ② [セット] ボタンを押します。

ワンタッチ ダイヤル
01=

3 ワンタッチダイヤルの登録番号を選択します

- ① 必要に応じてワンタッチパネルを開いて、登録したい番号のワンタッチダイヤルボタンを押します。
 - ワンタッチパネル1では01～32、ワンタッチパネル2では33～64、ワンタッチパネル3では65～76のワンタッチダイヤルボタンが選択できます。
- [八] または [V] ボタンを押して、登録番号を選択することもできます。
- すでに登録済みの番号には相手先の電話番号が表示されます。グループダイヤルとして登録されている番号は、“グループ ダイヤル” と表示されます。

- ② [セット] ボタンを押します。

1. デンワバンゴウ

- ワンタッチダイヤルボタンの76はこちらの電話番号を相手先に通知しないようにする番号「184」または、こちらの電話番号を相手先に通知するための番号「186」を登録した特番ボタンとして使用できます。⇒P.164
相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合でも、相手先の電話番号の前に「184」をつけてダイヤルすると、こちらの電話番号が通知されません。また、こちらが電話番号を通知しない契約をしている場合でも、「186」をつけてダイヤルすると、その通知に限り、電話番号を通知します。
ワンタッチダイヤルボタンの76がすでに特番登録されている場合、このボタンに通常のワンタッチダイヤルを登録することはできません。

4 電話番号を登録します

- ① [セット] ボタンを押します。

デンワバンゴウ
TEL=

- ② テンキーで電話番号を入力します。[スペース] ボタンで空白を入れてもかまいません。電話番号はスペースを含めて120桁まで入力できます。

TEL=03 XXXX XXXX

- すでに登録されている電話番号を削除するときは、ワンタッチパネル3を開いて [クリア] ボタンを押してください。
 - スペースを入力するときは、ワンタッチパネル3を開いて [スペース] ボタンを押してください。
 - 間違えたときは、[<] ボタンで訂正する数字の下までカーソルを移動し、[削除] ボタンを押してから入力し直すことができます。
 - 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの76(⇒P.69)を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけて登録することができます。電話番号を登録するときに、はじめにワンタッチダイヤルボタンの76を押して「184」または「186」を入力したあと、テンキーで相手先の電話番号を入力します。
- ③ [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“2. ナマエ”の登録項目が表示されます。

ワンタッチダイヤル
2. ナマエ

5 相手先の名前を登録します

- ① [セット] ボタンを押します。

ナマエ :ア
—

- ② テンキーで名前を入力します。文字の入力方法は、「文字を入力するには」(P.28)の説明を参照してください。名前には、カタカナ、英数字、記号が16文字まで入力できます。

キャンノ キカク

- ③ [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“3. ショウサイ セッテイ”の設定項目が表示されます。

ワンタッチ ダイヤル
3. ショウサイ セッテイ

- 詳細設定では、ワンタッチダイヤルに送信時刻、Fコードやパスワード、国際送信、送信スピードなどの通信機能を設定することができます。
- 通信機能の設定をする必要がなく、続けて別のワンタッチダイヤルを登録したいときは、[登録/設定] ボタンを押してください。ワンタッチダイヤルの登録番号が表示されます。手順3からの操作を繰り返してください（表示される登録番号は、それまで登録操作していたワンタッチダイヤルの次の番号になりますが、他の登録番号を選択することもできます）。
- 通信機能の設定をする必要がなく、また、ワンタッチダイヤルの登録を終了するときは、手順7に進んでください。

6 通信機能を設定するかどうか選択します

- ① [セット] ボタンを押します。

ショウサイ セッテイ
シナイ

- ② 通信機能を設定する場合は“スル”を、設定しない場合は“シナイ”を選択します。[八] または [V] ボタンを押していずれかを表示させ、[セット] ボタンを押します。

“シナイ”を選択した場合

別の登録番号が表示されます。続けて他のワンタッチダイヤルを登録するときは、手順3からの操作を繰り返してください。

“スル”を選択した場合

通信機能の設定項目が表示されます。通信機能の設定方法については、「ダイヤル登録で設定できる通信機能」(P.82)の説明を参照してください。

7 ワンタッチダイヤルの登録を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

重要

- ワンタッチダイヤルに電話番号を登録するときは、誤送信や間違い電話を防ぐため、ディスプレイの表示を確かめながら正確に相手先の電話番号を入力してください。登録したあとは、電話番号リストをプリントし、正しく登録されていることを確認してください。
- 電話番号を誤って登録すると、自動リダイヤルにより相手先を何度も呼び出しで迷惑をおかけすることになります。相手先の電話番号は慎重に登録してください。

参考

- 登録操作の途中でも、[ストップ] ボタンを押せば、待機状態に戻ることができます。
- ワンタッチダイヤルに登録した相手先の名前を宛先ラベルに書いてワンタッチパネルに貼っておくと便利です。
- ワンタッチダイヤルに電話番号を登録するとき、すでに他のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている電話番号の桁数によっては、メモリ容量の関係で電話番号が120桁まで登録できない場合があります。
- ワンタッチダイヤルの使いかたについては、「ワンタッチダイヤルを使ってダイヤルするには」(P.63)を参照してください。

ワンタッチダイヤルの削除

ワンタッチダイヤルの登録内容を削除するときは、次の手順で操作してください。

1 電話番号の登録項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [H] または [V] ボタンを押して、“2. デンワバンゴウ トウロク” を表示させます。

2. デンワバンゴウ トウロク

2 ワンタッチダイヤルを選択します

- ① [セット] ボタンを押します。
 - TEL 暗証番号が設定されている場合は、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください (暗証番号は表示されません)。⇒ P.178

デンワバンゴウ トウロク
1. ワンタッチ ダイヤル

- ② [セット] ボタンを押します。

ワンタッチ ダイヤル
01= 03 XXXX XXXX

3 ワンタッチダイヤルの登録番号を選択します

- ① 必要に応じてワンタッチパネルを開いて、削除したい番号のワンタッチダイヤルボタンを押します。
 - ワンタッチパネル1では01～32、ワンタッチパネル2では33～64、ワンタッチパネル3では65～76のワンタッチダイヤルボタンが選択できます。[H] または [V] ボタンを押して、登録番号を選択することもできます。

- ② [セット] ボタンを押します。

1. デンワバンゴウ

4 電話番号を削除します

- ① [セット] ボタンを押します。

デ ンワバ ンゴ ウ
TEL=03 XXXX XXXX_

- ② [クリア] ボタンを押します。登録内容が削除されます。

TEL=

- ③ [セット] ボタンを押します。

- 電話番号を削除すると、その他の登録内容もすべて削除されます。

クリア シマシタ

5 ワンタッチダイヤルの削除を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、168カ所の相手先が登録できます。それぞれの短縮ダイヤルには120桁までの電話番号と相手先の名前を登録できます。相手先の名前には、カタカナ、英数字、記号が16文字まで入力できます。1つの短縮ダイヤルに複数の相手先を登録すると、グループダイヤルとして利用することができます。⇒P.77

相手先は、ワンタッチダイヤルにも登録できます。⇒P.68

1 電話番号の登録項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウログ/セッテイ
1.データ トウログ

- ② [H] または [V] ボタンを押して、“2. デンワバンゴウ トウログ” を表示させます。

2.デンワバンゴウ トウログ

2 短縮ダイヤルを選択します

- ① [セット] ボタンを押します。
 - TEL 暗証番号が設定されている場合は、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください（暗証番号は表示されません）。⇒P.178

デンワバンゴウ トウログ
1.ワンタッチ ダイヤル

- ② [H] または [V] ボタンを押して、“2. タンシュク ダイヤル” を表示させます。

2.タンシュク ダイヤル

- ③ [セット] ボタンを押して、登録番号を表示させます。

タンシュク ダイヤル
*000=

3 短縮ダイヤルの登録番号を選択します

- ① [短縮] ボタンを押し、登録する3桁の短縮ダイヤル番号(000～167)をテンキーで指定します。
[H] または [V] ボタンを押して、登録番号を選択することもできます。
 - すでに登録済みの番号には相手先の電話番号が表示されます。グループダイヤルとして登録されている番号は、“グループ ダイヤル” と表示されます。
- ② 登録番号を選択したら、[セット] ボタンを押します。

1.デンワバンゴウ

4 電話番号を登録します

- ① [セット] ボタンを押します。

テンホンゴウ
TEL=

- ② テンキーで電話番号を入力します。[スペース] ボタンで空白を入れてもかまいません。電話番号はスペースを含めて120桁まで入力できます。

TEL=03 XXXX XXXX_

- すでに登録されている電話番号を削除するときは、ワンタッチパネル3を開いて[クリア]ボタンを押してください。
 - スペースを入力するときは、ワンタッチパネル3を開いて[スペース]ボタンを押してください。
 - 間違えたときは、[<]ボタンで訂正する数字の下までカーソルを移動し、[削除]ボタンを押してから入力し直すことができます。
 - 「184」または「186」を特番登録したワンタッチダイヤルボタンの76(⇒P.69)を使い、電話番号の先頭に「184」または「186」をつけて登録することができます。電話番号を登録するときに、はじめにワンタッチダイヤルボタンの76を押して「184」または「186」を入力したあと、テンキーで相手先の電話番号を入力します。
- ③ [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“2. ナマエ”の登録項目が表示されます。

タンシユク ダイヤル
2. ナマエ

5 相手先の名前を登録します

- ① [セット] ボタンを押します。

ナマエ :ア
_

- ② テンキーで名前を入力します。文字の入力方法は、「文字を入力するには」(P.28)の説明を参照してください。名前には、カタカナ、英数字、記号が16文字まで入力できます。

キヤノン ホンシユ

- ③ [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“3. ショウサイ セツテイ”の設定項目が表示されます。

タンシユク ダイヤル
3. ショウサイ セツテイ

- 詳細設定では、短縮ダイヤルに送信時刻、Fコードやパスワード、国際送信、送信スピードなどの通信機能を設定することができます。
- 通信機能の設定をする必要がなく、続けて別の短縮ダイヤルを登録したいときは、[登録/設定]ボタンを押してください。短縮ダイヤルの登録番号が表示されます。手順3からの操作を繰り返してください(表示される登録番号は、それまで登録操作していた短縮ダイヤルの次の番号になりますが、他の登録番号を選択することもできます)。
- 通信機能の設定をする必要がなく、また、短縮ダイヤルの登録を終了するときは、手順7に進んでください。

6 通信機能を設定するかどうか選択します

- ① [セット] ボタンを押します。



- ② 通信機能を設定する場合は“スル”を、設定しない場合は“シナイ”を選択します。[ハ] または [V] ボタンを押していずれかを表示させ、[セット] ボタンを押します。

“シナイ”を選択した場合

別の登録番号が表示されます。続けて他の短縮ダイヤルを登録するときは、手順3からの操作を繰り返してください。

“スル”を選択した場合

通信機能の設定項目が表示されます。通信機能の設定方法については、「ダイヤル登録で設定できる通信機能」(P.82)の説明を参照してください。

7 短縮ダイヤルの登録を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

重要

- 短縮ダイヤルに電話番号を登録するときは、誤送信や間違い電話を防ぐため、ディスプレイの表示を確かめながら正確に相手先の電話番号を入力してください。登録したあとは、電話番号リストをプリントし、正しく登録されていることを確認してください。
- 電話番号を誤って登録すると、自動リダイヤルにより相手先を何度も呼び出しご迷惑をおかけすることになります。相手先の電話番号は慎重に登録してください。

参考

- 登録操作の途中でも、[ストップ] ボタンを押せば、待機状態に戻ることができます。
- 短縮ダイヤルリスト (⇒ P.91) をプリントし、本機の近くに貼っておくと便利です。
- 短縮ダイヤルに電話番号を登録するとき、すでに他のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている電話番号の桁数によっては、メモリ容量の関係で電話番号が120桁まで登録できない場合があります。
- 短縮ダイヤルの使いかたについては、「短縮ダイヤルを使ってダイヤルするには」(P.63)を参照してください。

短縮ダイヤルの削除

短縮ダイヤルの登録内容を削除するときは、次の手順で操作してください。

1 電話番号の登録項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。



- ② [ハ] または [V] ボタンを押して、“2. デンワバンゴウ トウロク”を表示させます。



2 短縮ダイヤルを選択します

- ① [セット] ボタンを押します。
 - TEL 暗証番号が設定されている場合は、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください（暗証番号は表示されません）。⇒ P.178

デ*ンワハ*ンゴ*ウ トウロク
1. ワンタッチ ダ*イヤル

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、“2. タンシュク ダイヤル” を表示させます。

2. タンシュク ダ*イヤル

- ③ [セット] ボタンを押します。

タンシュク ダ*イヤル
*000= 03 XXXX XXXX

3 短縮ダイヤルの登録番号を選択します

- ① [短縮] ボタンを押し、削除したい3桁の短縮ダイヤル番号をテンキーで指定します。
[∧] または [∨] ボタンを押して、登録番号を選択することもできます。
- ② 登録番号を選択したら、[セット] ボタンを押します。

1. デ*ンワハ*ンゴ*ウ

4 電話番号を削除します

- ① [セット] ボタンを押します。

デ*ンワハ*ンゴ*ウ
TEL=03 XXXX XXXX_

- ② [クリア] ボタンを押します。登録内容が削除されます。

TEL=

- ③ [セット] ボタンを押します。

- 電話番号を削除すると、その他の登録内容もすべて削除されます。

クリア シマシタ

5 短縮ダイヤルの削除を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに複数の相手先を登録してグループダイヤルとして使うことができます。1つのグループダイヤルには、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで登録した相手先を組み合わせ、最大243カ所までをグループとして登録できます。

1 電話番号の登録項目を表示させます

- 1 ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セツテイ
1. データ トウロク

- 2 [△] または [▽] ボタンを押して、“2. デンワバンゴウ トウロク” を表示させます。

2. デンワバンゴウ トウロク

2 グループダイヤルを選択します

- 1 [セット] ボタンを押します。
 - TEL 暗証番号が設定されている場合は、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください（暗証番号は表示されません）。⇒ P.178

デンワバンゴウ トウロク
1. ワンタッチ ダイヤル

- 2 [△] または [▽] ボタンを押して、“3. グループ ダイヤル” を表示させます。

3. グループ ダイヤル

- 3 [セット] ボタンを押して、登録番号を表示させます。

グループ ダイヤル
01=

3 グループダイヤルの登録番号を選択します

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを指定します。
ワンタッチダイヤルをグループダイヤルとして使用するときは、必要に応じてワンタッチパネルを開いて、ワンタッチダイヤルボタンを指定します。
 - ワンタッチパネル1では01～32、ワンタッチパネル2では33～64、ワンタッチパネル3では65～76のワンタッチダイヤルボタンが選択できます。
- [△] または [V] ボタンを押して、登録番号を選択することもできます。

03=

- すでに登録済みの番号を指定したときは、“ワンタッチ ダイヤル” と表示されます。グループダイヤルとして登録されている番号は、“グループ ダイヤル” と表示されます。

短縮ダイヤルをグループダイヤルとして使用するときは、[短縮] ボタンを押してから、登録する3桁の短縮ダイヤル番号をテンキーで指定します。

[△] または [V] ボタンを押して、登録番号を選択することもできます。

*003=

- すでに登録済みの番号を指定したときは、“タンシユク ダイヤル” と表示されます。グループダイヤルとして登録されている番号は、“グループ ダイヤル” と表示されます。

- [セット] ボタンを押します。

1. デンパ ンゴ ウ

4 複数の相手先を登録します

- [セット] ボタンを押します。

TEL=

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを指定します。
ワンタッチダイヤルをグループに登録するときは、必要に応じてワンタッチパネルを開いて、登録したいワンタッチダイヤルボタンを押してください。複数のワンタッチダイヤルを連続して指定することができます。
 - グループダイヤルとして登録してあるワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録することもできます。

TEL= 03 XXXX XXXX
01 キヤノン キカク

短縮ダイヤルをグループに登録するときは、[短縮] ボタンと3桁の短縮ダイヤル番号で指定してください。複数の短縮ダイヤルを連続して指定することができます。

TEL= 03 XXXX XXXX
*000 キヤノン ホンシャ

- テンキーでは登録できません。
- すでに登録済みの電話番号は、[△] または [V] ボタンで表示させてから [クリア] ボタンで削除できます。グループダイヤルを削除するときは、登録されたすべての電話番号を削除してから [セット] ボタンを押してください。電話番号を追加するときはその番号が登録されているワンタッチダイヤルボタンや短縮ダイヤル番号を押します。

- ③ [セット] ボタンを押します。自動的に“2. ナマエ”の登録項目が表示されます。

グループダイヤル
2. ナマエ

5 グループの名前を登録します

- ① [セット] ボタンを押します。

ナマエ : ア
—

- ② テンキーで名前を入力します。文字の入力方法は、「文字を入力するには」(P.28)の説明を参照してください。名前には、カタカナ、英数字、記号が16文字まで入力できます。

ナマエ : A
キャノン シテンググループ A

- ③ [セット] ボタンを押します。登録終了のメッセージが表示されたあと、自動的に“3. ソウシン ジコク”の設定項目が表示されます。

グループダイヤル
3. ソウシン ジコク

- 送信時刻の設定をする必要がなく、続けて別のグループダイヤルを登録したいときは、[登録/設定] ボタンを押してください。グループダイヤルの登録番号が表示されます。手順3からの操作を繰り返してください（表示される登録番号は、それまで登録操作していたグループダイヤルの次の番号になりますが、他の登録番号を選択することもできます）。
- 送信時刻の設定をする必要がなく、また、グループダイヤルの登録を終了するときは、手順7に進んでください。

6 送信時刻を設定します ()

[セット] ボタンを押すと送信時刻が設定できます。送信時刻の設定のしかたについては、「送信時刻の設定」(P.83)を参照してください。

7 グループダイヤルの登録を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

参考

- 登録操作の途中でも、[ストップ] ボタンを押せば、待機状態に戻ることができます。
- グループダイヤルの使いかたについては、「グループダイヤルを使ってダイヤルするには」(P.64)を参照してください。

グループダイヤルの削除

グループダイヤルの登録内容を削除するときは、次の手順で操作してください。

1 電話番号の登録項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル 3 を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [H] または [V] ボタンを押して、“2. デンワバンゴウ トウロク” を表示させます。

2. デンワバンゴウ トウロク

2 グループダイヤルを選択します

- ① [セット] ボタンを押します。
 - TEL 暗証番号が設定されている場合は、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください (暗証番号は表示されません)。⇒ P.178

デンワバンゴウ トウロク
1. ワンタッチ ダイヤル

- ② [H] または [V] ボタンを押して、“3. グループ ダイヤル” を表示させます。

3. グループ ダイヤル

- ③ [セット] ボタンを押して、登録番号を表示させます。

グループ ダイヤル
01=グループ ダイヤル

3 グループダイヤルの登録番号を選択します

- ① グループダイヤルとして登録されたワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルの登録番号を表示させます。
 - グループダイヤルとして登録されたワンタッチダイヤルを削除したいときは、ワンタッチダイヤルボタンで登録番号を選択してください。ワンタッチパネル 1 では 01 ~ 32、ワンタッチパネル 2 では 33 ~ 64、ワンタッチパネル 3 では 65 ~ 76 のワンタッチダイヤルボタンが選択できます。
 - グループダイヤルとして登録された短縮ダイヤルを削除したいときは、[短縮] ボタンを押して、3桁の短縮ダイヤル番号を入力して選択してください。

[H] または [V] ボタンを押して、グループダイヤルとして登録されたワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを選択することもできます。

- ② 登録番号を選択したら、[セット] ボタンを押します。

1. デンワバンゴウ

4 電話番号を削除します

- ① [セット] ボタンを押します。登録されている相手先の電話番号と名前が表示されます。

```
TEL=      03 XXXX XXXX
01 キヤノン キカク
```

- ② [クリア] ボタンを押します。

表示されていた相手先の電話番号と名前が消え、別の相手先の電話番号と名前が表示されます。

```
TEL=      03 XXXX XXXX
*000 キヤノン ホンシャ
```

- ③ グループダイヤルに登録されていたすべての相手先の電話番号と名前が消え、次のように表示されるまで [クリア] ボタンを連続して押します。

```
TEL=
```

- ④ [セット] ボタンを押します。この時点で、手順3で選択したグループダイヤル番号に登録されていた電話番号と名前がすべて削除されます。

```
グループ ダイヤル
2. ナマエ
```

5 グループの名前を削除します

- ① [セット] ボタンを押します。グループダイヤルの登録名称が表示されます。

```
ナマエ          :ア
  キヤノン シテンググループ A
```

- ② [クリア] ボタンを押します。

```
ナマエ          :ア
  =
```

- ③ [セット] ボタンを押します。グループダイヤルの登録名称が削除されます。

6 グループダイヤルの削除を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

ダイヤル登録で設定できる通信機能

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録するときに、電話番号や相手先の名前などのほか、送信時刻、Fコードやパスワード、国際送信、送信スピード、ECM 通信などの通信機能を設定することができます。

グループダイヤル登録時には送信時刻が設定できます。

通信機能設定の選択

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録時、送信時刻、Fコードやパスワード、国際送信、送信スピードなどを設定するには、通信機能の設定を有効にするかどうか選択する必要があります。

1 電話番号や相手先の名前を登録します

ワンタッチダイヤルへの登録方法については、「ワンタッチダイヤルを登録する」(P.68)の手順 1～5 を参照してください。

短縮ダイヤルへの登録方法については、「短縮ダイヤルを登録する」(P.73)の手順 1～5 を参照してください。

相手先の名前の登録が終了すると、“3. ショウサイ セッテイ” の設定項目が表示されます。

2 通信機能の設定を有効にします

- ① [セット] ボタンを押します。

ショウサイ セッテイ
シナイ

- ② [∧] または [V] ボタンを押して、“スル” を表示させます。

スル

- ③ [セット] ボタンを押します。

1. ソウシン シ コク

- ④ [∧] または [V] ボタンを押して、通信機能の設定項目を選択できます。

- 通信機能の設定項目の設定操作については、このあとの各項目の説明を参照してください。

送信時刻の設定

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録時に、送信開始時刻を設定しておくこと、同じ宛先へ送付する複数の文書を順次メモリに記憶させておき、設定した時刻にまとめて送信することができるため、通信コストが削減できます。

送信時刻は、1日最大5時刻まで設定できるため、定期便のような情報伝達に使うこともできます。

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの送信時刻を設定するためには、あらかじめ通信機能の設定項目を有効にしておく必要があります。通信機能の設定項目を有効にするには、「通信機能設定の選択」(P.82)を参照してください。

1 送信時刻の設定項目を表示させます

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録時は、通信機能設定を有効にし、“1. ソウシン ジコク”が表示されていることを確認します。

ショウサイ セツテイ
1. ソウシン ジコク

- 表示されていないときは、表示されるまで【△】または【▽】ボタンを押してください。
- グループダイヤルの登録時は、グループの名前を登録したあと、“3. ソウシン ジコク”が表示されていることを確認します。

グ ループ ダ イヤル
3. ソウシン ジコク

2 送信時刻を設定します

- ① 【セット】ボタンを押します。

ソウシン ジコク
1 : :

- ② 【セット】ボタンを押します。

— :

- ③ テンキーで送信時刻を指定します。時刻は24時間表示です。時、分は、それぞれ2桁で指定します。1桁の場合は、数字の前に“0”を付けます。

20:05

- ④ 【セット】ボタンを押します。

2 : :

- 送信時刻の登録番号は1～5まであり、1日のうち最大5時刻まで送信時刻が設定できます。登録番号は、【△】または【▽】ボタンで選択できます。複数の時刻を設定するときは、登録番号を選択してから、手順2の操作を繰り返してください。
- 5時刻すべてを登録する必要はありません。
- 間違えたときは、【クリア】ボタンを押して指定し直してください。

3 送信時刻の設定を終了します ()

ワンタッチパネル 3 を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル登録時は、“2. ソウシン ホウホウ” の設定項目が表示されます。グループダイヤル登録時は、そのまま別のグループダイヤルが登録できます。

- [ストップ] ボタンを押して、待機状態に戻ることもできます。

Fコードとパスワード

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録時に、Fコードとパスワードを設定しておくことができます。

- Fコードやパスワードについては、「Fコードとは」(P.56) を参照してください。
- Fコードやパスワードを設定するためには、あらかじめ通信機能の設定項目を有効にしておく必要があります。通信機能の設定項目を有効にするには、「通信機能設定の選択」(P.82) を参照してください。

1 送信方法の設定項目を選択します ()

通信機能設定を有効にしたあと、[Λ] または [V] ボタンを押して、“2. ソウシン ホウホウ” を表示させます。

ショウサイ セツテイ
2. ソウシン ホウホウ

2 送信方法を指定します

- ① [セット] ボタンを押します。

ソウシン ホウホウ
ツウジ* ヨウ ソウシン

- ② [Λ] または [V] ボタンを押して、“Fコード ソウシン” を表示させます。

Fコード* ソウシン

3 Fコードを指定します

- ① [セット] ボタンを押します。

Fコード* ソウシン
1. Fコード*

- ② [セット] ボタンを押します。

Fコード*

- ③ テンキーを使って、Fコードを入力します。20桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。
- 相手先のファクスのFコードと、スペースの位置も含めて完全に一致するように指定してください。

*0987654321#

- スペースを入力するときは、[スペース] ボタンを押してください。
- 間違えたときは、[削除] ボタンまたは [<] ボタンを押して、1つ前の桁に戻り入力し直すことができます。[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。

- ④ [セット] ボタンを押します。

Fコード* ソウシン
2.ハ° スワート°

4 パスワードを指定します

- ① [セット] ボタンを押します。

ハ° スワート°

- 相手先のファクスがパスワードを設定していないときは、パスワードを設定する必要はありません。なにも入力しないで次の手順に進んでください。
- ② テンキーを使って、パスワードを入力します。20桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。
- 相手先のファクスのパスワードと、スペースの位置も含めて完全に一致するように指定してください。

00#12345678*

- スペースを入力するときは、[スペース] ボタンを押してください。
- 間違えたときは、[削除] ボタンまたは [<] ボタンを押して、1つ前の桁に戻り入力し直すことができます。[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。

5 Fコードとパスワードの設定を終了します (○)

[セット] ボタンを押します。“3. コクサイ ソウシン” の設定項目が表示されます。

- [ストップ] ボタンを押して、待機状態に戻することもできます。

国際送信の設定

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに海外の相手先を登録するとき、国際送信の種別が設定できます。

- お買い上げいただいたときは、国内送信に設定されています。海外の相手先に原稿を送信したとき、送信エラーがよく発生する場合は、国際送信設定（1）～国際送信設定（3）のいずれかを設定してみてください。
- 国際送信を設定するためには、あらかじめ通信機能の設定項目を有効にしておく必要があります。通信機能の設定項目を有効にするには、「通信機能設定の選択」（P.82）を参照してください。

1 国際送信の設定項目を選択します（△▽）

通信機能設定を有効にしたあと、[△] または [▽] ボタンを押して、“3. コクサイ ソウシン” を表示させます。



ショウサイ セッテイ
3. コクサイ ソウシン

2 国際送信の種別を選択します

- ① [セット] ボタンを押します。



コクサイ ソウシン
コクナイ ソウシン

- ② [△] または [▽] ボタンを押して、“コクナイ ソウシン”、“コクサイ ソウシン（1）”、“コクサイ ソウシン（2）”、“コクサイ ソウシン（3）”のいずれかを表示させます。
 - まず、“コクサイ ソウシン（1）”を選択してみてください。エラーが発生するときは、（2）、（3）の順に選択し、調整してみてください。

3 国際送信の設定を終了します（○）

[セット] ボタンを押します。“4. ソウシン スピード” の設定項目が表示されます。

- [ストップ] ボタンを押して、待機状態に戻ることもできます。

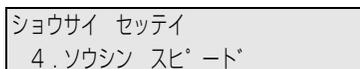
送信スピードの設定

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録時に、原稿を送信するときのスピードが設定できます。回線状態が安定している地域の相手先には送信スピードを上げて、より快適な送信ができます。また回線状態が悪い地域の相手先に原稿を送信するときなどに、通信エラーが発生しにくいように送信スピードを調整することができます。

- お買い上げ時は、送信スピードは 33600bps に設定されています。14400bps、9600bps または 4800bps に変更することができます。
- 送信スピードを設定するためには、あらかじめ通信機能の設定項目を有効にしておく必要があります。通信機能の設定項目を有効にするには、「通信機能設定の選択」(P.82) を参照してください。

1 送信スピードの設定項目を選択します (△▽)

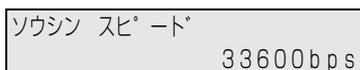
通信機能設定を有効にしたあと、[△] または [▽] ボタンを押して“4. ソウシン スピード”を表示させます。



ショウサイ セツテイ
4. ソウシン スピード

2 送信スピードを選択します

- ① [セツト] ボタンを押します。



ソウシン スピード
33600bps

- ② [△] または [▽] ボタンを押して“33600bps”、“14400bps”、“9600bps”、“4800bps”のいずれかを表示させます。

3 送信スピードの設定を終了します (○)

[セツト] ボタンを押します。“5. ECM ツウシン”の設定項目が表示されます。

- [ストップ] ボタンを押して、待機状態に戻ることもできます。

ECM 通信の設定

ECM 方式で通信するかどうかを設定できます。

- ECM 通信については、「ECM 方式での通信について」(P.38) を参照してください。
- お買い求め時の ECM 通信の設定は “スル” になっています。通常は “スル” に設定しておきます。

1 ECM 通信の設定項目を選択します (▲▼)

通信機能設定を有効にしたあと、[▲] または [▼] ボタンを押して “5. ECM ツウシン” を表示させます。



2 ECM 通信を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。



- ② [▲] または [▼] ボタンを押して “スル” または “シナイ” のいずれかを表示させます。
- ③ [セット] ボタンを押します。

3 ECM 通信の設定を終了します (⏏)

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

内線から送信する場合の登録例

通常、PBX 等の内線に接続している電話機から外線にかけるときは、外線の発信番号が必要になります。ここでは、本機が内線に接続されているとき、“03-3758-2111”の相手先をワンタッチダイヤルの“01”に登録する方法を説明します。同様の手順で短縮ダイヤルに登録することもできます。なお、外線への発信番号は“0”とします。

1 ワンタッチダイヤルの登録番号を選択します

具体的な操作手順は、「ワンタッチダイヤルを登録する」(P.68)を参照してください。

2 外線の発信番号を入力します (0)

テンキーで、外線の発信番号“0”を入力します。

```
デ ンワバ ンゴ ウ  
TEL=0_
```

3 [保留／ポーズ] ボタンを押します (保留/ポーズ)

[保留／ポーズ] ボタンを 1 回押すと、“P”が表示され約 2 秒間のポーズ時間が設定されます。

```
TEL=0P_
```

- あらかじめ、外線の発信番号をダイヤルしてから外線につながるまでの時間を確認しておき、必要に応じて [保留／ポーズ] ボタンを何度か押してください。

4 相手先の電話番号を入力します (0~9)

テンキーで、電話番号を入力します。[スペース] ボタンで空白を入れてもかまいません。電話番号は外線の発信番号、スペースを含めて 120 桁まで入力できます。

```
TEL=0p03 3758 2111_
```

- “P”のあとに電話番号を入力すると、大文字の“P”は、自動的に小文字の“p”になります。
- このあとの操作については、「ワンタッチダイヤルを登録する」(P.68)を参照してください。



ポーズ時間は約 2 秒に設定されていますが、変更することができます。⇒ P.168

国際ダイヤル利用時の登録例

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、海外の相手先を登録することができます。海外の相手先を登録するときは、「海外に送信する」(P.60)を参照してください。

1 ダイヤルの登録番号を選択します

具体的な操作手順は、「ワンタッチダイヤルを登録する」(P.68)または「短縮ダイヤルを登録する」(P.73)を参照してください。

2 相手先の電話番号を指定します (0~9、^{保留/ポーズ})

国際ダイヤル番号、相手先の国番号、市外局番、電話番号の順で入力します。また、相手先が出るまでの時間をあらかじめ確認しておき、[保留/ポーズ] ボタンを使って調整します。



国際ダイヤル番号* 国番号 市外局番 電話番号

登録前に相手先に電話し、呼び出し音が聞こえるまでの時間を確認し、必要なだけ[保留/ポーズ]ボタンを押してください(1回で10秒設定)。

* 国際ダイヤル番号は、国際電話会社によって異なります。ご利用になる国際電話会社にお問い合わせください。

- このあとの操作については、「ワンタッチダイヤルを登録する」(P.68)または「短縮ダイヤルを登録する」(P.73)を参照してください。

参考

電話番号の最後にセットされるポーズ(大文字の“P”で表示)は、約10秒間に設定されています。この設定時間は変更できません。

海外への送信がうまくいかないとき

本機は、電話番号をダイヤルし終わってから55秒以内に相手先からのファクス信号が返ってこないとき、自動的に回線を切る仕組みになっています。回線が自動的に切れたときは、通信管理レポートに“#018”のエラーコードが記録されます。

通信管理レポートに“#018”のエラーコードが記録されたときは、国際ダイヤル番号と国番号の間に[保留/ポーズ]ボタンを押すか、番号を入力したあと最後に[保留/ポーズ]ボタンを2回押してみてください。

- 海外に送信したときに“#018”以外のエラーがよく発生する場合は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録するとき、通信機能の国際送信の設定を変更してみてください。⇒ P.86
- ポーズ時間を追加したり、国際送信の設定を変更しても、海外への送信がうまくいかないときは、ご利用の国際電話会社にお問い合わせください。

登録した電話番号を確認する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を電話番号リストで確認することができます。

1 レポートの項目を表示させます (レポト)

ワンタッチパネル3を開いて、[レポート] ボタンを押します。

レポート
1. ツウシンカンリ レポート

2 ダイヤルリストを選択します (ダイヤリスト)

[△] または [▽] ボタンを押して、“2. ダイヤルリスト” を表示させます。

2. ダイヤルリスト

3 電話番号リストの種類を選択します

① [セット] ボタンを押します。

ダイヤルリスト
1. ワンタッチ ダイヤルリスト1

② [△] または [▽] ボタンを押して、プリントする電話番号リストを表示させます。

“1. ワンタッチ ダイヤルリスト1”、“2. タンシュク ダイヤルリスト1”

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録された、相手先の電話番号や相手先略称、送信方法および送信時刻が確認できます。

“3. ワンタッチ ダイヤルリスト2”、“4. タンシュク ダイヤルリスト2”

ダイヤルリスト1の内容に加え、送信スピードやFコードなど詳細な登録内容が確認できます。

“5. グループダイヤルリスト”

グループダイヤルに登録されたワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルが確認できます。

4 電話番号リストをプリントします

① [セット] ボタンを押します。

ソート シュツリョク
1. キョカ シナイ

- 電話番号リストをソートしてプリントする場合は、[△] または [▽] ボタンで、“2. キョカ スル” を表示させてください。
- ソート出力を“1. キョカ シナイ”にした場合、電話番号リストは登録番号順にプリントされます。ソート出力を“2. キョカ スル”にした場合、電話番号リストは、登録されている相手先略称を昇順に並び替えた状態でプリントされます。なお、相手先略称のソートは、カタカナ、英字、数字の優先順位に従って行われます。

② [セット] ボタンを押すと、電話番号リストのプリントが始まります。

- 送信中は電話番号リストのプリントに時間がかかることがあります。



ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルには、最大 120 桁の電話番号が登録できますが、電話番号リスト 1 には 40 桁までしかプリントされません。40 桁を超える登録内容は、電話番号リスト 2 で確認してください。

ワンタッチダイヤル電話番号リスト 1

番号	相手の電話番号	相手先略称	送信方法	⌚
[01]	03 3455 9000	キヤノン ハンバイ	通常送信	10:00
[02]	011 728 9000	キヤノン ハンバイ サウヂロ	通常送信	
[03]	022 265 9000	キヤノン ハンバイ センダイ	通常送信	
[04]	082 246 9000	キヤノン ハンバイ ヒロシマ	Fコード送信	
[05]	06 9883 9000	キヤノン ハンバイ オオカ	通常送信	
[06]	グループダイヤル	グループA	通常送信	

送信方法
タイマー送信開始時刻

短縮ダイヤル電話番号リスト 1

番号	相手の電話番号	相手先略称	送信方法	⌚
[s000]	052 249 9000	キヤノン ヒロシマ	通常送信	08:00
[s001]	0195 48 9000	キヤノン キカク モリカ	通常送信	
[s002]	073 241 9000	キヤノン キカク キョウト	通常送信	
[s003]	098 867 9000	キヤノン キカク シバ	通常送信	
[s004]	グループダイヤル	キヤノン グループB	通常送信	

ワンタッチダイヤル電話番号リスト 2

番号	相手の電話番号	相手先略称	送信方法	⌚
[01]	03 3455 9000	キヤノン ハンバイ	通常送信	10:00
[02]	011 728 9000	キヤノン ハンバイ サウヂロ	通常送信	
[03]	022 265 9000	キヤノン ハンバイ センダイ	通常送信	
[04]	082 246 9000	キヤノン ハンバイ ヒロシマ	Fコード送信	
[05]	06 9883 9000	キヤノン ハンバイ オオカ	通常送信	
[06]	グループダイヤル	グループA	通常送信	

短縮ダイヤル電話番号リスト2

2008 02/18 09:47 FAX 01 2345 6789		キヤノン ホンジャ		001	
***** *** 短縮ダイヤル電話番号リスト2 *** *****					
[e000]	相手の電話番号 相手先略称 送信スピード 送信方法 ECM通信	082 249 9000 キヤノン ヒロシマ 33600bps (0) 通常送信 する			
[e001]	相手の電話番号 相手先略称 送信スピード 送信方法 ECM通信	0196 48 9000 キヤノン 秋カク 刈カ 33600bps (0) 通常送信 する			
[e002]	相手の電話番号 相手先略称 送信時刻 送信スピード 送信方法 ECM通信	073 241 9000 キヤノン 秋カク 秋カ (1)08:00 (2) (3) (4) (5) 33600bps (0) 通常送信 する			
[e003]	相手の電話番号 相手先略称 送信スピード 送信方法 ECM通信	098 867 9000 キヤノン 秋カク 秋カ 33600bps (0) 通常送信 する			
[e004]	相手の電話番号 相手先略称	グループダイヤル キヤノン グループ B			

グループダイヤル電話番号リスト

2008 02/18 09:45 FAX 01 2345 6789		キヤノン ホンジャ		001	
***** *** グループダイヤル電話番号リスト *** *****					
[05]	キヤノン グループ B	[01] 03 3455 9000	キヤノン ハンバイ		
		[02] 011 728 9000	キヤノン ハンバイ サッポロ		
		[03] 022 265 9000	キヤノン ハンバイ センダ		
		[04] 082 246 9000	キヤノン ハンバイ ヒロシマ		
[06]	キヤノン グループ C	[01] 03 3455 9000	キヤノン ハンバイ		
		[03] 022 265 9000	キヤノン ハンバイ センダ		

第5章 ファクスを受信する

受信するための基本的な設定

受信設定には、なにもしなくても自動的に応答する自動受信、着信時にお客様がFAXと電話を切り替える手動受信などがあります。

また、留守番電話を接続して留守番電話接続機能を活用することもできます。NTTのモデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービス（有料）を活用して2種類の電話番号を設定して使い分けることもできます。

以下を参考に、お使いの電話回線に合わせて、適切な受信モードを選んでください。

ファクス専用回線があり、ファクス原稿だけ受けたい

いいえ

はい

➔ ② 自動受信

一回線の同じ番号で電話とファクスを使いたい

はい

自動的にファクスと電話を切り替えたい

はい

➔ ① FAX/TEL 切り替え※¹

いいえ

ファクスよりも電話が多い、
ファクスは手動で受信したい

はい

➔ ④ 手動受信

いいえ

一回線のままファクス番号と電話番号を使い分けたい※²

はい

モデムダイヤルインサービスを
契約している

はい

➔ ③ モデムダイヤルイン
F/T 切り替え

いいえ

ダイヤルインサービスを契約している

はい

➔ ③ ダイヤルイン F/T 切り替え

留守中に電話もファクスも受けたい

はい

➔ ⑤ 留守番電話接続

※¹ お買い上げ時の設定。

※² NTT とのサービス契約が必要です。

● 電話もファクスも受けたいとき (① FAX/TEL 切り替え)

お買い上げ時の受信モードは、「FAX/TEL 切り替え」に設定されています。本機にオプションのハンドセットまたは電話機を接続し、ファクスと電話を自動的に切り替えて使いたいときには、そのまま「FAX/TEL 切り替え」の状態で使用してください。相手先がファクスのときは自動的に受信し、相手先が電話のときは呼び出し音で知らせます。⇒ P.96, P.98

● ファクス原稿だけを受けるとき (② 自動受信)

本機をファクス専用機として活用するときは、受信モードを「自動受信」に設定してください。相手先のファクスからファクス原稿が送られてきたときは自動的に受信します。⇒ P.96, P.98

ただし、自動受信はファクス専用のため、相手の方が電話をかけてきても自動的に受信動作になるため、電話を受けることはできません。

- オプションのハンドセット、または電話機を接続しているとき、「自動受信」に設定していても、電話をかけることはできます。⇒ P.67

● ファクス番号と電話番号を使い分けたいとき (③ モデムダイヤルイン F/T 切り替えまたはダイヤルイン F/T 切り替え)

NTT のモデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービス (有料) を契約した場合に設定してください。2 種類の電話番号をダイヤルイン番号として契約すれば、それぞれの番号を本装置でファクス用、電話用として設定し、2 種類の番号を使い分けることができます。⇒ P.97, P.124

● ファクスよりも電話のほうが多いとき (④ 手動受信)

本機にオプションのハンドセット、または電話機を接続し、電話として利用することが多いときは「手動受信」に設定してください。相手先がファクスでも電話でも、呼び出し音で知らせます。相手先がファクスのときは、[スタート/コピー] ボタンで受信できます。⇒ P.96, P.99

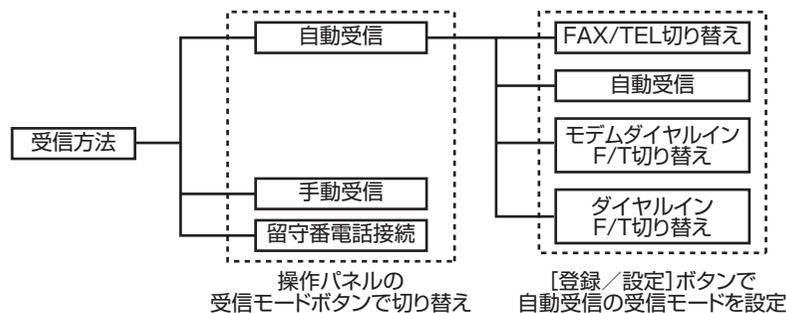
● 留守中に電話もファクスも受けたいとき (⑤ 留守番電話接続)

本機に留守番電話を接続しておくと、相手先がファクスのときは自動的に受信し、電話のときは、相手の方のメッセージを留守番電話で録音しておくことができます。留守番電話を活用するときには、「留守」に設定してください。⇒ P.96, P.115

受信設定を確認／変更する

自動受信や手動受信、留守番電話接続の設定は、操作パネルの受信モードボタンで切り替えることができます。

自動受信（FAX/TEL 切り替え・自動受信・モデムダイヤルイン F/T 切り替え・ダイヤルイン F/T 切り替え）の設定は、受信機能設定の受信モード選択で行ってください。



自動受信または FAX/TEL 切り替えに設定するには



受信モードボタンを押して手動受信ランプ、留守ランプを消します。

さらに、[登録／設定] ボタンを使って、受信機能設定の受信モードで「自動受信」または「FAX/TEL 切り替え」を選択します。⇒ P.100, P.170

- ランプの状態だけでは、「自動受信」「FAX/TEL 切り替え」のどちらに設定されているかは判断できません。
- 受信中には、回線使用中ランプが点灯します。

手動受信に設定するには



受信モードボタンを押して手動受信ランプを点灯させます。

- 受信モードボタンを押しても、手動受信ランプが点灯しないときは、受信機能設定の受信モード選択で“モデムダイヤルイン F/T キリカエ”もしくは“ダイヤルイン F/T キリカエ”が設定されています。手動受信に切り替えることはできません。

留守番電話接続に設定するには



受信モードボタンを押して留守ランプを点灯させます。

- 受信モードボタンを押しても、留守ランプが点灯しないときは、受信機能設定の受信モード選択で“モデムダイヤルイン F/T キリカエ”または“ダイヤルイン F/T キリカエ”が設定されています。留守番電話接続に切り替えることはできません。

■ モデムダイヤルイン F/T 切り替えに設定するには

受信モードボタンでモデムダイヤルイン F/T 切り替えを設定することはできません。設定のしかたについては、「1本の電話回線で2種類の電話番号を活用する」(P.123)を参照してください。

- モデムダイヤルインサービスを利用しているときは、手動受信や留守番電話接続機能は利用できません。受信モードボタンを押しても、手動受信ランプ、留守ランプは点灯しません。

■ ダイヤルイン F/T 切り替えに設定するには

受信モードボタンでダイヤルイン F/T 切り替えを設定することはできません。設定のしかたについては、「1本の電話回線で2種類の電話番号を活用する」(P.123)を参照してください。

- ダイヤルインサービスを利用しているときは、手動受信や留守番電話接続機能は利用できません。受信モードボタンを押しても、手動受信ランプ、留守ランプは点灯しません。

重要

オプションのハンドセットまたは電話機が接続されていないときは、「手動受信」に設定しないでください。呼び出し音が鳴らないため、ファクスや電話を受けることができません。

参考

- 手動受信のときに、一定の時間、呼び出し音が鳴ったあと、自動受信に切り替えるように設定することができます。
⇒ P.170 (自動受信切り替え)
- 留守ランプが点灯しているときでも、留守番電話が接続されていなかったり、接続している留守番電話が「留守」の状態にセットされていない場合は、原稿を正常に受信することができません。
- 通信速度は、回線の状態により変わることがあります。
- 自動受信のときは、電話がかかってきても相手先にはファクス応答音“ピー”を返すだけです。
よく電話をかけてくる相手先などには、あらかじめファクス専用であることを知らせ、別の通話用電話番号を伝えておいてください。
- 受信原稿のプリント中に記録紙を引き抜くと正常に記録できないことがあります。

ファクス原稿を自動的に受信する

本機を「自動受信」または「FAX/TEL 切り替え」に設定しておく、相手先がファクス原稿を送ってきたときには、なにもしなくても自動的に原稿を受信します。本機は、あらかじめ「FAX/TEL 切り替え」に設定されています。

自動受信に設定しているとき

相手先がファクスでも電話でも受信状態に切り替わります。相手先が電話をかけてきても電話を受けることはできません。相手先がファクスのときは自動的に原稿を受信します。受信した原稿は自動的にプリントされます。なお、「自動受信」に設定されているときは、電話機が接続されていても呼び出し音は鳴りません。

FAX/TEL 切り替えに設定しているとき

相手先がファクスのときは自動的に原稿を受信し、受信した原稿は自動的にプリントされます。相手先が電話のときは呼び出し音で知らせますのでオプションのハンドセットまたは受話器を取ってお話してください。⇒ P.103

参考

- 受信した原稿をプリントせずに、メモリに記憶しておくように設定することもできます。⇒ P.177 (メモリ受信)
- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した相手先からだけファクスを受信するように設定し、ダイレクトメールなどの受信を制限することができます。⇒ P.177 (DM 制限)
- 自動受信するときでも、呼び出し音を鳴らすように設定することができます。⇒ P.170 (着信呼び出し)
- 呼び出し音量は、呼び出し音量調整器で調節できます。なお、呼び出し音量が「切」になっていると、着信があっても呼び出し音が鳴りません。ご注意ください。⇒ P.21
- ナンバー・ディスプレイ回線契約時、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続しても受信方法が「自動受信」に設定されている場合は、番号表示されません。

呼び出し音が鳴ったら

本機にオプションのハンドセットまたは電話機を接続し、手動受信に設定しているときは、相手先がファクスでも電話でも呼び出し音で知らせます。

1 呼び出し音が鳴ったらハンドセットを取ります

(電話機の場合は、受話器を取ってください。)

相手先の声が聞こえたら通話してください。“ポーポー”という信号音が聞こえたり、なにも応答がない場合は、次の手順に進んでください。

- 相手先が手動送信の場合、受話器を取っても無音の場合があります。その場合は、呼びかけて応答がないことを再度確認してから次の手順に進んでください。
- 呼び出し音量は、呼び出し音量調整器で調節できます。なお、呼び出し音量が「切」になっていると、着信があっても呼び出し音が鳴りません。ご注意ください。⇒ P.21

2 原稿を受信するときは【スタート／コピー】ボタンを押します ()

原稿の受信が始まります。

- こちらから電話をかけたときでも、同じ操作で原稿が受信できます。
- 受信中には、原稿の受付番号や相手の情報などが表示されます。⇒ P.104

3 ハンドセットを戻します

ファクスの受信が始まったらハンドセットを戻してください。(電話機の場合は、受話器を戻してください。)

- オプションのハンドセットや受話器をきちんと戻しておかないと受信終了後“ピロピロピロ……”というアラーム音(オフフックアラーム)が鳴ります。アラーム音が鳴らないように設定することもできます。⇒ P.164



手動受信するときは、原稿台に原稿をセットしないでください。原稿台に原稿をセットしたまま手動受信の操作を行うと正常に受信することができません。

FAX/TEL 切り替えの確認と設定変更

手動受信ランプと留守ランプが消えているとき、自動受信のモード設定を確認したり、変更したりするには、[登録/設定] ボタンを使った操作が必要です。

受信モードの設定

1 データ登録の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル 3 を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

2 受信機能設定の設定項目を表示させます

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“4. ジュシン キノウ セッテイ” を表示させます。

4. ジュシン キノウ セッテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

ジュシン キノウ セッテイ
1. ECM ジュシン

3 自動受信のモードを選択します

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“2. ジュシン モード センタク” を表示させます。

2. ジュシン モード センタク

- ② [セット] ボタンを押します。現在設定されている受信モードが表示されます。

- ③ [∧] または [∨] ボタンで、いずれかの受信モードを選択します。

例: ジュシン モード センタク
FAX/TEL キリカエ

- ・FAX/TEL キリカエ
- ・ジドウ ジュシン
- ・モデムダイヤルイン F/T キリカエ
- ・ダイヤルイン F/T キリカエ



NTTとモデムダイヤルインサービスの利用契約をしているとき以外は、“モデムダイヤルイン F/T キリカエ”を選択しないでください。また、ダイヤルインサービスの利用契約をしているとき以外は、“ダイヤルイン F/T キリカエ”を選択しないでください。電話やファクスを受けることができなくなります。⇒ P.124

4 自動受信のモードを確定します

選択した受信モードを確認し、[セット] ボタンを押します。

自動受信に設定したとき：

他の受信機能の設定表示に変わります。そのまま手順5に進んでください。

FAX/TEL 切り替えに設定したとき：

FAX/TEL 切り替えの設定をさらに細かく設定することができます。

FAX/TEL 切り替えを細かく設定するときは、「FAX/TEL 切り替え設定（FAX/TEL 切り替えを細かく設定するとき）」（P.102）を参照してください。変更の必要がないときは、そのまま手順5に進んでください。

モデムダイヤルイン F/T 切り替えに設定したとき：

「モデムダイヤルインの場合」（P.124）を参照し、電話用の番号とファクス用の番号をそれぞれ設定してください。

ダイヤルイン F/T 切り替えに設定したとき：

「ダイヤルインの場合」（P.126）を参照し、電話用の番号とファクス用の番号をそれぞれ設定してください。

5 受信モードの設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

FAX/TEL 切り替え設定 (FAX/TEL 切り替えを細かく設定するとき)

受信モード設定の手順3で“FAX / TEL キリカエ”を選択して [セット] ボタンを押すと、FAX/TEL 切り替えの詳細を設定することができます。

[∧] または [V] ボタンでいずれかの項目を表示させ、[セット] ボタンを押して各項目の設定を変更します。

設定したあとは、ユーザデータリストをプリントして内容を確認してください。⇒ P.181

● 呼び出し開始時間

電話を受けてから呼び出し音を鳴らすまでの時間をテンキーで設定します。設定範囲は 0 ~ 30 (秒) です (あらかじめ「6 秒」に設定されています)。⇒ P.170

FAX/TEL キリカエ
1.ヨビダシカシジカン

● 呼び出し時間

呼び出し音を鳴らし続ける時間をテンキーで設定します。設定範囲は 15 ~ 300 (秒) です (あらかじめ「17 秒」に設定されています)。⇒ P.170

2.ヨビダシジカン

● 呼び出し後の動作

呼び出し音を鳴らしてもこちらが電話に出ないときの本機の動作を設定します。ファクス受信状態にする“ジュシン”と、電話を切る“シュウリョウ”のいずれかを [∧] または [V] ボタンで選択します (あらかじめ“ジュシン”に設定されています)。⇒ P.170

3.ヨビダシゴノドウサ

● 音声応答

応答メッセージを流すかどうか設定できます。音声応答“シナイ”と“スル”のいずれかを [∧] または [V] ボタンで選択します (あらかじめ“シナイ”に設定されています)。⇒ P.170

4.オンセイオウトウ

それぞれの項目を設定したあと、[セット] ボタンを押すと設定内容が確定します。

続けて、他の項目を設定することもできます。

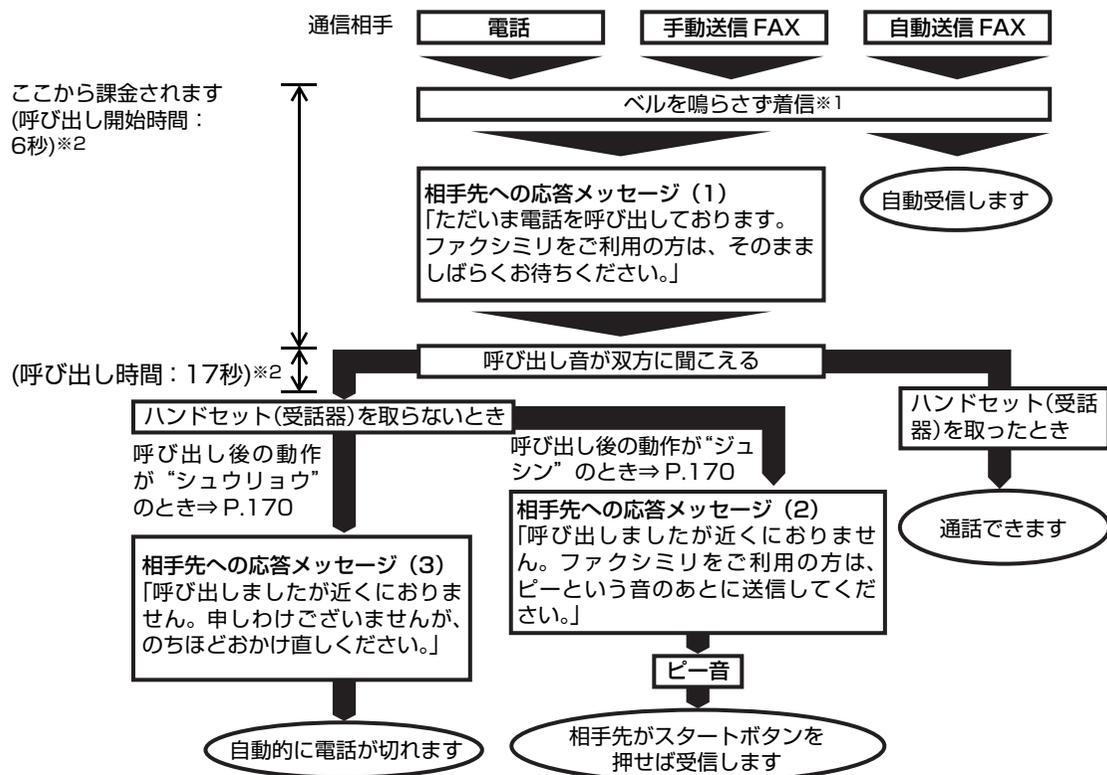


参考

操作の途中で [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

FAX/TEL 切り替えを設定したときの受信の流れ

FAX/TEL 切り替えに設定すると、図のような流れで受信します。



※1 着信呼び出しを“スル”に設定している場合は鳴動します。

※2 呼び出し開始時間、呼び出し時間は変更することができます。⇒P.170

参考

- 受信モードがFAX/TEL 切り替えの際は、プリンタカバーが開いていたり、メモリがいっぱいの状態で記録紙がない場合や、本機のプリンタが故障していると自動応答せず、FAX/TEL 切り替えは機能しません。
- 受信モードがFAX/TEL 切り替えの際は、ファクスが自動応答したときから相手先に料金が課金されます。相手先が電話のとき、こちらが電話に出なくても料金は課金されます。
- 音声応答を“シナイ”に設定すると、相手先には呼び出し音しか聞こえないため、相手先は課金されていることに気がつかないことがあります。ご注意ください。

受信状況を確認する

受信中には、受信している原稿や相手先に関する情報がディスプレイに表示されます。受信が終了したすぐあとには、受信結果が表示されます。

また、[通信結果] ボタンを使うと 40 通信分の通信状況や通信結果が確認できます。

受信中に表示されるメッセージ

原稿の受信中は、状況に応じて次のようなメッセージが交互に表示されます。

● 通信状況

2008 07/01 TUE 09:15
ジ ュシン P.001
ページ番号

● 受付番号

ウケツケ パンゴウ 5004
受付番号

● 通信相手の電話番号

03XXXXXXXXXX
電話番号

- 相手先が電話番号を登録していないとき、または登録できない機種の場合には、本機のディスプレイに相手先の電話番号は表示されません。また、相手先の機種の設定によっては、相手先の名前などが表示される場合もあります。
- ECM 方式で通信しているときは、“ECM ジュシン” というメッセージも表示されます。⇒ P.88, P.170
- 手動受信のときは、日付や時刻は表示されません。

受信終了後に表示されるメッセージ

受信が正常に終了すると、次のメッセージが交互に表示されます。

2008 07/01 TUE 09:15
ジ ュシン オワリマシタ



ウケツケ パンゴウ 5004

- 受信の途中でエラーが発生すると、次のメッセージが表示されます。相手先に原稿をもう一度送信し直してもらうように連絡してください。

2008 07/01 TUE 09:15
ヤリナオシテクタ サイ



ウケツケ パンゴウ 5004

通信結果を知らせるメッセージは、しばらくすると自動的に消えます。

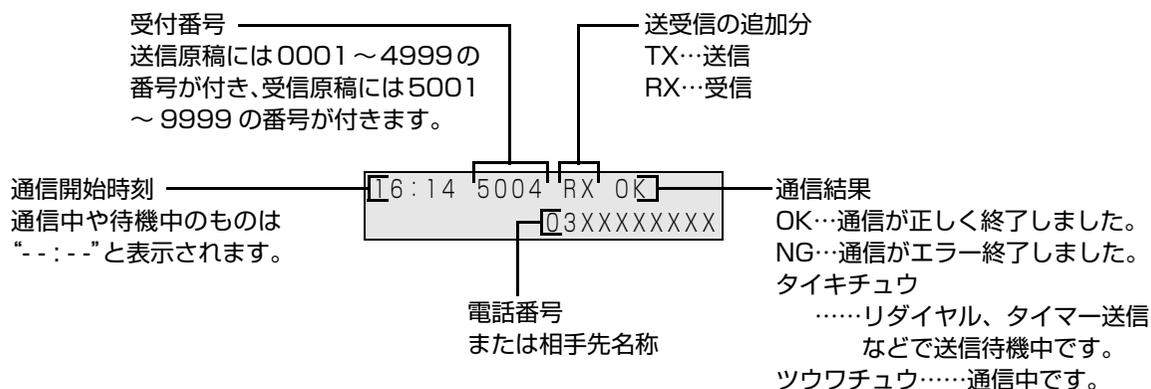
通信結果を確認するには



[通信結果] ボタンを押します。



受信結果が表示されるまで [V] ボタンを押します。



続けて [V] ボタンを押すと、40 通信までさかのぼって確認できます。
[∧] ボタンを押して戻ることもできます。

- 受信の結果は、受信結果レポートや通信管理レポートでも確認することができます。
⇒ P.182, P.184, P.186
- [ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

受信を中止するには



受信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。

手動受信のときは、すぐに受信が中止できます。

自動受信のときは、受信中に [ストップ] ボタンを押すと、次のように表示されます。表示されないときは、もう一度押してください。

ツウシンヲ チュウシ シマスカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

[*] ボタンを押すと、受信が中止できます。中止しないときは、[#] ボタンを押してください。

- 受信を中止しようとして [ストップ] ボタンを押しても、[*] ボタンを押すまでは受信し続けます。

受信データの印字かすれを検知する

本機は、ファクス受信原稿の印字かすれを防ぐため、直前に印字したデータがかすれた可能性があるとは判断した時点で、インクの残量が少なくなったことを的確にお知らせする機能を持っています。この設定は、受信機能設定のメニュー項目にある「受信データのかすれ検知」で設定できます。⇒P.171

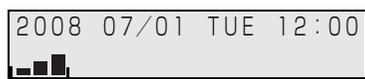
お買い求めいただいたときは、「受信データのかすれ検知」が“スル”に設定されています。

重要

- 「受信データのかすれ検知」を“スル”に設定すると、受信原稿の印字かすれを検知する際にもインクを使用するため、“シナイ”に設定した場合に比べ、インクの消費量が多くなります。
- 「受信データのかすれ検知」を“スル”に設定すると、受信原稿を最後まで印字できたかどうかを本機が自動的に判断することができます。最後まで印字できなかった場合は、いったん受信原稿がメモリに保存されます。メモリに保存されたデータは、新しいFINEカートリッジに交換すると印字されます。印字が終了するとメモリに保存された受信原稿は削除されます。
- インク残量が少なくなってディスプレイのインク残量表示が■□□になると、印字速度が遅くなります。遅くすることで、印字の際インクの供給量を少なくし、お使いのFINEカートリッジ内に残った少量のインクでより多くの受信原稿を印字することができるようになります。

ディスプレイでインク残量を確認する

インクの使用状況を待機状態時にディスプレイで確認することができます。インク残量に応じて5段階の残量表示を行ないます。



インク残量

- ■ ■ ■ ■ 十分なインク残量があります。
- ■ ■ □ } インクの消費量に応じて、残量を表示します。
- ■ □ □ }
- □ □ □ } インクがなくなったことを示します。

インク残量が少なくなり、本機が直前に印字したデータがかすれた可能性があるとは判断した時点で、日時・時刻表示と交互でディスプレイに以下に示すような警告メッセージが表示されます。「受信データのかすれ検知」を“スル”に設定している場合と、“シナイ”に設定している場合で表示されるメッセージが異なりますので、メッセージに従って適切に対処してください。

重要

- 本機は新しいFINEカートリッジを取り付けた時点でインクが満杯であるとみなし、印字かすれ検知制御をはじめます。このため新品でないFINEカートリッジを取り付けた場合はインク残量を正しく表示できない場合がありますので、残量表示は目安としてご確認ください。
- 複数のFINEカートリッジを交互に使用しないでください。印字かすれのタイミングを正しく検知できなくなるため、実際にはFINEカートリッジ内にインクが残っていても、印字できる枚数が極端に少なくなり、受信原稿を最後まで印字できなくなる場合があります。
- ディスプレイに表示された警告メッセージを消してエラーを解除するには、ワンタッチパネル3を開き、[クリア]ボタンを押します。[ストップ]ボタンを押しても、エラーを解除することはできません。

■「受信データのかすれ検知」を“スル”に設定している場合

2008 07/01 TUE 12:00
■□□



カートリッジ* ノコウカンヲオススメシマス



2008 07/01 TUE 12:00
■□□

ファクス原稿受信時のみ表示されます。

インクがほぼなくなりました（エラーランプが点滅します）。

FINE カートリッジの交換をお勧めします。⇒ P.199

FINE カートリッジを交換して、カバーを閉じてください。

FINE カートリッジを交換せずにワンタッチパネル 3 を開き [クリア] ボタンを押すと、ファクスの受信原稿を印刷している場合はデータをメモリに保存し、あとから受信原稿を手動で印刷することができます*。⇒ P.138

* 受信機能の設定状況によって動作が異なります⇒ P.170

インク切れの状態でも印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなります。

印刷終了後に新しい FINE カートリッジに交換することをお勧めします。

[クリア] ボタンを押したあとは、「受信データのかすれ検知」を“シナイ”にした場合と同じインク残量検知方法になります。

2008 07/01 TUE 12:00
■□□



カートリッジ* ノコウカンヲオススメシマス



2008 07/01 TUE 12:00
■?□

インクがなくなりました（エラーランプが点滅します）。

FINE カートリッジの交換をお勧めします。⇒ P.199

FINE カートリッジを交換して、カバーを閉じてください。

FINE カートリッジを交換せずにワンタッチパネル 3 を開き [クリア] ボタンを押すと、ファクスの受信原稿を印刷している場合はデータをメモリに保存し、あとから受信原稿を手動で印刷することができます*。⇒ P.138

* 受信機能の設定状況によって動作が異なります⇒ P.170

印刷が終了したらすぐに新しい FINE カートリッジに交換してください。インク切れの状態でも印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなります。

2008 07/01 TUE 12:00
■?□



インクノ サ* ンリョウカ* フメイテ* ス

インクがなくなっている可能性があります（エラーランプが点滅します）。

FINE カートリッジを交換せずにワンタッチパネル 3 を開き

[クリア] ボタンを押すと、エラーが解除できます。

優れた印刷結果を得るために、新しいキヤノン純正カートリッジへの交換をお勧めします。⇒ P.199

インク切れの状態でも印刷を続けたことが原因の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

重要

- 「受信データのかすれ検知」を“スル”に設定し、「自動受信印刷」と「インク切れでの印刷」を“スル”に設定すると、“カートリッジノコウカンヲオススメシマス”というメッセージが表示された段階で [クリア] ボタンを押した際に、“ジドウインサツヲ ケイズクシマス インジカスレノカノウセイガアリマス”とディスプレイに表示されます。この場合、印刷中に印字かすれが起きても、受信したデータはメモリに蓄積されず消去されますので、注意してください。⇒ P.171
- 「受信データのかすれ検知」と「自動受信印刷」を“スル”に設定し、「インク切れでの印刷」を“シナイ”に設定すると、“カートリッジノコウカンヲオススメシマス”というメッセージが表示された段階で [クリア] ボタンを押した際に、“ジドウインサツヲ テイシシマス シュドウデ インサツシテクダサイ”とディスプレイに表示されます。この場合、以降はメモリに受信させた受信原稿を選択して手動で出力し、メモリに受信させた受信原稿もすべて手動で消去する必要があります。⇒ P.138

■「受信データのかすれ検知」を“シナイ”に設定している場合

2008 07/01 TUE 12:00
■□□



インジ* カスレノカノウセイガ* アリマス



2008 07/01 TUE 12:00
□□□

ファクス原稿受信時のみ表示されます。
インクがほぼなくなりました（エラーランプが点滅します）。
印刷が完了していない場合は、FINE カートリッジを取り付けたまま本機のワンタッチパネル 3 を開き [クリア] ボタンを押してください。
印刷を続けることができます。
この状態で印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなるおそれがあります。

2008 07/01 TUE 12:00
□□□



カートリッジ* ノコウカンヲオススメシマス



2008 07/01 TUE 12:00
□?□

インクがなくなりました（エラーランプが点滅します）。
FINE カートリッジを交換して、カバーを閉じてください。⇒ P.199
印刷が完了していない場合は、FINE カートリッジを取り付けたまま本機のワンタッチパネル 3 を開き [クリア] ボタンを押してください。
インク切れの状態でも印刷を続けることができます。
印刷が終了したらすぐに新しい FINE カートリッジに交換してください。インク切れの状態でも印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなります。

2008 07/01 TUE 12:00
□?□



インクノ サ* ソリヨウカ* フメイデ* ス

インクがなくなっている可能性があります（エラーランプが点滅します）。
操作を継続する場合は、本機のワンタッチパネル 3 を開き、[クリア] ボタンを押してください。
優れた印刷結果を得るために、新しいキヤノン純正カートリッジへの交換をお勧めします。⇒ P.199
インク切れの状態でも印刷を続けたことが原因の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

重要

- 「受信データのかすれ検知」を“シナイ”に設定し、「自動受信印刷」を“スル”に設定すると、「インジカスレノカノウセイガアリマス」というメッセージが表示された段階で、すべての受信原稿が自動的にメモリに受信されます。この場合、あとから受信原稿を選択して手動で印字することもできますが、メモリに受信させた受信原稿もすべて手動で消去する必要があります。⇒ P.138
- ディスプレイに表示された警告メッセージを消してエラーを解除するには、ワンタッチパネル 3 を開き、[クリア] ボタンを押します。[ストップ] ボタンを押しても、エラーを解除することはできません。

記録紙やインクが切れたときの受信方法

記録紙や FINE カートリッジのインクが切れても受信原稿は自動的にメモリに記憶されます。この機能をメモリ代行受信といいます。

記録紙が切れたとき

記録紙が切れると、操作パネルのエラーランプが点滅し、日付・時刻表示と次のメッセージが交互に表示されます。記録紙を補給してください。⇒ P.194

キロクシガ* アリマセン

- 記録紙を補給すると、エラーランプが消え、メッセージも自動的に消えます。

インクに関する警告が表示されたとき

FINE カートリッジのインクが少なくなると、操作パネルのエラーランプが点滅し、日付・時刻表示と次のメッセージが交互に表示されます。FINE カートリッジを交換してください。⇒ P.106, P.199

カートリッジ* ノコウカンヲオススメシマス

- FINE カートリッジの交換が終了すると、エラーランプが消え、メッセージも自動的に消えます。

メモリ代行受信したとき

日付・時刻表示と次のメッセージが交互に表示されます。

ダ* イコウ シ ユシン シマシタ

- 記録紙やインクが切れてもメモリ代行受信しないように設定することができます。また、メモリ代行受信したときにアラーム音を鳴らすように設定することもできます。⇒ P.171 (代行受信アラーム)
- 設定にかかわらず、受信途中で記録紙やインクが切れたときはメモリ代行受信します。

受信した原稿をプリントするには

記録紙を補給、または FINE カートリッジを交換すると、エラーランプが消え、メモリに記憶されていた残りの原稿が自動的に記録紙にプリントされます。

- たとえば 10 枚の受信原稿の 3 枚目までプリントし終わったところで記録紙が切れたときは、記録紙補給後 4 枚目からプリントされます。また、3 枚目の途中でインクが切れたときは、FINE カートリッジ交換後、3 枚目からプリントされます。
- 受信した原稿がプリントされると、メモリ内の原稿は自動的に消去されます。

重要

- 受信機能設定の設定項目で「自動受信印刷」および「インク切れでの印刷」を“スル”に設定すると、インクがなくなってもメモリ代行受信できなくなるので注意してください。⇒ P.171
- 受信機能の設定で「メモリ代行受信」を“シナイ”に設定すると、記録紙やインク切れの状態ダイヤルイン FAX 専用番号で着信または自動受信モードで着信した場合、着信音が鳴り続けるため注意してください。



参考

- メモリがいっぱいときは、メモリ代行受信機能ははたらきません。
- 約 484 枚の受信原稿をメモリに記憶することができます（キヤノン FAX 標準チャート No.1、標準モード使用時）。
- メモリ代行受信した原稿のサイズと補給した記録紙のサイズが異なると、メモリ内の原稿がプリントされないことがあります。⇒ P.173（カセット選択）

このとき、[スタート/コピー] ボタンを押して“チガウ サイズニ プリント?”（⇒ P.215）というメッセージが表示されてから [*] ボタンを押すと、別のサイズの記録紙にメモリ内の原稿をプリントします。

相手先のファクスにセットされている原稿を受信する

通信する相手先のファクスにあらかじめセットまたは蓄積された原稿を、本機からダイヤルすることによって受信することができます。この機能をポーリング受信と呼びます。

ポーリング受信するには

本機は、Fコード(⇒P.56)をサポートしている各社のファクスはもちろん、Fコードがサポートされていないキヤノンのファクスからでもポーリング受信することができます。

● 相手先のファクスがFコードをサポートしているファクスの場合

相手先のファクスの特定のポーリングボックスに蓄積された原稿を受信できます。ポーリングボックスはFコードで指定します。相手先のファクスのポーリングボックスに設定されたFコードを確認しておいてください。なお、相手先のファクスのポーリングボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードも指定する必要があります。

● 相手先のファクスがFコードをサポートしていないキヤノンのファクスの場合

相手先のファクスのポーリングIDを255(2進数:11111111)に設定するよう依頼しておき、Fコードとパスワードを指定せずにポーリング受信します。



参考

相手先のファクスに原稿がセットされていなかったり、相手先のファクスのポーリングボックスに原稿が蓄積されていないときは、ポーリング受信することはできません。

ポーリング受信するとき

ポーリング受信するときは、次の手順で操作してください。

- 相手先のファクスに原稿がセットまたは蓄積されている必要があります。
- 定時ポーリングを設定しておく、曜日や時刻を指定して、定期的にポーリング受信することもできます。⇒P.145

1 ポーリング受信の設定項目を表示させます ()

ワンタッチパネル3を開いて、[ポーリング] ボタンを押します。

ポーリング シュリン
1.ヨヤク

2 相手先の電話番号をダイヤルします

- ① [セット] ボタンを押します

TEL=

- ② 電話番号をダイヤルします。テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤルが使用できます。⇒ P.62, P.63
- 複数の相手先を指定して、ポーリング受信することもできます。最大 245カ所まで指定できます。

TEL= 03XXXXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。この場合、指定したい相手先を表示させ、[セット] ボタンを押してください。⇒ P.65
- テンキーでダイヤルするときは、電話番号の最後で [セット] ボタンを押してください。
- 間違えたときは、[クリア] ボタンを押してダイヤルし直してください。
- ダイヤルしたあとは、5 秒以内に次の操作に進んでください。5 秒以上経過すると、自動的に受信が開始され、F コードやパスワードが指定できなくなってしまいます。
- 相手先のファクスが F コードやパスワードを設定しているときは、ポーリング受信のとき F コードとパスワードを指定する必要があります。F コードとパスワードを設定するときは、次の「ポーリング受信時の F コードとパスワードの設定」(P.112) で説明している操作をしてから手順 3 に進んでください。

3 [スタート/コピー] ボタンを押します ()

相手先を呼び出し、セットされている原稿を受信します。

- 途中で原稿の受信を中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。“ツウシンヨ チュウシ シマスカ?” というメッセージが表示されたら [*] ボタンを押してください。⇒ P.49

■ ポーリング受信時の F コードとパスワードの設定

F コードとパスワードを設定している相手先の原稿をポーリング受信するときは、相手先の電話番号をダイヤルしたあとに、F コードやパスワードを設定する必要があります。

■ F コードの設定

1 ポーリング受信の宛先を入力してから、F コードを指定します

- ① ポーリング受信するときは手順 1、2 (⇒ P.111) を行ってポーリング受信の宛先を入力したあと、[F コード] ボタンを押します。
- 電話番号をダイヤルしてから [F コード] ボタンを押すまでに 5 秒以上の間隔をあげないでください。ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、ポーリング受信の動作が自動的に開始され、F コードを指定できなくなってしまいます。⇒ P.178

Fコード

- ② テンキーを使って、F コードを入力します。20 桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。
- 相手先のファクスの F コードと、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。

*0987654321#

- スペースを入力するときは、[スペース] ボタンを押してください。

- 間違えたときは、[削除] ボタンを押して、1 つ前の桁に戻り入力し直すことができます。
[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。

③ [セット] ボタンを押します。

- パスワードの設定が必要ないときは、[スタート/コピー] ボタンを押すとポーリング受信を始めることができます。

■ パスワードの設定

1 ポーリング受信の宛先と F コードを入力してから、パスワードを指定します

① ポーリング受信の宛先と F コードを入力したあと、[パスワード] ボタンを押します。

- 宛先や F コードを指定してから [パスワード] ボタンを押すまでに 5 秒以上の間隔をあげないでください。ダイヤルタイムアウト機能がはたらき、ポーリング受信の動作が自動的に開始され、パスワードを指定できなくなってしまう。⇒ P.178

パ° スワート°

② テンキーを使って、パスワードを入力します。20 桁以内で、数字、*、#、スペースが入力できます。

- 相手先のファクスのパスワードと、スペースも含めて完全に一致するように指定してください。

00#1234567*

- スペースを入力するときは、[スペース] ボタンを押してください。
- 間違えたときは、[削除] ボタンを押して、1 つ前の桁に戻り入力し直すことができます。
[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。

③ [セット] ボタンを押します。

- [スタート/コピー] ボタンを押すとポーリング受信を始めることができます。



参考

- 時刻設定 (⇒ P.83) をしてあるワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで相手先を指定した場合は、タイマーポーリング受信となります。通信予約リストで予約状況を確認することができます。⇒ P.182
- タイマーポーリング受信を取り消すときは、以下の手順で操作してください。

[ポーリング] → [V] → “2. トリケシ” → [セット] → 受付番号確認 → [セット] → [*]

接続した電話機から受信操作する

本機に電話機を接続し、手動受信に設定しているときは、電話機から ID 番号を指定して受信操作することができます。この機能をリモート受信と呼びます。

1 呼び出し音が鳴ったら、接続した電話機の手話器を取ります

相手の方の声が聞こえたら通話してください。“ポーポー”という信号音が聞こえたり、なにも応答がない場合は、次の手順に進んでください。

2 ID 番号をダイヤルします

電話機から ID 番号の「25」をダイヤルしてください（プッシュ式の電話機、回転ダイヤル式の電話機どちらの場合も同じです）。

- ID 番号は変更することができます。⇒ P.171

3 手話器を戻します

受信が始まります。

- 手話器をきちんと戻しておかないと受信終了後“ピロピロピロ……”というアラーム音（オフフックアラーム）が鳴ります。アラーム音が鳴らないように設定することもできます。⇒ P.164

参考

- リモート受信しないように設定することもできます。⇒ P.171
- 受信モードがモデムダイヤルイン F / T 切り替え、もしくはダイヤルイン F / T 切り替えに設定されているときは、リモート受信はできません。⇒ P.96, P.124
- 留守番電話などのような特殊な電話機を接続しているときは、リモート受信できないことがあります。
- こちらから電話をかけた場合は、リモート受信できません。
- 外から留守番電話を操作する場合、本機の ID 番号の「25」と同じ番号を使用すると、ファクスが受信状態になることがあります。ID 番号を変更するか、リモート受信しないように設定してください。⇒ P.171

留守番電話を活用する

留守番電話を接続している場合、相手先が電話のときは伝言を録音し、相手先がファクスのときは自動的に受信する留守番電話接続機能を活用することができます。ただし、留守番電話を接続していても、留守番電話を「留守」状態にセットしないときは、正しく受信することはできません。

外出するとき

外出する前に、次のように操作してください。

1 留守番電話をセットします

セットのしかたは、お手持ちの留守番電話の「取扱説明書」を参照してください。

- 留守番電話の応答メッセージ例：
「はい、〇〇です。ただいま外出しております。メッセージのある方はピーという発信音のあとにお話してください。ファクシミリの方はスタートボタンまたは送信ボタンを押してください。」
- 留守番電話を活用しているときに、FAX/TEL 切り替えの機能がうまくはたらかない場合は、留守番電話の応答メッセージのはじめの約 4 秒間を無音状態にしてみてください。

2 留守モードに設定します ()

受信モードボタンを押し、留守ランプを点灯させてください。

ダイヤルインサービスを活用しているときは、受信モードボタンを押しても留守ランプは点灯しません。

電話がかかってくると

留守中にかかってきた電話に対応できるだけでなく、相手先がファクスなら自動的に受信します。

- 電話がかかってくると、留守番電話がメッセージを流します。
- 相手先が電話のときは、留守番電話が相手の方の伝言を録音します。
- 相手先がファクスのときは、自動的に受信します。

帰宅したときは



受信モードボタンを押し、留守ランプを消してください。留守番電話の留守番設定も解除してください。

参考

- 留守番電話機の種類によっては、この機能が利用できないものもあります。
- モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスを利用しているときは、本機の留守番電話接続機能は利用できません。⇒ P.124
- 留守モードに設定しているときでも、留守番電話機からリモート受信用の ID 番号を指定してリモート受信することはできません。
- 外から留守番電話を操作する場合、本機の ID 番号の「25」と同じ番号を使用すると、ファクスが受信状態になることがあります。ID 番号を変更するか、リモート受信しないように設定してください。⇒ P.171

記録紙の優先順位と有効記録範囲

記録紙は相手先が送ってきた原稿（送信原稿）と同じサイズのもので自動的に選択されますが、同じサイズの記録紙がないときは、優先順位に従ってセットされている記録紙が選択されます。⇒ P.173

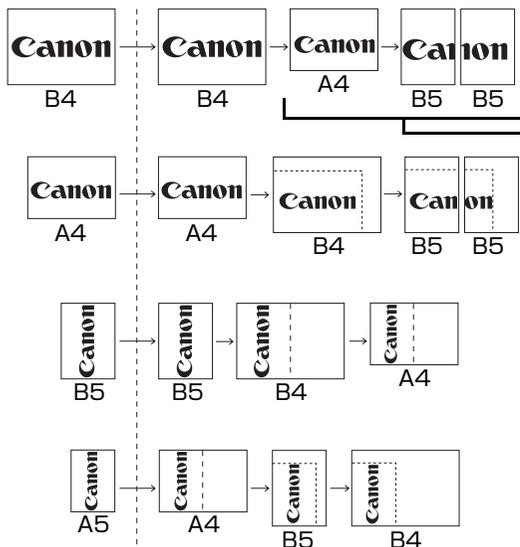
なお、すべての記録紙がなくなった場合は、メモリ代行受信（⇒ P.109）します。

記録紙サイズの優先順位

受信した原稿と同じサイズの記録紙がないときは、次の優先順位で記録紙が選択されます。

〈相手先が送信した
原稿サイズ・方向〉

〈記録紙の優先順位〉



この優先順位を逆にする
こともできます。
⇒ P.173 (B5 分割優先)

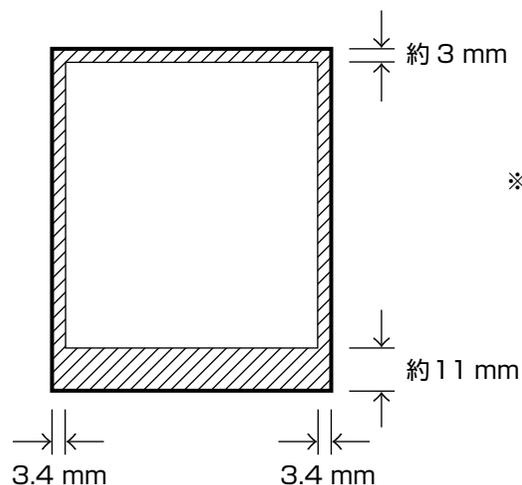
参考

- 相手先の送信原稿が A3 のときの記録紙の優先順位は、B4 のときと同じです。
- オプションの記録紙カセットがセットされている場合、2 つの記録紙カセットに同じサイズの記録紙がセットされているときは、上段記録紙カセット、下段記録紙カセットの順で記録紙が選択されます。
- オプションの記録紙カセットがセットされている場合、プリントの途中で選択した記録紙カセットの記録紙がなくなっても、あらかじめ自動的に他の記録紙が選択されるように設定されています。⇒ P.173

記録紙の有効記録範囲と縮小記録

次の図の斜線の部分には、画像は記録されません。ただし、本機は、受信した原稿を確実に記録するため、受信原稿を記録紙の記録可能な範囲に合わせて自動的に縮小して記録するように設定されています。

したがって、受信した原稿の一部が欠けることはありません。



※記録紙の記録有効範囲は、受信した原稿の状態により多少の誤差が出る場合があります。

- 縮小して記録する際の縮小率を変更したり、縮小方法を選択することができます。⇒ P.173 (画像縮小)
受信原稿を縮小しないように設定したり、縮小率を固定した場合、受信した原稿の一部が欠けることがあります。なるべく自動縮小するように設定してください。

重要

「画像縮小」(⇒ P.173) を「シナイ」に設定すると、受信した原稿の後端が最大約 23mm 欠ける場合があります。あらかじめ「画像縮小」は「スル」に設定されていますので、なるべくそのままの設定でご利用ください。

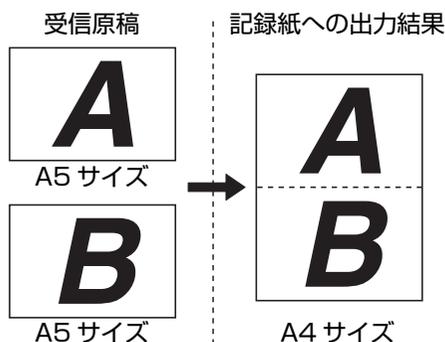
受信原稿のプリント方法を変更する

1 通信で受信する原稿のサイズが小さい場合、2 ページ分の原稿を、サイズの大きな記録紙にまとめてプリントすることができます。この機能を 2 in 1 記録と呼びます。

お買い上げいただいたときは、2 in 1 記録は“シナイ”に設定されています。

プリント方法の変更例

たとえば、A5 サイズの受信原稿は、2 ページ分まとめて A4 サイズの記録紙にプリントすることができます。



- 受信原稿のページとページの区切りは、点線で示されます。

参考

- 2 in 1 記録は、受信原稿を記録紙にプリントするときと、[メモリ照会] ボタンを使って、メモリ内に記憶した受信原稿を記録紙にプリントするときだけはたります。⇒ P.138
- メモリ残量が少ない場合、2 in 1 記録の機能が利用できないことがあります。そのときは、通常のプリントになります。

2 in 1 記録を設定するには

2 in 1 記録を設定するときは、次の手順で操作してください。

1 受信機能設定の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル 3 を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

- ③ [八] または [V] ボタンを押して、“4. ジュシン キノウ セッテイ” を表示させます。

4. ジュシン キノウ セッテイ

2 2 in 1 記録の設定項目を表示させます

- ① [セット] ボタンを押します。

ジ ュシン キノウ セツテイ
1. ECM ジ ュシン

- ② [∧] または [V] ボタンを押して、“8. 2 in 1 キロク” を表示させます。

8.2 in 1 キロク

3 2 in 1 記録を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

2 in 1 キロク
シナイ

- ② [∧] または [V] ボタンを押して、“スル” を表示させます。

スル

- ③ [セット] ボタンを押します。

- 2 in 1 記録をやめる場合は、“シナイ” を表示させ、[セット] ボタンを押してください。

4 2 in 1 記録の設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

情報サービスを活用する

各種の情報をファクスで取り出すことができる「ファクス情報サービス」を利用すると、スキーのゲレンデ情報や観光情報、ビジネス関連情報などがファクスで手軽に入手できます。なお、本機がダイヤル回線に接続されている場合でも、トーン送出機能を使って、各種のプッシュホンサービスが利用できます。

ファクス情報サービスを受信するには

ファクス情報サービスから情報を入手する場合は、次の手順で操作してください。

1 【オンフック】 ボタンを押します ()

回線使用中ランプが点灯し、“ツー” という信号音が聞こえます。

- 【オンフック】 ボタンを押さずに、オプションのハンドセットあるいは電話機の手話器を取ってもかまいません。
- 信号音の大きさは [◀ -] [+ ▶] ボタンを押して調整することができます。⇒ P.22

TEL=

2 相手先の電話番号をダイヤルします (~ など)

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤルが使用できます。⇒ P.62, P.63

TEL= 03XXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。⇒ P.65

3 トーン信号に切り替えます ()

相手先の音声聞こえたら [トーン] ボタン ([*] ボタンと兼用) を押します。

[トーン] ボタンが押されたことを示す “T” という文字が表示されます。

- トーン回線 (プッシュ回線) で使用しているときは、この操作は必要ありません。

TEL= 03XXXXXXXXT

4 プッシュホンサービスを利用します (~)

テンキーを使って、必要な番号を入力します。

- プッシュホンサービスにより、操作方法は異なります。ご利用になるプッシュホンサービスの内容や操作方法については、あらかじめサービス提供元などに確認してください。

5 受信状態にする必要があるときは【スタート／コピー】ボタンを押します



サービスの利用を終了するときには、【オンフック】ボタンを押すか、ハンドセットまたは受話器を取っていた場合は戻します。

- プッシュホンサービスによっては、本機が接続されている回線の電話番号を入力したあと、いったん回線を切ると情報を送信してくるものもあります。



プッシュホンサービスや留守番電話サービスのリモート操作機能などを利用するための番号入力をするときは、相手先の電話番号をダイヤルしたあと、確実に相手先に接続されていることを確認してから操作してください。接続する前に番号入力の操作をすると、サービスを正しく受けることができなったり、目的の情報が得られないことがあります。

音声応答による情報サービスを活用するには

プッシュホンサービス（銀行 ANSER サービス、クレジット通話サービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用するときは、次の手順で操作してください。

1 【オンフック】ボタンを押します ()

回線使用中ランプが点灯し、“ツー”という信号音が聞こえます。

- 【オンフック】ボタンを押さずに、オプションのハンドセットあるいは電話機の受話器を取ってもかまいません。
- 信号音の大きさは [◀ -] [+ ▶] ボタンを押して調整することができます。⇒ P.22

TEL=

2 相手先の電話番号をダイヤルします (~ など)

テンキーのほか、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、リダイヤルが使用できます。⇒ P.62, P.63

TEL= 03XXXXXXXXX

- 電話帳機能を使って、登録した相手先の名前を検索してダイヤルすることもできます。⇒ P.65

3 トーン信号に切り替えます ()

相手先の音声聞こえたら【トーン】ボタン（[*] ボタンと兼用）を押します。

【トーン】ボタンが押されたことを示す“T”という文字が表示されます。

- トーン回線（プッシュ回線）で使用しているときは、この操作は必要ありません。

TEL= 03XXXXXXXXXT

4 プッシュホンサービスを利用します (①~⑨)

音声による案内に従って、テンキーで必要な番号を入力します。

- プッシュホンサービスにより、操作方法は異なります。ご利用になるプッシュホンサービスの内容や操作方法については、あらかじめサービスの提供元などに確認してください。

5 サービスの利用を終了します ()

サービスの利用を終了するときは、[オンフック] ボタンを押すか、ハンドセットや受話器を取っていた場合は戻します。

- プッシュホンサービスによっては、本装置が接続されている回線の電話番号を入力したあと、いったん回線を切ると情報を送信してくるものもあります。



F ネット契約をしている場合は、F ネットのファクシミリ案内サービスを活用して、情報を簡単に取り出すことができます。

1本の電話回線で2種類の電話番号を活用する

NTTのモデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービス（有料）を利用すると、1本の電話回線に複数の電話番号が設定できます。本機でも、ファクス用と電話用の2種類の電話番号を別々に設定することができます。

■ モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスを利用すると

1本の回線でファクスと電話を切り替えて使用することができます。

本機では、電話用、ファクス用の番号をそれぞれ別々に登録することができ、モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスに容易に対応することができます。



参考

- 相手先には、電話のときは電話用の番号を、ファクスのときはファクス用の番号をダイヤルしてもらうよう、あらかじめそれぞれの電話番号を知らせておいてください。
- 本機にモデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスを利用するための設定を行うと、受信モードが常に自動受信になるため、操作パネルの手動受信ランプ、留守ランプは消えたままになります。

■ モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスを利用するには

1本の回線に2種類の電話番号を設定するためには、あらかじめNTTとモデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスの利用契約をしておく必要があります。サービスの詳細についてはNTT窓口等へお問い合わせください。

- モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスと次のサービスは同時に利用できません。
 - ・ キャッチホンサービス
 - ・ トリオホンサービス
 - ・ 転送でんわサービス
 - ・ でんわ会議サービス
 - ・ トーキー案内サービス
- Fネット（ファクシミリ通信網）と同時に利用することができますが、利用形態に一部制約があります。
- 一部の地域ではモデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスが利用できない場合があります。



重要

モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスの利用契約の際には、複数の電話番号を区別するため電話番号を、モデムダイヤルインサービスの場合は市外局番から全桁、またダイヤルインサービスの場合は電話番号の下4桁を設定してください。⇒ P.124, P.126

2 種類の電話番号を設定すると

モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスを利用するために2種類の電話番号を設定すると、受信モードは常に「自動受信」に設定されます。

- 相手先がファクス用の番号をダイヤルした場合は、自動的にファクス受信します。相手先が電話であっても呼び出し音は鳴りません。
- 相手先が電話用の番号をダイヤルした場合は、呼び出し音を鳴らして知らせます。相手先がファクスの場合でも、[スタート/コピー] ボタンを押せば受信することができます。
- 留守番電話を接続している場合は、相手先が電話用の番号をダイヤルすると、通常の留守番機能がはたらき、メッセージを録音します。ただし、本機の留守番電話接続機能は利用できません。⇒ P.115

重要

- ベルが鳴っている間に相手先が電話を切っても、5分間、ベルが鳴りやまないことがあります。故障ではありません。
- 相手先が電話用の番号をダイヤルしたとき、5分間呼び出しを継続すると、自動的に着信し、「呼び出しましたが近くにおりません。申しわけございませんが、のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流してから、電話が切れます。

2 種類の電話番号の設定

モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスを利用するために必ず次の手順で2種類の電話番号を設定してください。

- 2種類の電話番号は、サービスの開通日に合わせて設定してください。開通日前に設定したり、開通日を過ぎても設定しない場合、電話やファクスが使用できなくなります。

■ モデムダイヤルインの場合

1 受信機能設定の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

- ③ [H] または [V] ボタンを押して、“4. ジュシン キノウ セッテイ” を表示させます。

4. ジュシン キノウ セッテイ

2 受信モード選択の設定項目を表示させます

- ① [セット] ボタンを押します。

ジュシン キノウ セッテイ
1. ECM ジュシン

- ② [△] または [V] ボタンを押して、“2. ジュシン モード センタク” を表示させます。

2. ジュシン モード センタク

3 モデムダイヤルイン F/T 切り替えのモードを選択します

- ① [セット] ボタンを押します。

ジュシン モード センタク
FAX/TEL キリカエ

- ② [△] または [V] ボタンを押して、“モデムダイヤルイン F/T キリカエ” を表示させます。

モデムダイヤルイン F/T キリカエ

4 電話用の番号を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

モデムダイヤルイン F/T キリカエ
1. TEL バンゴウ シテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

TEL バンゴウ シテイ
TEL=

- ③ 契約時に確認した電話用として使う電話番号を、市外局番から全桁入力します。
● 番号を間違えないように十分注意してください。

TEL=03XXXXXXXXX

5 ファクス用の番号を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

番号が登録されたことを確認するメッセージが表示されたあと、ファクス番号の設定項目が表示されます。

トウロク シマシタ



モデムダイヤルイン F/T キリカエ
2. FAX バンゴウ シテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

FAX バンゴウ シテイ
FAX=

- ③ 契約時に確認したファクス用として使う電話番号を、市外局番から全桁入力します。
● 番号を間違えないように十分注意してください。

FAX=03XXXXXXXXX

- ④ [セット] ボタンを押します。

番号が登録されたことを確認するメッセージが表示されたあと、他の設定項目が表示されません。

6 ダイアルインの設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

■ ダイアルインの場合

1 受信機能設定の設定項目を表示させます

「モデムダイアルインの場合」(P.124) の手順 1 ~ 2 に従って、受信機能設定 “2. ジュシン モード センタク” を表示させてください。

2 ダイアルイン F/T 切り替えのモードを選択します

- ① [セット] ボタンを押します。

ジュシン モード センタク
FAX/TEL キリカエ

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、“ダイアルイン F/T キリカエ” を表示させます。

ダイアルイン F/T キリカエ

3 電話用の番号を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

ダイアルイン F/T キリカエ
1. TEL バンゴウ シテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

TEL バンゴウ シテイ
TEL=_

- ③ 契約時に確認した、電話用として使う電話番号の下 4 桁のみを入力します。

- 番号を間違えないように十分注意してください。

TEL=9633_

4 ファクス用の番号を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

番号が登録されたことを確認するメッセージが表示されたあと、ファクス番号の設定項目が表示されます。

トウロク シマシタ



ダ イヤルイン F/T キリカエ
2 . FAX バ ンコ ウ シテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

FAX バ ンコ ウ シテイ
FAX= _

- ③ 契約時に確認した、ファクス用として使う電話番号の下4桁のみを入力します。

- 番号を間違えないように十分注意してください。間違った番号を入力するとファクスを受信することができなくなります。

FAX=2111_

- ④ [セット] ボタンを押します。

番号が登録されたことを確認するメッセージが表示されたあと、他の設定項目が表示されません。

5 ダイヤルインの設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

重要

- ダイヤルインサービスの利用に伴い、ファクス用の電話番号が変更されたときは、発信元情報として登録している電話番号も変更してください。⇒ P.29, P.32
- 停電になったときも、かかってきた電話を受けることができます。ダイヤルインサービスをご利用の場合は、通常とは違うベルが鳴りますので、次のように対応してください。
 - ・モデムダイヤルインサービスをご利用の場合
 - ① 通常よりも短いベルが5～6回鳴ってから、通常のベルの鳴りかたに変わります。
 - ② 鳴りかたが変わってから、ハンドセットまたは電話機の手話器を取ってお話してください。
 - ※ “ピガー” という短い音が聞こえたときは、いったんハンドセットまたは電話機の手話器を戻し、ベルが鳴ったらもう一度ハンドセットまたは電話機の手話器を取ってお話してください。
 - ・ダイヤルインサービスをご利用の場合
 - ① ベルが2回だけ鳴ります。
 - ② ベルが鳴り終わる前にハンドセットまたは電話機の手話器を取ります。
 - ③ 「ピボバボ」という音が聞こえます。音が鳴り終わったら、すぐにハンドセットまたは電話機の手話器を置きます。
 - ④ 1～2秒待ってから、もう一度ハンドセットまたは電話機の手話器を取ってお話してください。

特定の相手先からの呼び出し音を変更する

NTT のなりわけサービス（有料）を利用すると、あらかじめ登録してある相手先から電話がかかってきたり、ファクスが送られてきた場合、通常とは異なる呼び出し音を鳴らすことができます。

なりわけサービスを利用するには

通常とは異なる呼び出し音を鳴らすようにするためには、あらかじめ NTT となりわけサービスの利用契約をしておく必要があります。最大 10 件までの相手先を登録できます。サービスの詳細については、最寄りの NTT 窓口へお問い合わせください。

なりわけサービスを契約すると

登録してある相手先から電話がかかってきたり、ファクスが送られてくると、通常とは異なる短い音が鳴ります。

キャッチホン、キャッチホン II、話中時転送サービスを同時契約していると、お話し中に着信した場合、通常の割り込み音よりも高い音が鳴ります。

- なりわけサービスの利用契約をした場合でも、受信モードが FAX/TEL 切り替えのときは機能せず、通常と同じ呼び出し音が鳴ります。

第6章 メモリを活用した送受信機能

メモリで受信する

受信原稿をプリントしないでメモリに記憶させるよう設定することができます。この機能をメモリ受信と呼びます。この機能を活用すると、夜間や休日など、オフィスが無人になる時間帯に受信した原稿をメモリに記憶させておくことができます。メモリ受信した原稿は、あとから記録紙にプリントできます。

お買い上げいただいたときは、“メモリ ジュシン シナイ” に設定されています。

メモリ受信するには

[登録/設定] ボタンを使って、システム管理設定でメモリ受信を“スル”に設定してから、メモリ受信する時間帯を設定します。

メモリ受信した原稿をむやみにプリントしないように、プリント暗証番号を設定したり、原稿だけでなくレポートもプリントできないように設定することもできます。

- メモリ受信が“スル”に設定されているときは、操作パネルの[メモリ受信] ボタンでもメモリ受信機能をセットしたり、解除したりすることができます。⇒ P.132

メモリ受信の機能は、記録紙やインクがなくなったときに自動的にメモリで受信原稿を記憶するメモリ代行受信の機能とは異なります。⇒ P.109



参考

メモリ受信を“スル”に設定しても、メモリ代行受信を“シナイ”に設定している場合は受信されません。

メモリ受信の登録/設定項目

メモリ受信では、次の各項目が設定できます。

登録/設定項目	登録/設定項目の内容	登録/設定値 (※はお買い上げ時の設定)
1. プリント暗証番号	受信原稿やメモリ受信の設定を保護するための暗証番号です。設定しておくこと、メモリ受信した原稿をプリントするときにプリント暗証番号の入力が必要です。 メモリ受信機能を有効にしたり無効にする場合にもプリント暗証番号の入力が必要です。	テンキーで4桁の数字が指定可能。
2. レポート	受信結果レポートや通信管理レポートなど、すべてのレポートのプリントを禁止するかどうかを選択できます。	“プリント シナイ” ※ “プリント スル”
3. 時間指定	メモリ受信する時間帯を決めるかどうかを選択できます。	“シナイ” ※ “スル”
“1.ON 時刻”	メモリ受信を開始する時刻です。毎日のメモリ受信の開始時刻を24時間制で最大5時刻まで設定できます。 “ヨウビ シテイ”を選択すると、“1.SUN”～“7.SAT”まで、各曜日ごとに24時間制で、最大5時刻まで開始時刻を設定できます(最大35時刻)。	“マイニチ” ※ “ヨウビ シテイ”
“2.OFF 時刻”	メモリ受信を終了する時刻です。毎日のメモリ受信の終了時刻を24時間制で最大5時刻まで設定できます。 “ヨウビ シテイ”を選択すると、“1.SUN”～“7.SAT”まで、各曜日ごとに24時間制で最大5時刻まで終了時刻を設定できます(最大35時刻)。	“マイニチ” ※ “ヨウビ シテイ”



- レポートで“プリント スル”を選択しても、レポート設定の受信結果レポートを“プリント シナイ”に設定していると、受信結果レポートはプリントされません。⇒ P.166
- ON時刻で“マイニチ”を選択したときは、“ヨウビ シテイ”は指定できません。ON時刻で“ヨウビ シテイ”を選択したときは、“マイニチ”は指定できません。“マイニチ”、“ヨウビ シテイ”の両方に時刻を設定したときは、あとに指定した内容が登録されます（OFF時刻の場合も同じです）。
- ON時刻で“マイニチ”を指定したときでも、OFF時刻で“ヨウビ シテイ”が選択できます。ON時刻で“ヨウビ シテイ”を指定したときでも、OFF時刻で“マイニチ”が選択できます。
- OFF時刻になると、ON時間中に受信した原稿は、プリント暗証番号が設定されている場合でも自動的にプリントされます。

メモリ受信を設定するには

曜日や時間帯などを決めて、自動的にメモリ受信機能をセットしたり解除したりするときは、次の手順で操作してください。

1 データ登録の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

2 システム管理設定の設定項目を表示させます

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“8. システム カンリ セッテイ”を表示させます。

8. システム カンリ セッテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

システム カンリ セッテイ
1. カンリ アンショウパ ンゴ ウ

3 メモリ受信の設定項目を表示させます (∧∨)

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“2. メモリ ジュシン”を表示させます。

2. メモリ ジュシン

4 メモリ受信するように設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

メモリ シュン シナイ

- ② [∧] または [V] ボタンを押して、“スル” を表示させます。

スル

5 メモリ受信の各項目を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

1. プリント アンショウバンゴウ

- ② [∧] または [V] ボタンを押すたびに、メモリ受信の各設定項目を表示することができます。

例: 1. プリント アンショウバンゴウ

- ・1. プリント アンショウバンゴウ
- ・2. レポート
- ・3. ジカン シテイ

- ③ [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

- 「メモリ受信の登録／設定項目」(P.129) を参照し、メモリ受信の条件を設定してください。
- プリント暗証番号が必要のないときは設定しなくてもかまいません。
- それぞれの項目を設定したあと、[セット] ボタンを押すと、設定内容が確定します。続けて、他の項目を設定することもできます。

6 メモリ受信の設定を終了します ()

設定の途中でも、[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

重要

メモリ受信のプリント暗証番号を登録したときは、忘れないようご注意ください。

メモリ受信状態の表示

メモリ受信項目の時間指定の ON 時刻になると、メモリ受信機能が自動的にセットされ、メモリ受信中表示されることが表示されます。

メモリ シュン

メモリ受信中に原稿を受信するとメモリランプが点灯し、メモリ内に受信した原稿があることをお知らせします。

時間指定の OFF 時刻になると、メモリ受信機能は自動的に解除され、ON 時間中に受信した原稿があればプリント暗証番号が設定されている場合でも自動的にプリントされます。

指定した時間内にメモリ受信した原稿をプリントするには

メモリ受信を解除すると、メモリ内の受信原稿が自動的にプリントされます。次の手順で操作してください。

- メモリランプが消えているときは、メモリ内に受信した原稿はありません。
- 時間指定の OFF 時刻になると、ON 時間中に受信した原稿は自動的にプリントされます。⇒ P.129



ディスプレイに“メモリ ジュシン”と表示されているとき、または時間指定を設定していない場合に、ワンタッチパネル 3 を開いて、[メモリ受信] ボタンを押します。
メモリ受信機能が解除され、受信原稿がプリントされます。

- プリント暗証番号が設定されている場合は、[メモリ受信] ボタンを押したあとに 4 桁の暗証番号を入力し、[セット] ボタンを押してください。⇒ P.129
- 受信した原稿がプリントされると、メモリ内の原稿は自動的に消去されます。

重要

メモリがいっぱいのときは、“メモリがいっぱい”とメッセージが表示されメモリ受信はできません。メモリに記憶された原稿をプリントしてから、メモリ受信を行ってください。⇒ P.217

参考

- 約 484 枚の受信原稿をメモリで受信できます（キヤノン FAX 標準チャート No.1、標準モード使用時）。
- メモリ受信が設定されているときでも、[スタート/コピー] ボタンを押してコピーすることができます。

指定した時間内にメモリ受信機能を解除するには

時間指定の OFF 時刻になる前に、メモリ受信を解除することができます。⇒ P.132

- メモリ内に受信した原稿がある場合は、自動的にメモリ内の原稿がプリントされます。⇒ P.132

指定した時間外にメモリ受信機能をセットするには

メモリ受信の時間指定をしていないときや、登録しておいた時間帯以外でも、メモリ受信をセットすることができます。



ワンタッチパネル 3 を開いて、[メモリ受信] ボタンを押します。

- メモリ受信した原稿をむやみにプリントしないように、プリント暗証番号を設定したり、原稿だけでなくレポートもプリントできないように設定することもできます。
- プリント暗証番号が設定されている場合は、[メモリ受信] ボタンを押したあとに 4 桁の暗証番号を入力し、[セット] ボタンを押してください。⇒ P.129
- システム管理設定でメモリ受信が“シナイ”に設定されているときは、[メモリ受信] ボタンははたらきません。⇒ P.177

メモリ ジュシン

- [メモリ受信] ボタンでメモリ受信機能をセットした場合でも、メモリ受信の時間指定で設定されている OFF 時刻になると、自動的にメモリ受信機能が解除されます。⇒ P.129

受信原稿を転送する

受信した原稿を自動的に他のファクスに転送できます。転送機能を活用すると、オフィスが無人になる夜間や休日に受信した原稿を、自宅のファクスなどに転送することができます。

転送の登録／設定項目

転送では、次の各項目が設定できます。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)
1. 宛先	受信原稿の転送先を登録できます。	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせて、最大244ヵ所登録可能。
2. 暗証番号	転送の設定内容を保護するための暗証番号です。設定すると、転送機能をセット／解除するときに暗証番号の入力が必要です。	テンキーで4桁の数字が指定可能。
3. 指示元制限 (相手先指定)	あらかじめ指示元として登録されている相手先以外から原稿が送信されてきたとき、受信を制限するかどうかを選択できます。 指示元制限が“スル”のとき、照合するための相手先が登録できます。送信してきたのが指示元として登録されていない相手先のときは、原稿は転送しません。	“シナイ” ※ “スル” ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせて、最大244ヵ所登録可能。
4. 時間指定 “1.ON 時刻”	転送機能を開始する時刻です。毎日の転送機能の開始時刻を24時間制で最大5時刻まで設定できます。 “ヨウビ シテイ”を選択すると、“1.SUN”～“7.SAT”まで、各曜日ごとに24時間制で最大5時刻まで設定できます(最大35時刻)。	“マイニチ” ※ “ヨウビ シテイ”
“2.OFF 時刻”	転送機能を終了する時刻です。毎日の転送機能の終了時刻を24時間制で最大5時刻まで設定できます。 “ヨウビ シテイ”を選択すると、“1.SUN”～“7.SAT”まで、各曜日ごとに24時間制で最大5時刻まで設定できます(最大35時刻)。	“マイニチ” ※ “ヨウビ シテイ”
5. 受信原稿プリント	本機でも受信原稿をプリントするかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”

参考

- 転送の対象となるのは、通常の実原稿です。
- ボーリング受信原稿は転送の対象にはなりません。
- ON時刻で“マイニチ”を選択したときは、ON時刻で“ヨウビ シテイ”は指定できません。ON時刻で“ヨウビ シテイ”を選択したときは、ON時刻で“マイニチ”は選択できません(OFF時刻の場合も同じです)。
- ON時刻で“マイニチ”を選択したときでも、OFF時刻で“ヨウビ シテイ”が指定できます。ON時刻で“ヨウビ シテイ”を選択し、OFF時刻で“マイニチ”を選択してもかまいません。

■ 転送の条件設定

次の手順で転送先や転送機能を開始、終了する時間などをあらかじめ設定しておきます。

1 データ登録の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル 3 を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

2 メモリ管理設定の設定項目を表示させます

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“7. メモリ カンリ セッテイ” を表示させます。

7. メモリ カンリ セッテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

メモリ カンリ セッテイ
1. テイジ* ホーリング*

3 転送の設定項目を表示させます

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“2. テンソウ” を表示させます。

2. テンソウ

- ② [セット] ボタンを押します。

テンソウ
1. サクセイ

4 転送の各項目を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

サクセイ
1. アテサキ

- すでに転送が設定されているときは、“ステニ サクセイ サレテ イマス”というメッセージが表示されます。ユーザデータリスト (⇒ P.181) で設定内容を確認してください。
設定内容は変更・取り消しすることができます。⇒ P.136, P.137

- ② [H] または [V] ボタンを押して、転送の各設定項目を表示することができます。

例: 1. アテサキ

- ・1. アテサキ
- ・2. アンショウバンゴウ
- ・3. シジモト セイゲン
- ・4. ジカン シテイ
- ・5. ジュシン ゲンコウ プリント

- ③ [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

- 「転送の登録／設定項目」(P.133) を参照し、転送の条件を設定してください。
- それぞれの項目を設定したあと、[セット] ボタンを押すと、設定内容が確定します。続けて、他の項目を設定することもできます。
- テンキーで転送の宛先や指示元制限の相手先を登録することはできません。

設定の途中でも、[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。



転送用の暗証番号を登録したときは、忘れないようご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと転送の設定内容を変更／取り消しすることができなくなります。

指定した時間内に転送機能を解除するには

あらかじめ設定しておいた転送時間帯以外にも、操作パネルの[転送] ボタンで転送機能を解除することができます。



ディスプレイに“テンソウ”と表示されているときに、ワンタッチパネル3を開いて[転送] ボタンを押します。

- 暗証番号が設定されている場合は、[転送] ボタンを押したあとに4桁の暗証番号を入力し、[セット] ボタンを押してください。⇒ P.133

■ 転送の設定変更

転送の設定を変更するときは、次の手順で操作してください。

1 転送の設定項目を表示させます

「転送の条件設定」(P.134)の手順1～3に従って、転送“1. サクセイ”を表示させます。

2 転送の設定変更項目を表示させます

- ① [∧] または [V] ボタンを押して、“2. ヘンコウ”を表示させます。

テンソウ
2.ヘンコウ

- ② [セット] ボタンを押します。

- 暗証番号を設定しているときは、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください (暗証番号は表示されません)。

ヘンコウ
1.アテサキ

3 転送の設定項目を表示させます

- ① [∧] または [V] ボタンを押して、変更したい項目を表示させ、[セット] ボタンを押します。

- ② 設定内容を変更します。

- 宛先や指示元制限の相手先を追加するときは、追加する相手先を登録したワンタッチダイヤルボタン、もしくは [短縮] ボタンと短縮番号を押します。
- 宛先や指示元制限の相手先を削除するときは、[∧] または [V] ボタンを押して削除したい相手先を表示させ、[クリア] ボタンを押します。
- 暗証番号を変更する場合は、現在の暗証番号を入力し (暗証番号は表示されません)、[セット] ボタンを押してから、新しい暗証番号を入力します。
- 宛先や指示元制限の相手先を変更する場合は、[クリア] ボタンを押して、現在の電話番号を削除してから、新しい電話番号を指定します。

- ③ [セット] ボタンを押して変更を確認します。

- 続けて他の項目の設定内容を変更することができます。

4 転送の設定変更を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

■ 転送設定の取り消し

転送の設定を取り消すときは、次の手順で操作してください。

1 転送の設定項目を表示させます

「転送の条件設定」(P.134) の手順 1 ~ 3 に従って、転送 “1. サクセイ” を表示させます。

2 転送の設定取り消し項目を表示させます (△▽)

[△] または [▽] ボタンを押して、“3. トリケシ” を表示させます。



3 転送の設定を取り消します (○)

[セット] ボタンを押します。

- 暗証番号を設定しているときは、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください (暗証番号は表示されません)。



4 転送設定の取り消しを終了します (○)

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

■ 指定した時間外に転送機能をセットするには

あらかじめ設定しておいた転送時間帯以外にも、操作パネルの [転送] ボタンで転送機能をセットすることができます。

 ワンタッチパネル 3 を開いて、[転送] ボタンを押します。

- [転送] ボタンを使って転送をセットするためには、あらかじめ宛先を設定しておく必要があります。⇒ P.133
- 暗証番号が設定されている場合は、[転送] ボタンを押したあとに 4桁の暗証番号を入力し、[セット] ボタンを押してください。⇒ P.133



- [転送] ボタンで転送機能をセットした場合でも、転送の時間指定で設定されている OFF 時刻になると、自動的に転送機能が解除されます。⇒ P.133

メモリ内の原稿を扱う

原稿リストをプリントしてメモリ内に記憶されている原稿や受付番号を確認することができます。メモリに記憶された原稿をプリントしたりクリアしたりすることもできます。また、宛先を変更して送信することもできます。この機能をメモリ照会と呼びます。

原稿がメモリ内に記憶される4つの状況

メモリ内に原稿が記憶される状況は、次の4つです。プリントやクリアの方法が異なりますので、状況に応じて、適切な手順で操作してください。

- 原稿リストには、メモリ内のすべての原稿がプリントされます。(メモリ代行受信は除く) ⇒ P.139

- **メモリを利用した送信を中止／予約したとき ⇒ P.139**

メモリ送信 (⇒ P.35) や同報送信 (⇒ P.50) のリダイヤル中に送信を中止したり、タイマー送信 (⇒ P.52) を予約すると、送信原稿はメモリ内に記憶されます。

- **メモリ受信したとき ⇒ P.141**

メモリ受信機能をセットすると、受信原稿はメモリ内に記憶されます。⇒ P.129

- **メモリ代行受信したとき ⇒ P.142**

記録紙や FINE カートリッジのインクが切れると、受信原稿は自動的にメモリ内に記憶されます。⇒ P.109

- **自動受信印刷を“シナイ”に設定して受信したとき ⇒ P.143**

受信機能設定で自動受信印刷を“シナイ”に設定すると、受信原稿はプリントされず、メモリ内に記憶されます。⇒ P.171

メモリ照会の設定／処理項目の種類と内容

メモリ照会には、次のメニュー項目があります。操作方法について詳しくは、参照先をご覧ください。

設定／処理項目	設定／処理項目の内容	参照先
1. 原稿リスト	メモリに記憶されている原稿のリストをプリントします。メモリ内の原稿や受付番号を確認することができます。	「原稿リストのプリント」(P.139)
2. 原稿プリント	メモリに記憶されている送信原稿を、1通信単位で選択してプリントします。1ページ目だけでもしくは全ページをプリントすることができます。	「メモリを利用した送信を中止／予約した原稿のプリントとクリア」(P.139) 「メモリ受信した原稿のクリア」(P.141)
3. 原稿送信	メモリ代行受信した原稿を転送します。	「メモリ代行受信した原稿の転送とクリア」(P.142)
4. 原稿クリア	メモリに記憶されている送信原稿を、1通信単位で選択してクリアします。	
5. 受信画像プリント	メモリに記憶されている受信画像のプリントやクリアを行います。一括で全ての画像を処理することもできます。	「自動受信印刷を“シナイ”に設定して受信した原稿のプリントとクリア」(P.143)

原稿リストのプリント

原稿リストをプリントするときは、次の手順で操作してください。

1 メモリ照会の設定項目を表示させます ()

ワンタッチパネル 3 を開いて、[メモリ照会] ボタンを押します。

メモリ ショウカイ
1. ゲンコウ リスト

2 [セット] ボタンを押します ()

原稿リストのプリントが始まります。

レポート シュツリョク チュウ

- 原稿リストは、次のようにプリントされます。

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻
0338	タイマー送信	[701トウゴウ カイワツ	1	02/18 08:48	20:00
0338	タイマー同報	[711トウカイ カイワツ	1	02/18 08:49	20:30
		[721ホウタク ハンバダイ			20:30
		[731ソコク イキョウ			20:30
0340	タイマー送信	0123456789	1	02/18 08:49	23:00



参考

- 原稿リストは、[レポート] ボタンを押したあと、[^] または [V] ボタンで“5. ゲンコウ リスト”を選択し、[セット] ボタンを押してもプリントすることができます。
- リダイヤル待ちのときには、開始時刻が空欄になります。
- メモリ内に記憶されている原稿がないときは、「チクセキガゾウガ アリマセン」と表示されます。

メモリを利用した送信を中止／予約した原稿のプリントとクリア

メモリ送信や同報送信のリダイヤル待機中に送信を中止したり、タイマー送信予約した原稿を、プリントまたはクリアするときは、次の手順で操作してください。

1 メモリ照会の設定項目を表示させます ()

ワンタッチパネル 3 を開いて、[メモリ照会] ボタンを押します。

メモリ ショウカイ
1. ゲンコウ リスト

2 処理項目を選択します ()

[^] または [V] ボタンを押して、目的の原稿への処理項目を表示させます。

メモリ内の原稿をプリントするとき

“2. ゲンコウ プリント” を表示させます。

2. ゲンコウ プリント

メモリ内の原稿をクリアするとき

“4. ゲンコウ クリア” を表示させます。

4. ゲンコウ クリア

3 項目を選択します

- ① [セット] ボタンを押します。選択した項目の名称と原稿の受付番号が表示されます（下の例は、原稿クリアを選択したときのものです）。

ゲンコウ クリア
ウケツケ パンゴウ 0035

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、目的の原稿の受付番号を検索します。
- [＜] または [＞] ボタンで、送信予約相手の電話番号や原稿の受付時刻が確認できます。なお、受付番号、送信予約相手の電話番号、受付時刻は、原稿リストでも確認できます。⇒ P.139

4 各項目別に操作を続けます

このあと、手順 2 で選択した項目ごとに操作を続けます。

メモリ内の原稿をプリントするとき

- ① プリントしたい原稿の受付番号を表示させ、[セット] ボタンを押します。

1 ページ ノミ シュツリョク?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ② 1 ページ目だけをプリントしたいときは [*] ボタンを、全ページをプリントしたいときは [#] ボタンを押してください。
- ③ プリントが終了したら、[ストップ] ボタンを押して待機状態に戻ります。
- 通信中の原稿はプリントできません。
 - メモリ受信した原稿は、この操作ではプリントできません。⇒ P.132



メモリ内にある A3 サイズの原稿をプリントすると、プリントされる画像は記録紙サイズに合わせて自動的に縮小されます。ご注意ください。

メモリ内の原稿をクリアするとき

- ① クリアしたい原稿の受付番号を表示させ、[セット] ボタンを押します。

クリアシテ イイデ スカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ② [*] ボタンを押すと、原稿がクリアされます。
- 原稿をクリアしたら、[ストップ] ボタンを押して待機状態に戻ります。
- クリアを中止する場合は [#] ボタンを押します。
- 原稿の受付番号の表示に戻ります。

メモリ受信した原稿のクリア

メモリ受信した原稿をクリアするときは、次の手順で操作してください。

- メモリ受信した原稿をプリントするときは、メモリ受信を解除してください。⇒P.132

1 メモリ照会の設定項目を表示させます (☐)

ワンタッチパネル3を開いて、[メモリ照会] ボタンを押します。

メモリ ショウカイ
1. ゲンコウ リスト

2 処理項目を選択します (△▽)

[△] または [▽] ボタンを押して、目的の原稿への処理項目を表示させます。

メモリ内の原稿をクリアするとき

“4. ゲンコウ クリア” を表示させます。

4. ゲンコウ クリア

3 項目を選択します

- ① [セット] ボタンを押します。選択した項目の名称と原稿の受付番号が表示されます (下の例は、原稿クリアを選択したときのものです)。

ゲンコウ クリア
ウケツケ バンゴウ 0035

- ② [△] または [▽] ボタンを押して、目的の原稿の受付番号を検索します。
 - [<] または [>] ボタンで、送信予約相手の電話番号や原稿の受付時刻が確認できます。なお、受付番号、送信予約相手の電話番号、受付時刻は、原稿リストでも確認できます。⇒P.139

4 各項目別に操作を続けます

このあと、手順2で選択した項目ごとに操作を続けます。

メモリ内の原稿をクリアするとき

- ① クリアしたい原稿の受付番号を表示させ、[セット] ボタンを押します。

クリアシテ イイテ スカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ② [*] ボタンを押すと、原稿がクリアされます。
原稿をクリアしたら、[ストップ] ボタンを押して待機状態に戻ります。
クリアを中止する場合は [#] ボタンを押します。
原稿の受付番号の表示に戻ります。

■メモリ代行受信した原稿の転送とクリア

メモリ代行受信した原稿を転送またはクリアするときは、次の手順で操作してください。

- メモリ代行受信した原稿をプリントするときは、記録紙を補給、または FINE カートリッジを交換してください。⇒ P.109

1 メモリ照会の設定項目を表示させます ()

ワンタッチパネル 3 を開いて、[メモリ照会] ボタンを押します。

メモリ ショウカイ
1.ゲンコウ リスト

2 処理項目を選択します ()

[↑] または [↓] ボタンを押して、目的の原稿への処理項目を表示させます。

メモリ代行受信した原稿を転送するとき

“3. ゲンコウ ソウシン” を表示させます。

3.ゲンコウ ソウシン

メモリ内の原稿をクリアするとき

“4. ゲンコウ クリア” を表示させます。

4.ゲンコウ クリア

3 項目を選択します

- ① [セット] ボタンを押します。選択した項目の名称と原稿の受付番号が表示されます (下の例は、原稿クリアを選択したときのものです)。

ゲンコウ クリア
ウケツケ パンゴウ Q035

- ② [↑] または [↓] ボタンを押して、目的の原稿の受付番号を検索します。
 - [←] または [→] ボタンで、送信予約相手の電話番号や原稿の受付時刻が確認できます。なお、受付番号、送信予約相手の電話番号、受付時刻は、原稿リストでも確認できます。⇒ P.139

4 各項目別に操作を続けます

このあと、手順 2 で選択した項目ごとに操作を続けます。

メモリ代行受信した原稿を転送するとき

- ① 転送したい原稿の受付番号を表示させ、[セット] ボタンを押します。
 - 宛先を変えて送信できるのは、メモリ代行受信 (⇒ P.109) した原稿だけです。

TEL=

- ② 新しい送信先の電話番号を入力して [セット] ボタンを押します。
 ● テンキーで入力する場合は、[セット] ボタンを2回押してください。

メモリ内の原稿をクリアするとき

- ① クリアしたい原稿の受付番号を表示させ、[セット] ボタンを押します。

クリアシテ イイデ* スカ?
 ハイ=(*) イイエ=(#)

- ② [*] ボタンを押すと、原稿がクリアされます。
 原稿をクリアしたら、[ストップ] ボタンを押して待機状態に戻ります。
 クリアを中止する場合は [#] ボタンを押します。
 原稿の受付番号の表示に戻ります。

自動受信印刷を“シナイ”に設定して受信した原稿のプリントとクリア

受信機能設定で自動受信印刷を“シナイ”に設定して受信した原稿を、プリントまたはクリアするときは、次の手順で操作してください。

1 メモリ照会の設定項目を表示させます (メモリ照会)

ワンタッチパネル3を開いて、[メモリ照会] ボタンを押します。

メモリ ショウカイ
 1. ゲンコウ リスト

2 処理項目を選択します

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“5. ジュシंगाゾウ プリント”を表示させます。

5. ジュシंगाゾウ プリント

- ② [セット] ボタンを押します。

ジュシंगाゾウ プリント
 1. 1ツウシン タンイデ プリント

3 メモリ内の受信画像の処理方法を選択します (∧ ∨)

[∧] または [∨] ボタンを押して、目的の受信画像の処理方法を表示させます。

メモリ内の受信画像を1通信単位でプリントするとき

“1. 1ツウシン タンイデ プリント”を表示させます。

1. 1ツウシン タンイデ プリント

メモリ内の受信画像を全てプリントするとき

“2. ゼンガゾウラ プリントスル”を表示させます。

2. ゼンガゾウラ プリントスル

メモリ内の受信画像を全てクリアするとき

“3. ゼンガゾウヲ クリアスル” を表示させます。

3. ゼンガゾウヲ クリアスル

4 各項目別に操作を続けます

このあと、手順3で選択した項目ごとに操作を続けます。

メモリ内の受信画像を1通信単位でプリントするとき

- ① [セット] ボタンを押します。

1ツウシン タンイテ* プリント
ウケツケ バンゴウ 5004

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、目的の原稿の受付番号を検索します。

- [＜] または [＞] ボタンで、原稿の受付時刻が確認できます。相手先の電話番号を確認するには、原稿リストをプリントしてください。⇒ P.139

- ③ [セット] ボタンを押します。原稿のプリントが始まります。プリントが終了すると、クリアの確認画面が表示されます。

クリアシテ イイテ* スカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ④ [*] ボタンを押すと、原稿がクリアされます。クリアを中止する場合は [#] ボタンを押します。原稿の受付番号の表示に戻ります。

- ⑤ [ストップ] ボタンを押して待機状態に戻ります。



メモリ内にある A3 サイズの原稿をプリントすると、プリントされる画像は記録紙サイズに合わせて自動的に縮小されます。ご注意ください。

メモリ内の受信画像を全てプリントするとき

- ① [セット] ボタンを押します。

プリント シマスカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ② [*] ボタンを押すと、原稿がプリントされます。プリントを中止する場合は [#] ボタンを押すと、待機状態に戻ります。

メモリ内の受信画像を全てクリアするとき

- ① [セット] ボタンを押します。

クリアシテ イイテ* スカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- ② [*] ボタンを押すと、原稿がクリアされます。クリアを中止する場合は [#] ボタンを押すと、待機状態に戻ります。

指定した時刻にポーリング受信する

時刻を指定してポーリング受信することもできます。この機能を定時ポーリング受信と呼びます。

定時ポーリング受信するには

あらかじめ次の定時ポーリング受信設定の手順で、定時ポーリング受信を設定しておく必要があります。設定をむやみに変更／取り消しできないように、暗証番号を設定することもできます。

- 相手先のファクスがFコードをサポートしている各社のファクスはもちろん、Fコードがサポートされていないキヤノンのファクスからでも定時ポーリング受信することができます。
- 定時ポーリング受信の相手先はワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておく必要があります。相手先をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録するとき、相手先のファクスがFコードやパスワードをサポートしている場合には、ポーリング受信のFコードやパスワードを設定しておく必要があります。
⇒ P.68, P.73, P.84



参考

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで定時ポーリングの宛先を登録した場合、ここで設定した開始時刻よりも、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの「詳細設定」(⇒ P.83) で設定した送信時刻が優先されます。

定時ポーリングの登録／設定項目

定時ポーリングでは、次の各項目が設定できます。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値
1. 暗証番号	定時ポーリングの設定内容を保護するための暗証番号です。設定すると、定時ポーリング項目の設定を変更したり、取り消しするときに必要となります。	テンキーで4桁の数字が設定可能。
2. 宛先	定時ポーリング受信の相手先を登録できます。	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを合わせて、最大244カ所登録可能。
3. 開始時刻	ポーリング受信の開始時刻を1時刻のみ設定できます。	24時間制で設定。

定時ポーリング受信の設定

定時ポーリング受信を設定するときは、次の手順で操作してください。

1 データ登録の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録／設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

2 メモリ管理設定の設定項目を表示させます

- ① [八] または [V] ボタンを押して、“7. メモリ カンリ セッテイ” を表示させます。

7. メモリ カンリ セッテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

メモリ カンリ セッテイ
1. テイジ ホーリング

3 定時ポーリングの設定項目を表示させます

- ① [セット] ボタンを押します。

テイジ ホーリング
1. サクセイ

- ② [セット] ボタンを押します。

サクセイ
1. アンショウバ ンゴ ウ

- 定時ポーリングの設定変更や取り消しを制限するための暗証番号の設定が必要ないときは、設定しなくてもかまいません。[V] ボタンを押して、“2. アテサキ” を表示させ、手順5に進んでください。
- すでに定時ポーリングが設定されているときは、“ステニ サクセイ サレテ イマス” というメッセージが表示されます。ユーザデータリスト (⇒ P.181) で設定内容を確認してください。設定内容は変更/取り消しすることができます。⇒ P.148, P.149
ユーザデータリストの「定時ポーリング」に何も記録されていないときは、定時ポーリングの設定取り消しの操作 (⇒ P.149) のあと、手順1からやり直してください。

4 暗証番号を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

アンショウバ ンゴ ウ

- ② テンキーで4桁の暗証番号を入力します。0000～9999の範囲で数字が指定できます。

1153

- この暗証番号は、定時ポーリングの設定変更や取り消しを制限するためのものです。

- ③ [セット] ボタンを押します。

サクセイ
2. アテサキ

5 相手先の電話番号を登録します

- ① [セット] ボタンを押します。

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルが使用できます。⇒ P.63

複数の相手先を登録して、ポーリング受信することもできます。最大244カ所まで登録できます。

- テンキーや、電話帳機能を使って相手先の電話番号を登録することはできません。

TEL=	03 XXXX XXXX
01	キャノン キカク

- ② [セット] ボタンを押します。

サクセイ
3. カイシ シ コク

6 ポーリング受信の開始時刻を設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

カイシ シ コク
— :

- ② テンキーで時刻を指定します。

19:00

- 間違えたときは、[クリア] ボタンを押してから入力し直してください。

- ③ [セット] ボタンを押します。

7 定時ポーリング受信の設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

重要

定時ポーリング用の暗証番号を登録したときは、忘れないようご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと定時ポーリングの設定内容を変更/取り消しすることができなくなります。

参考

手順5で、複数の相手先を登録したときは、定時ポーリング開始時刻になると、登録した複数の相手先から順次ポーリング受信します。

■ 定時ポーリング受信の設定変更

定時ポーリング受信の設定を変更するときは、次の手順で操作してください。

1 定時ポーリングの設定項目を表示させます

「定時ポーリング受信の設定」(P.145) の手順 1 ~ 3 に従って、定時ポーリング “1. サクセイ” を表示させてください。

2 定時ポーリングの設定変更項目を表示させます

- ① [∧] または [V] ボタンを押して、“2. ヘンコウ” を表示させます。

テイジ ポーリング
2. ヘンコウ

- ② [セット] ボタンを押します。

- 暗証番号を設定しているときは、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください (暗証番号は表示されません)。

ヘンコウ
1. アンショウバンゴウ

3 定時ポーリングの各項目を変更します

- ① [∧] または [V] ボタンを押して、変更したい項目を表示させ、[セット] ボタンを押します。

- ② 設定内容を変更します。

- 暗証番号を変更する場合は、現在の暗証番号を入力し (暗証番号は表示されません)、[セット] ボタンを押してから、新しい暗証番号を入力します。
- 宛先を変更する場合は、[クリア] ボタンを押して現在の宛先を削除してから、新しい相手先を指定します。
- 開始時刻を変更する場合は、テンキーで時刻を指定します。

- ③ [セット] ボタンを押して変更を確定します。

- 続けて他の項目の設定内容を変更することができます。

4 定時ポーリング受信の設定変更を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

■ 定時ポーリング受信の取り消し

定時ポーリング受信の設定を取り消すときは、次の手順で操作してください。

1 定時ポーリングの設定項目を表示させます

「定時ポーリング受信の設定」(P.145) の手順 1 ~ 3 に従って、定時ポーリング “1. サクセイ” を表示させます。

2 定時ポーリングの設定取り消し項目を表示させます (△▽)

[△] または [▽] ボタンを押して、“3. トリケシ” を表示させます。

テイジ ポーリング
3. トリケシ

3 定時ポーリングの設定を取り消します (○^{セット})

[セット] ボタンを押します。

- 暗証番号を設定しているときは、4桁の暗証番号を入力して、再度 [セット] ボタンを押してください (暗証番号は表示されません)。

トリケシ
トリケシマシタ

4 定時ポーリング受信の取り消しを終了します (○^{ストップ})

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

第7章 コピーする

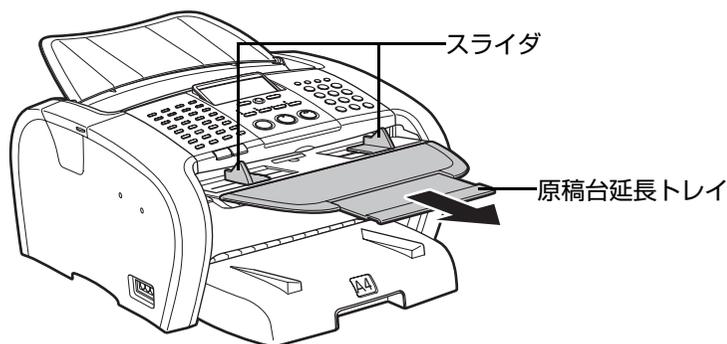
コピーする

原稿は、A4 サイズは最大 40 枚、B4 サイズは最大 15 枚、A3 サイズは最大 10 枚まで一度にセットできます（原稿の種類や周囲の環境により、少なくなる場合もあります）。一度に複数枚セットしたときは、一番下の原稿から順番に読み込まれます。

用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を約半分に減らしてください。

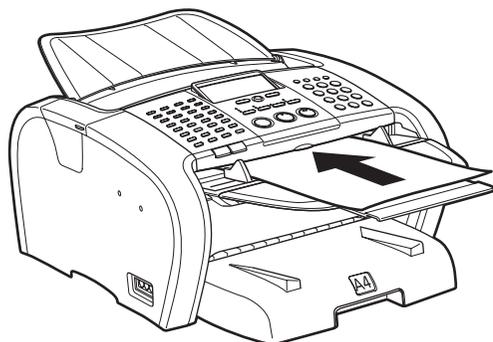
1 原稿の先端をそろえ、表面を下にして原稿台にのせます

原稿の幅に合わせてスライダを調整します。原稿セット方向に長い原稿のときは、原稿台延長トレイを引き出してください。



2 原稿を差し込みます

ピッという音がするように原稿が突き当たるまで差し込んでください。



原稿をセットすると、メモリの使用量が表示されたあと、原稿がセットされたことを示すメッセージが表示されます。

メモリ ショウ リョウ 12%



ゲンコウガ セット サレマシタ



原稿をセットしてもピッという音が鳴らず、「ゲンコウガ セット サレマシタ」というメッセージも出ないときは、もう一度原稿をセットし直してください。または「原稿がつまったときには」(P.209)の手順5の重要を参照してください。

3 [スタート/コピー] ボタンを押します ()

コピ -
コピ - プ スウ 01

4 画質を設定します ()

画像モードボタンでコピーの画質を設定します。⇒ P.157



画質の設定は、手順3で [スタート/コピー] ボタンを押してから行ってください。

5 コピー部数を指定します (~)

テンキーでコピー部数を指定します。

- 機能ボタンの [∧] または [∨] ボタンで部数を指定することもできます。
- 1部だけコピーする場合は、部数の指定は不要です。
- 一度に99部までコピーすることができます。

コピ - プ スウ 05

6 [スタート/コピー] ボタンを押します ()

原稿のコピーが始まります。

オプションの記録紙カセットがセットされているときは、上段と下段の記録紙カセットにセットされている記録紙のサイズが表示されます。手順7に進んでください。

カセット センタク
A4 =(*) B4 =(#)

- オプションの記録紙カセットがセットされている場合で、上下いずれかの記録紙カセットの記録紙がなくなっているときは、次のようになります。
 - 記録紙より原稿のサイズのほうが大きいとき自動的に、セットされている記録紙サイズに合わせて縮小コピーされます。⇒ P.159
 - 原稿サイズが A4 で、セットされている記録紙サイズが B4 のときディスプレイに次のように表示されます。

カクタ イ コピ - シマスカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

- 拡大するときは [*] ボタンを、等倍コピーでいいときは [#] ボタンを押すと、すぐにコピーが始まります。⇒ P.154
- 原稿と、セットされた記録紙が同じサイズのときコピー部数を指定して [スタート/コピー] ボタンを押すとすぐにコピーが始まります。
- 途中でコピーを中止するときは、[ストップ] ボタンを押してください。
- [ストップ] ボタンを押すと、設定したコピーの部数、画質などすべての設定が初期状態に戻ります。ご注意ください。



コピーを途中で中止した場合、原稿が操作パネルの下につまった状態になることがあります。その場合は操作パネルを開いて原稿を取り出してください。⇒ P.209

7 オプションの記録紙カセットがセットされているときは、カセットを選択

します ( または  )

選択されている記録紙のサイズが、アンダーラインで示されます。選択されているサイズの記録紙にコピーするときは、[スタート/コピー] ボタンを押してください。原稿のコピーが始まります。

記録紙のサイズを変更するときは、[*] ボタンまたは [#] ボタンでカセットを選択します。原稿のコピーが始まります。

- 原稿サイズと異なるサイズの記録紙がセットされたカセットを選択して、拡大/縮小コピーをすることもできます。⇒ P.154
- 選択した記録紙より原稿のサイズのほうが大きい場合や、原稿のタテ方向いっぱいに画像が入っている場合などに、記録紙サイズに合わせて自動的に縮小してプリントするように設定することもできます。⇒ P.159

重要

- 原稿をコピーする場合、法律によって単にそのコピーを所有するだけで罰せられるものがありますのでご注意ください。次のものは法律でコピーが禁止されているものです。注意してください。
 1. 法律で禁止されているもの
 - －紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピーすることは禁止されています。たとえ、見本の印が押してあってもコピーすることはできません。
 - －外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
 - －政府の許可を取らない限り、未使用郵便切手、はがきの類をコピーすることは禁止されています。

2. 注意を要するもの

- －民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導により注意を呼びかけられています。
- －政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も許可なしにコピーしないでください。

[関係法律]

- －刑法
- －通貨及証券模造取締法
- －外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- －郵便法
- －郵便切手類模造等取締法
- －印紙犯罪処罰法
- －印紙等模造取締法

3. 著作権の目的となっているもの

- －書類、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲で使用する以外はコピーを禁じられています。
- 読み取りガラスにゴミやほこりがついていると、コピーが汚れてしまいます。読み取りガラスは常にきれいな状態にしておいてください。⇒ P.188
- コピー時は、インク残量は検知しません。指定した枚数分、画像がきちんとコピーされているか確認してください。コピーした画像に問題がある場合には、クリーニングを実行してください。⇒ P.204

参考

- コピー中は操作パネルにさわらないでください。操作パネルがゆれて画像が乱れることがあります。
- メモリに大量の原稿が記憶されていると、コピーできなくなることがあります。コピー中、ディスプレイに“メモリが イッパイデス”と表示されたときは、送信予約原稿の送信が終了してからコピーし直すか、メモリ内に記憶された受信原稿をプリントしてからコピーし直してください。⇒ P.132
- コピー中でも、自動受信の機能ははたらきますが、原稿を送信することはできません。原稿を送信するときは、[ストップ] ボタンでコピーを中止するか、コピーが終了するのを待ってください。

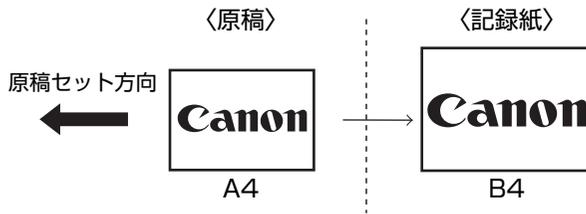
拡大／縮小してコピーする

コピー時に、プリントしたいサイズの記録紙を指定することによって、読み込んだ原稿を拡大、または縮小してコピーすることができます。

拡大／縮小できるサイズ

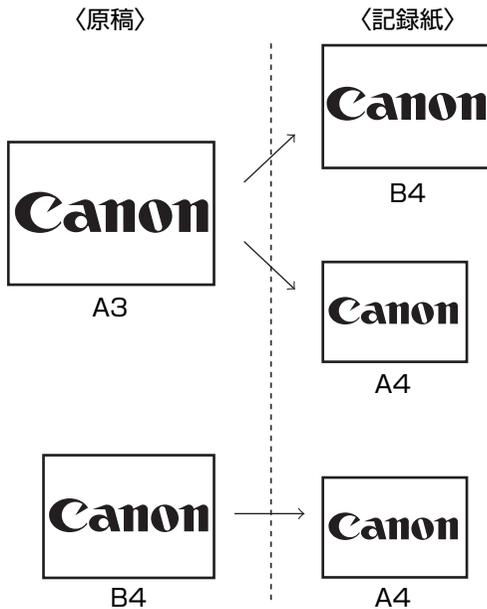
本装置では、次のように拡大／縮小コピーができます。

● 拡大コピー



- 原稿サイズが A4 のときだけ、B4 サイズの記録紙に拡大してコピーできます。

● 縮小コピー



- 原稿サイズが A3 のときは B4 または A4 サイズに、B4 サイズのときは A4 サイズに縮小してコピーできます。

■ 拡大してコピーする

プリントしたいサイズの記録紙が記録紙カセットにセットされていることを確認しておきます。

希望のサイズの記録紙がセットされていないときは、カセットの記録紙を交換してください。⇒ P.195

- 原稿サイズが A4 のときだけ、B4 サイズの記録紙に拡大してコピーできます。
- 記録紙カセットにセットされている記録紙が A4 サイズだけのときは、等倍でコピーされます。

1 コピーの準備をし、**[スタート/コピー]** ボタンを押します ()

「コピーする」(P.150) の手順 1～6 に従って、コピーの操作をしてください。

拡大コピーの選択画面が表示されたら、手順 3 に進んでください。

カクダ イ コピ - シマスカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

オプションの記録紙カセットがセットされているときは、上段と下段の記録紙カセットにセットされている記録紙のサイズが表示されます。手順 2 に進んでください。

カセット センタク
A4 =(*) B4 =(#)

2 オプションの記録紙カセットがセットされているときは、カセットを選択

します ( または  )

選択されている記録紙サイズがアンダーラインで示されます。そのままいいときは **[スタート/コピー]** ボタンを押します。

記録紙のサイズを変更するときは **[*]** または **[#]** ボタンで記録紙カセットを選択します。

カクダ イ コピ - シマスカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

3 **[*]** ボタンを押します ()

ハイ=(*) イイエ=(#)

拡大コピーが始まります。**[#]** ボタンを押すと等倍でコピーされます。

参考

- 拡大コピーをするときは、解像度は自動的に「ファイン」が選択され、ファインランプが点灯します。⇒ P.157
- オプションの記録紙カセットがセットされている場合で上下いずれかの記録紙カセットにしか記録紙がセットされていないとき、またはオプションの記録紙カセットがセットされていないときは、カセットを選択する画面は表示されませんが、拡大コピーはできません。
- コピー設定で全面コピーを「スル」に設定していても、画像は用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。⇒ P.160, P.174
- コピー設定で全面コピーを「スル」に設定しているときは、原稿サイズと記録紙サイズの組み合わせによっては拡大されないことがあります。

縮小してコピーする

プリントしたいサイズの記録紙が記録紙カセットにセットされていることを確認しておきます。

希望のサイズの記録紙がセットされていないときは、カセットの記録紙を交換してください。⇒ P.195

- 原稿サイズがA3のときはB4またはA4サイズに、B4サイズのときはA4サイズに縮小してコピーできません。

1 コピーの準備をし、**【スタート／コピー】** ボタンを押します ()

「コピーする」(P.150)の手順1～6に従って、コピーの操作をしてください。

すぐに縮小コピーが始まります。

オプションの記録紙カセットがセットされているときは、上段と下段の記録紙カセットにセットされている記録紙のサイズが表示されます。手順2に進んでください。

カセット	センチ
A4	=(*) B4 =(#)

2 オプションの記録紙カセットがセットされているときは、カセットを選択

します ( または  )

選択されている記録紙サイズがアンダーラインで示されます。そのままいいときは【スタート／コピー】ボタンを押します。

記録紙のサイズを変更するときは【*】または【#】ボタンで記録紙カセットを選択します。

すぐに縮小コピーが始まります。



オプションの記録紙カセットがセットされている場合で上下いずれかの記録紙カセットにしか記録紙がセットされていないとき、またはオプションの記録紙カセットがセットされていないときは、カセットを選択する画面は表示されませんが、縮小コピーはできます。

画像を鮮明にコピーする

本機には、読み込んだ画像をデジタル処理して鮮明にコピーするための機能が搭載されています。複雑で細かな原稿も忠実にコピーできます。

文字だけの原稿のとき



画像モードボタンを押して、文字ランプを点灯させてください。

文字と写真が両方あるとき、写真だけの原稿のとき



画像モードボタンを押して、文字／写真ランプを点灯させてください。

重要

画質の設定は、原稿をセットし [スタート／コピー] ボタンを押してから行ってください。⇒ P.150

参考

- 原稿の読み取り中に画質の設定を変更することができますが、変更後の設定が有効になるのは、次ページの原稿を読み込むときからです。
- コピーするときは、解像度は自動で選択され、等倍コピーのときはスーパーファインランプ、拡大コピーのときはファインランプが点灯します。解像度の設定は変更できません。
- 解像度は、コピーが終了すると自動的に直前の設定に戻ります。
- エコノミー記録を“エコノミー”に設定すると、コピーする際のインクの量を節約することができます。エコノミー記録を設定している場合は全体的に薄く印字されます。⇒ P.173
- エコノミー記録を“エコノミー”に設定すると、印字速度が遅くなります。

文字や写真の濃度が気になるとき

原稿の読み取り濃度は、あらかじめ設定しておくことができます。原稿の読み取り濃度を設定するときは、次の手順で操作してください。

1 基本設定の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録／設定] ボタンを押します。



- ② [セット] ボタンを押します。



2 読み取り濃度の設定項目を表示させます

- ① [セット] ボタンを押します。

キホン セッテイ
1. ヒツグ ケ/ジ^o コク セット

- ② [∧] または [V] ボタンを押して、“5. ヨミトリ ノウド セット” を表示させます。

5. ヨミトリ ノウド^o セット

3 読み取り濃度を選択します

- ① [セット] ボタンを押します。

ヨミトリ ノウド^o セット
フツウ

- ② [∧] または [V] ボタンで、読み取り濃度を切り替えることができます。

例:

- ・フツウ
- ・コク
- ・ウスク

- ③ [セット] ボタンを押すと、表示されている読み取り濃度が選択できます。

4 読み取り濃度の設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

画像が欠けないようにコピーする

セットされた原稿のセット方向の画像の長さを読み取り、指定した記録紙サイズの有効記録範囲内に画像が収まるよう、自動的に倍率を設定してコピーします。この機能を全面コピーと呼びます。

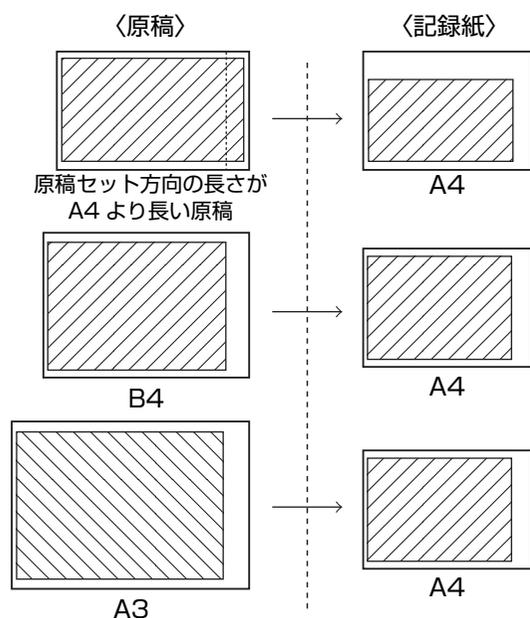
お買い求めいただいたときは、全面コピーは“シナイ”に設定されています。コピー時の有効記録範囲は、ファクス受信原稿をプリントするときの有効記録範囲と同じです。⇒ P.117

全面コピーの例

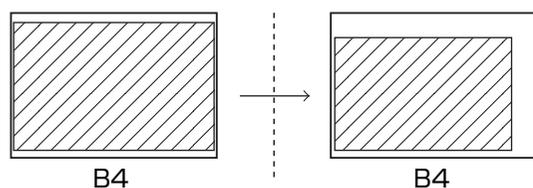
全面コピーを“スル”にしておくと、次のような場合に、記録紙サイズを指定することによって自動的に倍率を設定してコピーできます。

▨は画像が入っている範囲を示しています。

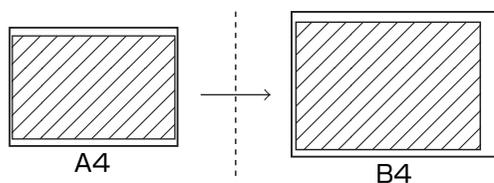
原稿サイズが記録紙カセットにセットされている記録紙より大きい場合



原稿セット方向の有効記録範囲外に画像がある原稿などをコピーする場合



原稿セット方向の有効記録範囲外に画像がある原稿などを拡大コピーする場合





参考

- 自動的に設定される縮小率は70%までです。
- メモリに大量の原稿が記憶されていると、コピーできなくなることがあります。コピー中、ディスプレイに“メモリがいっぱいデス”と表示されたときは、送信予約原稿の送信が終了してからコピーし直すか、メモリ内に記憶された受信原稿をプリントしてからコピーし直してください。

全面コピーを設定するには

全面コピーを設定するときは、次の手順で操作してください。

1 データ登録の設定項目を表示させます

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[登録/設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

- ② [セット] ボタンを押します。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

2 全面コピーの設定項目を表示させます

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、“6. コピー セッテイ”を表示させます。

6. コピー セッテイ

- ② [セット] ボタンを押します。

コピー セッテイ
1. センメン コピー

3 全面コピーを設定します

- ① [セット] ボタンを押します。

センメン コピー
シナイ

- ② [∧] または [∨] ボタンを押して、“スル”を表示させます。

スル

- ③ [セット] ボタンを押します。

4 全面コピーの設定を終了します ()

[ストップ] ボタンを押すと、待機状態に戻ることができます。

登録／設定内容を変更する

本機では、あらかじめさまざまな機能が登録、設定されています。登録、設定されている内容をまとめてユーザデータと呼びます。ユーザデータは、使用する環境に合わせて変更することができます。

ユーザデータの概要

ユーザデータは、ディスプレイに表示されるメニュー項目に従って確認したり変更したりすることができます。ユーザデータのメニュー項目は、次のとおりです。

- | | |
|-------------|-----------------------------------------------------------------|
| 1. 基本設定 | 日付／時刻セット、ユーザ TEL 登録など、ファクスの基本的な機能に関する 9 種類の登録／設定項目があります。⇒ P.164 |
| 2. レポート設定 | 送信や受信の結果を確認するための各種レポートのプリントなどに関する 4 種類の登録／設定項目があります。⇒ P.166 |
| 3. 送信機能設定 | 原稿の送信に関する 6 種類の登録／設定項目があります。⇒ P.168 |
| 4. 受信機能設定 | 原稿の受信に関する 8 種類の登録／設定項目があります。⇒ P.170 |
| 5. プリント設定 | プリントに関する 4 種類の登録／設定項目があります。⇒ P.173 |
| 6. コピー設定 | 全面コピーの登録／設定項目があります。⇒ P.174 |
| 7. メモリ管理設定 | 定時ポーリングと転送に関する 2 種類の登録／設定項目があります。⇒ P.175 |
| 8. システム管理設定 | 管理暗証番号、日付タイプなどに関する 9 種類の登録／設定項目があります。⇒ P.177 |

メニューブロックを選択するには

ユーザデータの各メニューブロックは、次の操作で表示させることができます。

1 登録／設定項目を表示させます (☰)

ワンタッチパネル 3 を開いて、[登録／設定] ボタンを押します。

トウロク/セッテイ
1. データ トウロク

2 [セット] ボタンを押します (⊙)

データ登録の最初のメニューブロックが表示されます。

データ トウロク
1. キホン セッテイ

3 メニューブロックを選択します

① [∧] または [∨] ボタンを押して、設定するメニューブロックを表示させます。

- [◀ -] [+ ▶] ボタンでメニューブロックの選択ができます。[◀ -] [+ ▶] ボタンの [◀ -] ボタンと機能ボタンの [∧] ボタン、[+ ▶] ボタンと [∨] ボタンは同じはたらきをします。ただし、送信中に登録／設定を行った場合は、[◀ -] [+ ▶] ボタンによるメニューの変更はできません。

1. キホン セッテイ



8. システム カンリ セッテイ

② [セット] ボタンを押すと、表示されているメニューブロックが選択され、それぞれの登録／設定項目が選択できます。詳しくは、このあとの説明を参照してください。

基本設定のメニュー項目

基本設定のメニューブロックには、9種類の登録／設定項目があります。

基本設定の登録／設定項目を選択するには

1 基本設定のメニューブロックを選択します ()

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“1. キホン セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。

キホン セッテイ
1. ヒツ ケ/シ^{セット} コク セット

2 登録／設定項目を選択します

① [∧] または [∨] ボタンを押して、設定する項目を表示させます。

1. ヒツ ケ/シ^{セット} コク セット
▲ ▼
9. トクバ^{セット} ントウロク

② [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

基本設定の登録／設定項目の種類と内容

基本設定ブロック内には、次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
1. 日付／時刻セット	日付と時刻が登録できます。	テンキーで入力。 時刻は 24 時間制。	P.31
2. ユーザ TEL 登録	本機が接続されている回線の電話番号が登録できます。	テンキーで 20 桁までの数字が入力可能。	P.32
3. ユーザ略称登録	会社名や部門の略称が登録できます。	テンキーで 24 文字までのカタカナや英数字、記号が入力可能。	P.33
4. 発信元記録	送信時に発信元記録をつけるかどうか選択できません。	“ツケル” ※ “ツケナイ”	P.29
“1. 発信元記録位置”	“ツケル” を選択すると、発信元記録の記録位置が選択できます。	“ガゾウノ ソトニ ツケル” ※ “ガゾウノ ナカニ ツケル”	
“2. 電話番号マーク”	“ツケル” を選択すると、電話番号の前につけるマークが選択できます。	“FAX” ※ “TEL”	
5. 読み取り濃度セット	送信または、コピー時の原稿の読み取り濃度が設定できます。	“フツウ” ※ “コク” “ウスク”	P.46, P.157
6. オフフックアラーム	原稿の送受信後、ハンドセットや電話機の手話器がきちんと戻っていないとき、アラーム音で通知するかどうか選択できます。	“ナラス” ※ “ナラサナイ”	P.40, P.99
7. 音量調整	それぞれの音量を 4 段階で調整できます。(“0”：無音、“4”：最大)		—
“1. 呼び出し音量”	オフフックアラームの音量が調整できます。	“0” ～ “4” の範囲で変更可能。 “2” ※	
“2. キータッチ音量”	ボタンやキーを押したときに鳴るキータッチ音の音量が調整できます。	“0” ～ “4” の範囲で変更可能。 “2” ※	
“3. アラーム音量”	アラームの音量が調整できます。	“0” ～ “4” の範囲で変更可能。 “2” ※	
“4. 通信音量”	通信のモニタ音の音量が調整できます。	“0” ～ “4” の範囲で変更可能。 “2” ※	
8. 回線種類選択	電話回線の種類が選択できます。	“ブッシュ カイセン” ※ “ダイヤル カイセン”	P.18
(ダイヤルスピード 選択)	“ダイヤル カイセン” を選択すると、ダイヤルスピードも選択できます。	“20PPS” ※ “10PPS”	
9. 特番登録	ナンバー・ディスプレイで使用する番号をワンタッチダイヤルボタンの 76 に登録できます。	“シナイ” ※ “184” “186”	P.69

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

レポート設定のメニュー項目

レポート設定のメニューブロックには、4種類の登録／設定項目があります。

レポート設定の登録／設定項目を選択するには

1 レポート設定のメニューブロックを選択します (○)

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“2. レポート セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。

レポート セッテイ
1. ソウシンケッカ レポート

2 登録／設定項目を選択します

① [∧] または [∨] ボタンを押して、設定する項目を表示させます。

1. ソウシンケッカ レポート
▲ ▼
4. プリント カセット シテイ

② [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

レポート設定の登録／設定項目の種類と内容

レポート設定ブロック内には、次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
1. 送信結果レポート (送信画像)	送信結果レポート（エラー送信レポート）をプリントするかどうか選択できます。送信エラーが発生したとき以外もプリントするように設定することができます。 送信結果レポートを“プリント スル”に設定して、同報送信を行うとマルチ通信結果レポートがプリントされます。	“エラー ジニ プリント スル” ※ “プリント スル” “プリント シナイ”	P.185, P.186
	送信結果レポートを“プリント スル”または、“エラー ジニ プリント スル”に設定すると、レポートに原稿の一部をプリントするかどうか選択できます。	“ツケル” ※ “ツケナイ”	
2. 受信結果レポート	受信結果レポートをプリントするかどうか選択できます。受信エラーが発生したときだけプリントするように設定することもできます。	“プリント シナイ” ※ “エラー ジニ プリント スル” “プリント スル”	P.186
3. 通信管理レポート “1. 自動プリント” “2. 指定時刻プリント” (プリント時刻) “3. 送信／受信分離”	通信管理レポートを40通信ごとに自動的にプリントするかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ”	P.182 ～ P.184
	指定時刻に通信管理レポートをプリントするかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	
	指定時刻プリントが“スル”のとき、通信管理レポートのプリント時刻が指定できます。	テンキーで指定可能。 時刻は24時間制。	
4. プリントカセット指定 (プリントカセット指定)	オプションの記録紙カセットをセットしている場合、レポートをプリントする記録紙カセットを指定するかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	P.195
	オプションの記録紙カセットをセットしている場合、プリントカセット指定が“スル”のとき、記録紙カセットが選択できます。	“ジョウダン カセット” ※ “ゲダン カセット”	

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。



オプションの記録紙カセットをセットされていない場合は、“4. プリント カセット シナイ”のメニュー項目は表示されません。

送信機能設定のメニュー項目

送信機能設定のメニューブロックには、6種類の登録／設定項目があります。

送信機能設定の登録／設定項目を選択するには

1 送信機能設定のメニューブロックを選択します ()

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“3. ソウシン キノウ セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。

ソウシン キノウ セッテイ
1. ECM ソウシン

2 登録／設定項目を選択します

① [∧] または [∨] ボタンを押して、設定する項目を表示させます。

1. ECM ソウシン



6. ソウシンマエノ ダ イヤルトーン

② [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

送信機能設定の登録／設定項目の種類と内容

送信機能設定ブロック内には、次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
1. ECM 送信	ECM 送信するかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ”	P.38
2. ポーズ時間セット	[保留／ポーズ] ボタンを押したときのポーズの秒数が設定できます。	テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 01 ～ 15 秒の範囲で設定可能。 “02 ビョウ” ※	P.89
3. 自動リダイヤル	相手先が話し中だった場合、自動的にリダイヤルするかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ”	P.62
“1. リダイヤル回数”	自動リダイヤルが “スル” のとき、相手先が話し中だった場合の自動リダイヤルの回数が設定できます。	テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 01 ～ 14 回の範囲で設定可能。 “02 カイ” ※	
“2. リダイヤル間隔”	自動リダイヤルの間隔が分単位で設定できます。	テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 02 ～ 99 分の範囲で設定可能。 “02 フン” ※	
4. クイックメモリ送信	クイックメモリ送信するかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ”	P.36
5. スタンプの種類	ダイレクト送信のときだけ送信済みの原稿にスタンプを押すか、ダイレクト送信の送信済み原稿とメモリ送信の読み込み済み原稿にスタンプを押すか選択できます。	“ダイレクト／メモリソウシン” ※ “ダイレクトソウシン ノミ”	P.44
6. 送信前のダイヤルトーン	ファクスを送信するときにダイヤルトーンを確認してからダイヤルするか、確認せずにダイヤルするかを設定できます。	“カクニン スル” ※ “カクニン シナイ”	P.41

* ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの「詳細設定」で、ECM 通信を “スル” にしている場合は、ここで ECM 送信の設定よりもワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルでの設定が優先されます。

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

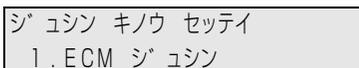
受信機能設定のメニュー項目

受信機能設定のメニューブロックには、8種類の登録／設定項目があります。

受信機能設定の登録／設定項目を選択するには

1 受信機能設定のメニューブロックを選択します ()

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“4. ジュシン キノウ セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。



ジュシン キノウ セッテイ
1. ECM ジュシン

2 登録／設定項目を選択します

① [∧] または [∨] ボタンを押して、設定する項目を表示させます。



1. ECM ジュシン

▲ ▼

8.2 in 1 キロク

② [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

受信機能設定の登録／設定項目の種類と内容

受信機能設定ブロック内には、次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
1. ECM 受信	ECM 受信するかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ”	P.38
2. 受信モード選択	受信モードが選択できます。	“FAX / TEL キリカエ” ※ “ジドウ ジュシン” “モデムダイヤルイン F / T キリカエ” “ダイヤルイン F / T キリカエ”	P.96, P.100
(呼び出し開始時間)	“FAX / TEL キリカエ” のとき、電話を受けてから呼び出し音を鳴らすまでの時間が設定できます。	テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 00 ~ 30 秒の範囲で設定可能。 “06 ビョウ” ※	P.102
(呼び出し時間)	“FAX / TEL キリカエ” のとき、呼び出し時間の長さが設定できます。	テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 015 ~ 300 秒の範囲で設定可能。 “017 ビョウ” ※	
(呼び出し後の動作)	“FAX / TEL キリカエ” のとき、設定された呼び出し時間を過ぎてもハンドセットや受話器が取られなかったときの動作が選択できます。	“ジュシン” ※ “シュウリョウ”	
(音声応答)	“FAX / TEL キリカエ” のとき、音声応答するかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	
(TEL 番号指定)	“モデムダイヤルイン F / T キリカエ” または “ダイヤルイン F / T キリカエ” のとき、電話用の番号が登録できます。	モデムダイヤルインは市外局番から全桁入力、ダイヤルインは下 4 桁のみ入力。	P.124, P.126
(FAX 番号指定)	“モデムダイヤルイン F / T キリカエ” または “ダイヤルイン F / T キリカエ” のとき、ファクス用の番号が登録できます。	モデムダイヤルインは市外局番から全桁入力、ダイヤルインは下 4 桁のみ入力。	
3. 着信呼び出し *	自動受信のときも呼び出し音で知らせるかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	P.98
(呼び出し回数)	着信呼び出しが “スル” のとき、着信呼び出し回数が設定できます。	テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 01 ~ 99 回の範囲で設定可能。 “02 カイ” ※	
4. 自動受信切り替え	呼び出し音を鳴らしても応答がないとき、自動的にファクス受信に切り替えるかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	P.97
(呼び出し時間)	自動受信切り替えが “スル” のとき、電話を受けてからファクス受信に切り替えるまでの時間が設定できます。	テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 01 ~ 99 秒の範囲で設定可能。 “15 ビョウ” ※	

* 「着信呼び出し」の「呼び出し回数」は PBX に接続されている場合など、呼び出し信号によって鳴動回数が変わることがあります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
5. リモート受信 (リモート受信 ID)	接続した電話機からの ID 番号でリモート受信するかどうか設定できます。 リモート受信が“スル”のとき、リモート受信用の ID 番号が設定できます。	“スル” ※ “シナイ” テンキーまたは [∧] [V] ボタンを使って 00 ～ 99 の範囲で設定可能。 “25” ※	P.114
6. 受信画像記録 “1. 自動受信印刷” (インク切れでの印刷)	受信した原稿を自動的にプリントするかどうか選択できます。“シナイ”を選択した場合、受信原稿はメモリに記憶されます。 自動受信印刷が“スル”のとき、インク残量が少なくなった場合にメモリ代行受信するかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ” “シナイ” ※ “スル”	P.138 P.109
“2. 受信データのかすれ検知”	FINE カートリッジ内のインク残量が少なくなったときに、受信データのかすれを検知するかどうか選択できます (レポート出力時と受信時のみ)。	“スル” ※ “シナイ”	P.106
“3. 代行受信” (代行受信アラーム)	メモリ代行受信するかどうか選択できません。 メモリ代行受信が“スル”のとき、メモリ代行受信した場合にアラーム音で通知するかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ” “ナラサナイ” ※ “ナラス”	P.109
7. 受信情報記録	受信した原稿をプリントするとき、原稿の受信時刻、受付番号、ページ番号などを付けるかどうか選択できます。	“ツケナイ” ※ “ツケル”	—
8. 2 in 1 記録	受信した 2 ページ分の原稿を、1 枚の記録紙にまとめて記録するかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	P.118

* システム管理設定でメモリ受信を“スル”に設定しているときは、自動受信印刷を“スル”に設定した場合も受信原稿はプリントされず、メモリに記憶されます。⇒ P.129

* 受信機能の設定で「メモリ代行受信」を“シナイ”に設定すると、記録紙やインク切れの状態、ダイヤルイン FAX 専用番号で着信または自動受信モードで着信した場合、アラーム音が鳴り続けるため注意してください。

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

プリント設定のメニュー項目

プリント設定のメニューブロックには、4種類の登録／設定項目があります。

プリント設定の登録／設定項目を選択するには

1 プリント設定のメニューブロックを選択します (○)

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“5. プリント セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。

プリント セッテイ
1. カセット センタク

2 登録／設定項目を選択します

① [△] または [▽] ボタンを押して、設定する項目を表示させます。

1. カセット センタク
▲ ▼
4. エコノミー キロク

② [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

プリント設定の登録／設定項目の種類と内容

プリント設定ブロック内には、次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
1. カセット選択	オプションの記録紙カセットがセットされている場合、記録紙カセットの用紙サイズを指定することができます。		P.116
“1. スイッチ A”	B4・B5 カセット設置時 ：B4 記録紙がない場合、B4 サイズの原稿を B5 に分割してプリントすることを許可するかどうか選択できます。	“ON” ※ “OFF”	
“2. スイッチ B”	B4・B5 カセット設置時 ：B5 記録紙がない場合、B5 サイズの原稿を B4 に余白つきでプリントすることを許可するかどうか選択できます。	“ON” ※ “OFF”	
“3. スイッチ C”	B4・A4、B5・A4 カセット設置時 ：B 判サイズの記録紙がない場合、B 判サイズの原稿を A 判の記録紙にプリントすることを許可するかどうか選択できます。	“ON” ※ “OFF”	
“4. スイッチ D”	B4・A4、B5・A4 カセット設置時 ：A 判サイズの記録紙がない場合、A 判サイズの原稿を B 判の記録紙にプリントすることを許可するかどうか選択できます。	“ON” ※ “OFF”	
2.B5 分割優先	記録紙サイズの優先順位で、相手先が B4 サイズの原稿を送ってきたときの優先順位を、B4 → A4 → B5 (分割) から B4 → B5 (分割) → A4 に変更するかどうか選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	P.116
3. 画像縮小	受信した画像を縮小してプリントするかどうか選択できます。	“スル” ※ “シナイ”	P.117
“1. 縮小モード選択” (縮小%)	画像縮小が“スル”のとき、画像の縮小を固定モードにするか自動モードにするか選択できます。 縮小モード選択で“コテイ”を選択すると、[∧] または [∨] ボタンで、縮小率が選択できます。	“ジドウ” ※ “コテイ” “90%” ※ “85%” “70%” “95%”	
“2. 縮小方向選択”	画像の縮小方向が選択できます。	“タテ ノミ” ※ “タテ ヨコ トモ”	
4. エコノミー記録	記録紙に印字する際、インクの量を少なくして節約するかどうか選択できます。 “エコノミー”を選択した場合、受信／コピー画像全体の記録濃度を均等に薄くします。 また、“エコノミー”を選択した場合、印字速度が遅くなります。	“シナイ” ※ “エコノミー”	

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

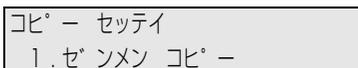
コピー設定のメニュー項目

コピー設定のメニューブロックには、全面コピーの設定項目があります。

コピー設定の登録／設定項目を選択するには

1 コピー設定のメニューブロックを選択します (○)

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“6. コピー セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。



2 登録／設定項目を選択します (○)

[セット] ボタンを押すと、全面コピーの項目が選択できます。

コピー設定の登録／設定項目の種類と内容

コピー設定ブロック内には次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い求め時の設定)	参照先
1. 全面コピー	全面コピーをするかどうかを選択できます。	“シナイ” ※ “スル”	P.159

設定内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

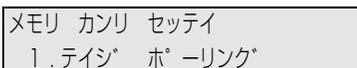
メモリ管理設定のメニュー項目

メモリ管理設定のメニューブロックには、2種類の登録／設定項目があります。

メモリ管理設定の登録／設定項目を選択するには

1 メモリ管理設定のメニューブロックを選択します (○)

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“7. メモリ カンリ セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。



2 登録／設定項目を選択します

① [△] または [▽] ボタンを押して、設定する項目を表示させます。



② [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

メモリ管理設定の登録／設定項目の種類と内容

メモリ管理設定ブロック内には、次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値	参照先
1. 定時ポーリング	定時ポーリングの作成、変更、取り消しができます。	「指定した時刻にポーリング受信する」(P.145)の説明参照。	P.145 ～ P.149
2. 転送	受信した原稿を転送する設定の作成、変更、取り消しができます。	「受信原稿を転送する」(P.133)の説明参照。	P.133 ～ P.137

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

システム管理設定のメニュー項目

システム管理設定のメニューブロックには、9種類の登録／設定項目があります。

システム管理設定の登録／設定項目を選択するには

1 システム管理設定のメニューブロックを選択します (○)

「メニューブロックを選択するには」(P.162)の手順3で“8. システム カンリ セッテイ”を表示させ、[セット] ボタンを押します。

- 管理暗証番号が設定されているときは、4桁の暗証番号を入力して [セット] ボタンを押します。暗証番号の入力がないと、システム管理設定の各項目を設定したり変更することはできません。

システム カンリ セッテイ
1.カンリ アンショウバ^{ンゴ} ウ

2 登録／設定項目を選択します

- ① [∧] または [∨] ボタンを押して、設定する項目を表示させます。

1.カンリ アンショウバ^{ンゴ} ウ



9.ソウシン キノウ セイゲ^ン

- ② [セット] ボタンを押すと、表示されている項目が選択できます。

重要

システム管理設定の管理暗証番号を登録したときは、忘れないようご注意ください。忘れてしまった場合は、システム管理設定の各項目の設定や変更ができなくなります。

参考

登録した管理暗証番号を変更したりクリアするときは、次の手順で操作してください。

- 変更するとき
[登録／設定] → [セット] → [∧] → [セット] → 現行暗証番号入力 → [セット] → [セット] → 現行暗証番号入力 → [セット] → 新規暗証番号入力 → [セット]
- クリアするとき
[登録／設定] → [セット] → [∧] → [セット] → 現行暗証番号入力 → [セット] → [セット] → 現行暗証番号入力 → [セット] → [セット]

システム管理設定の登録／設定項目の種類と内容

システム管理設定ブロック内には、次のメニュー項目があります。

登録／設定項目	登録／設定項目の内容	登録／設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
1. 管理暗証番号	システム管理者のための暗証番号が登録できます。暗証番号を設定すると、暗証番号を知らない人はシステム管理設定メニューの項目を変更できなくなります。	テンキーを使って4桁の数字が指定可能。	—
2. メモリ受信	受信原稿のプリントを禁止して、メモリ受信するように設定できます。	“シナイ” ※ “スル” 「メモリで受信する」 (P.129) の説明参照。	P.129
3. DM (ダイレクトメール) 制限	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録している相手先以外からの原稿を受信しないように設定できます。	“シナイ” ※ “スル”	—
4. 日付タイプ	ディスプレイやレポートに表示される日付のタイプが設定できます。(YYYY: 年, MM: 月, DD: 日)	“YYYY MM / DD” ※ “MM / DD / YYYY” “DD / MM YYYY”	P.31
5. 送信スタートスピード	原稿を送信する際の本機の最高スピードを設定できます。	“33600 bps” ※ “14400 bps” “9600 bps” “7200 bps” “4800 bps” “2400 bps”	—
6. 受信スタートスピード	原稿を受信する際の本機の最高スピードを設定できます。	“33600 bps” ※ “14400 bps” “9600 bps” “7200 bps” “4800 bps” “2400 bps”	—
7. 受信パスワード	受信時にパスワードを利用する場合に登録します。送信されてきた原稿に付加されているパスワードと照合され、合致しないときは受信しません。	テンキーを使って1～20桁の範囲で数字、*、#、スペースの入力が可能。	—
8. FIS スイッチ	FIS (ファクシミリインプットサービス) を利用する場合のみ “スル” に設定します。それ以外の場合は、必ず “シナイ” にしてください。	“シナイ” ※ “スル”	—

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

以下のメニュー項目は、予期しない相手にファクスを誤送信するのを防ぐセキュリティー機能の登録 / 設定項目です。

登録 / 設定項目	登録 / 設定項目の内容	登録 / 設定値 (※はお買い上げ時の設定)	参照先
9. 送信機能制限	各種のセキュリティー機能を設定するかどうか選択 できます。 詳しくは「各種セキュリティー機能設定について」 (P.179) をご覧ください。	テンキーを使って 4 桁の数字が指定可能。	P.179
“1. TEL 暗証番号”		“シナイ” ※ “スル”	
“2. テンキー FAX 送信制限”		“シナイ” ※ “スル”	
“3. FAX 番号確認”		“シナイ” ※ “スル”	
“4. 即時ダイヤル制限”		“シナイ” ※ “スル”	
“5. 手動リダイヤル制限”		“シナイ” ※ “スル”	
“6. 手動送信禁止”		“シナイ” ※ “スル”	
“7. 同報送信制限”		“シナイ” ※ “スル”	
“8. ダイヤルタイムアウト”		“スル” ※ “シナイ”	
“9. 相手先確認”	“シナイ” ※ “スル”		

変更した内容は、[セット] ボタンを押したときに登録されます。

■ 各種セキュリティー機能設定について

本機では、予期しない相手にファクスを誤送信しないよう、ファクスの送受信や通話を制限するセキュリティー機能を設定することができます。システム管理設定ブロック内の送信機能制限には、次のメニュー項目があります。

● TEL 暗証番号

電話番号の登録や変更のための暗証番号が登録できます。暗証番号を知らない人は電話番号の登録や変更ができなくなります。テンキーを使って4桁の数値が指定可能です。



- 電話番号の登録や変更操作を制限するには、暗証番号の登録が必要です。
- TEL 暗証番号を登録したときは、忘れないようご注意ください。忘れてしまった場合は、電話番号の登録や変更ができなくなります。

● テンキー FAX 送信制限

テンキーでのダイヤルをすべて禁止します。

● FAX 番号確認

テンキーを使ってダイヤルした場合の誤送信を少なくするため、同じ電話番号を2回入力してからファクスを送信するように設定できます。

電話番号を入力し [スタート / コピー] ボタンまたは [セット] ボタンを押すと、電話番号をもう一度入力するよう表示されます。1回目と同じ電話番号を正しく入力し [スタート / コピー] ボタンを押すと、原稿が読み込まれ送信が始まります。



- 2回目の電話番号の入力を間違えた場合は、1回目の入力からやり直してください。
- テンキー FAX 送信制限が“スル”に設定されていると、ここでの設定にかかわらず、テンキーでのファクス送信ができなくなります。

● 即時ダイヤル制限

私用電話などの防止のため、オプションのハンドセットや電話機を接続していても、電話をかけられないようにします。



- 電話を受けることはできます。
- [オンフック] ボタンを押したり、ハンドセットや受話器をあげても、回線使用中ランプは点灯しません。

● 手動リダイヤル制限

[リダイヤル] ボタンでのダイヤル (手動リダイヤル) を禁止します。

● 手動送信禁止

手動送信を禁止し、受話器をあげた状態または [オンフック] ボタンを押した状態ではファクスを送信できないようにします。

● 同報送信制限

同報送信を禁止し、複数の相手先を指定した場合にファクスを送信できないようにします。

● ダイヤルタイムアウト

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、[リダイヤル] ボタンで相手先を指定したあと、またはダイヤルボタンで電話番号を指定して [セット] ボタンを押したあと、5 秒（複数の宛先を指定したときは 10 秒）以上経過したときに、原稿のメモリ読み込みを自動的に開始するかどうか選択できます。⇒ P.35, P.51

● 相手先確認

送信時にワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを使ってダイヤルした場合に、電話番号の下 6 桁と相手先のファクスに登録されているユーザ電話番号の下 6 桁を照合し、不一致の場合には送信を中止するように設定できます。

登録／設定内容をリストで確認する

発信元情報やユーザデータの登録／設定内容をリストで確認することができます。ユーザデータリストは、次の手順でプリントできます。

1 レポートの項目を表示させます (レポト)

ワンタッチパネル3を開いて、[レポート] ボタンを押します。

```
レポト  
1. ツウシンカンリ レポト
```

2 ユーザデータの項目を選択します (△▽)

[△] または [▽] ボタンを押して、“3. ユーザデータリスト” を表示させます。

```
3. ユーザデータリスト
```

3 ユーザデータリストをプリントします (○)

[セット] ボタンを押します。

```
レポト シュツリョク チュウ
```

ユーザデータリストのプリントが始まります。

***** ユーザデータリスト *****	
JPN-XX-XX	
***** ユーザデータリスト *****	
2008 02/19 11:25 FAX 01 2345 6789	
キヤノン キョウシヤ	
001	
***** ユーザデータリスト *****	
1. 基本設定	
ユーザ電話番号	01 2345 6789
ユーザ略称	キヤノン キョウシヤ
発信元記録	付ける
発信元記録位置	種々の外に付ける
電話番号マーク	FAX
法取番戻	普通
オフフック アラーム	鳴らす
音量	
呼出音量	2
キータッチ音量	1
アラーム音量	2
通話音量	2
回線種類	プッシュ回線
特番登録	しない
2. レポート設定	
送信結果レポート	エラー時にづ
送信原稿	付ける
受信結果レポート	プリント
通信管理レポート	
自動プリント	しない
指定時刻プリント	しない
送信速度	YYYY NN/DD
送信スタートスピード	3300bps
受信スタートスピード	3300bps
FISスイッチ	しない
送信機能制限	
テンキーFAX送信制限	しない
FAX番号確認	しない
即時ダイヤル制限	しない
手動リダイヤル制限	しない
手動送信禁止	しない
同報送信制限	しない
ダイヤルタイムアウト	する
相手先確認	しない
全メモリ容量	XX MByte

通信結果の確認

送信や受信の結果は各種レポートをプリントすることによって確認できます。

通信管理レポート

送受信の結果は、通信管理レポートで確認することができます。通常、通信管理レポートは40通信終了するごとに自動的にプリントされるように設定されています。また、次の操作で、いつでもプリントすることができます。

1 通信管理レポートをプリントします

- ① ワンタッチパネル3を開いて、[レポート] ボタンを押します。

レポ ート
1. ツウシンカンリ レポ ート

- ② [セット] ボタンを押します。

レポ ート シュツリョク チュウ

参考

- 40通信より以前のもは、確認することができません。あとで記録が必要になることがある場合は、プリントされた通信管理レポートを大切に保管してください。
- [レポート] ボタンを使った操作で、通信予約リスト（ポーリング受信・タイマー送信）をプリントすることができます。次の手順で操作してください。
 - 通信予約リスト（ポーリング受信）
[レポート] → [∧] または [V] → “4. ツウシンヨヤク リスト” → [セット] → “1. ポーリング ジュシン” → [セット]
 - 通信予約リスト（タイマー送信）
[レポート] → [∧] または [V] → “4. ツウシンヨヤク リスト” → [セット] → [V] → “2. タイマー ソウシン” → [セット]

通信管理レポートがプリントされます。

開始時刻	相手の電話番号	相手先略称	番号	通信モード	枚数	通信結果
02/15 14:53	55079 1111		0312	ボ-リング受信 G3	0	NG 00'00 0 STOP
02/15 14:55	55070 1111		0313	ボ-リング受信 ECM	1	OK 00'25
02/15 14:58	55049	キヤンFAX	5013	自動受信 ECM	1	OK 00'31
02/15 14:59	55049	キヤンFAX	5015	自動受信 ECM	1	OK 00'31
02/15 15:00			0314	タイマ-同報	1	NG 00'00 0 #995
02/15 15:00			0315	タイマ-送信	1	NG 00'00 0 #995
02/15 15:01			5015	自動受信	1	NG 00'00 0 #995
02/15 15:08	55049		0318	送信	0	NG 00'00 0 #018
02/15 15:10	55049	キヤンA	0318	タイマ-同報	0	NG 00'00 0 #018

- **開始時刻**
実際に通信を開始した時刻を示します (* マークは、一度プリントした記録につきます)。
- **相手の電話番号**
相手先の電話番号 (最大 20 桁) を示します。
- **相手先略称**
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている相手先の略称を示します。
- **番号**
0001 ~ 4999 : 送信した順番を表す一連の番号を示します (4999 のあと 0001 に戻ります)。
5001 ~ 9999 : 受信した順番を表す一連の番号を示します (9999 のあと 5001 に戻ります)。
- **通信モード**
送受信の種類、通信モード、使用した機能を示します。
- **枚数**
通信が終了した原稿枚数を示します。通信の途中でエラーが発生した場合、エラー原稿の枚数も含まれます。
- **通信結果**
OK : 正常終了
NG : エラー終了
STOP : 通信中に [ストップ] ボタンが押されたことを示します。
通信時間 : 通信に要した時間を示します。
エラーコード : エラーの種別を示します。
エラーページ : 何枚目でエラーが発生したかを示します。

 参考

- 40 通信終了しても通信管理レポートを自動的にプリントしないように設定することもできます。⇒ P.166
- 時刻を指定して、毎日、特定の時刻に通信管理レポートをプリントするように設定することもできます。⇒ P.166
- ボーリング受信には 0001 ~ 4999 の番号がつきます。
- 転送 (⇒ P.133) のときは、原稿受け付け時の番号 (5001 ~ 9999) が、送信時にもそのまま使用されます。
- 受信した相手先の電話番号としてレポートにプリントされるのは、相手先が登録している発信元の番号です。相手先が使用している契約回線の番号とはかぎりません。
- 送信中はレポートのプリントに時間がかかることがあります。

● 送信結果 / 受信結果の分離プリント

次のように、送信結果と受信結果を分けてプリントするように設定することができます。⇒ P.166

2008 02/15 16:21 FAX 03 1234 5678 キヤノン ネットワーク 001						
***** *** 通信管理レポート (送信) *** *****						
開始時刻	相手の電話番号	相手先略称	番号	通信モード	枚数	通信結果
02/15 14:25	55049	キヤノンFAX	0297	送信 G3	1	OK 00'36
02/15 14:27	55049	キヤノンFAX	0301	送信 G3	1	OK 00'36
02/15 14:30	55049	キヤノンFAX	0302	ダイヤル送信 G3	1	OK 00'35
02/15 14:40	55049	キヤノン	0310	同報送信	0	NG 00'00
					0	#018
02/15 14:41	55053	キヤノン34	0310	同報送信 ECM	1	OK 00'14
02/15 14:42	55070	キヤノン134	0310	同報送信 ECM	1	OK 00'17
02/15 15:00			0314	ダイヤル同報	1	NG 00'00
					0	#895
02/15 15:00			0315	ダイヤル送信	1	NG 00'00
					0	#895
***** *** 通信管理レポート (受信) *** *****						
開始時刻	相手の電話番号	相手先略称	番号	通信モード	枚数	通信結果
02/15 14:42	55049	キヤノンFAX	5011	自動受信 ECM	1	OK 00'31
02/15 14:46	55049	キヤノンFAX	5012	自動受信 ECM	1	OK 00'31
02/15 14:52	55070		0311	ボウリング受信 ECM	0	NG 00'09
					0	#021
02/15 14:53	55079		0312	ボウリング受信 G3	0	NG 00'00
	1111				0	STOP

送信結果レポート

お買い上げ時は、送信結果レポート（エラー送信レポート）はエラー発生時のみプリントするように設定されていますが、プリントしないように設定したり、送信を終了することにプリントするように設定することができます。⇒ P.166

- メモリ送信時の送信結果レポートに原稿の一部を記録するように設定することもできます。⇒ P.166

```
2008 02/15 14:27 FAX 03 1234 5678          キヤノン ホンダ          001

*****
*** 送信結果レポート ***
*****

次の送信は正しく終了しました

受付番号          0301
相手の電話番号    55049
Fコード
相手先略称        キヤノンFAX
開始時刻          02/15 14:27
通信時間          00'36
枚数              1
通信結果          OK

THE SLEREXE COMPANY LIMITED
SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH20
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - 77
```

原稿の一部を記録するように設定したとき（エラーのときも記録できます）

```
2008 02/15 14:38 FAX 03 1234 5678          キヤノン ホンダ          001

*****
*** エラー送信レポート ***
*****

次の送信はエラー終了しました

受付番号          0309
相手の電話番号    55049
Fコード
相手先略称        キヤノンFAX
開始時刻          02/15 14:38
通信時間          00'00
枚数              0
通信結果          NG          #018 話し中でした
```

- 受付番号
送信した順番を表す一連の番号を示します。
- 相手の電話番号
送信先の電話番号を示します。
- Fコード
Fコードを指定したときプリントします。
- 相手先略称
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている相手先略称を示します。
- 開始時刻
実際に通信を開始した時刻を示します。
- 通信時間
通信に要した時間を示します。
- 枚数
正常に通信が終了した原稿枚数を示します。
- 通信結果
OK：正常終了
NG：エラー終了
エラーコード：エラーの種別を示します。

マルチ通信結果レポート

送信結果レポートをプリントするように設定されている場合、同報送信を行うと次のようなマルチ通信結果レポートがプリントされます。

```
2008 02/15 14:42 FAX 03 1234 5678          キヤノン ホンジャ          001
*****
***** マルチ通信結果レポート *****
*****
  受付番号          0310
  枚数              1
  未通信相手先    [ 35155049          キヤノンA
  終了相手先      [e034]55053        キヤノン34
                  [s134]55070        キヤノン134
  エラー相手先    -----
```

- 受付番号
送信した順番を表す一連の番号を示します。
- 枚数
メモリに読み込んだ原稿枚数を示します。
- 未通信相手先
まだ通信が終了していない相手先の電話番号を示します。
- 終了相手先
通信が正常に終了した相手先の電話番号を示します。
- エラー相手先
通信できなかった相手先の電話番号を示します。

受信結果レポート

お買い上げ時は、受信結果レポートはプリントされないように設定されていますが、受信を終了することにプリントするように設定し直すことができます。⇒ P.166

```
2008 02/15 14:44 FAX 03 1234 5678          キヤノン ホンジャ          001
*****
***** 受信結果レポート *****
*****
  次の受信は正しく終了しました
  受付番号          5011
  相手の電話番号    55049
  Fコード
  相手先略称        キヤンFAX
  開始時刻          02/15 14:42
  通信時間          00'31
  枚数              1
  通信結果          OK
```

- 受付番号
受信した順番を表す一連の番号を示します。
- 相手の電話番号
相手先の電話番号（最大 20 桁）を示します。
- Fコード
Fコードを指定したときプリントします。
- 相手先略称
相手先のファクスから通知された略称を示します。
- 開始時刻
実際に通信を開始した時刻を示します。
- 通信時間
通信に要した時間を示します。
- 枚数
正常に通信が終了した原稿枚数を示します。エラーが起きた場合は、エラーが起きたページ番号を示します。
- 通信結果
OK：正常終了
NG：エラー終了
エラーコード：エラーの種別を示します。



参考

受信エラーが発生したときだけレポートをプリントするように設定することもできます。⇒ P.166

メモリクリアリスト

停電などにより電源が切れたままの状態です約 30 分経過すると、メモリ内の原稿はクリアされてしまいますが、本機には、クリアされた原稿のリストを自動的にプリントする機能があります。電源を入れたとき、次のようなメモリクリアリストがプリントされます。

2008 02/18 08:29 FAX 03 1234 5678		キヤノン ホンシャ		001	
***** *** メモリクリアリスト *** *****					
次の通信予約またはメモリはクリアされました					
受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻
0336	タイマー同報	1 881グループA	1	02/15 16:43	20:00
0337	タイマー送信	55050	1	02/15 16:44	23:00

- 受付番号
送受信した順番を表す一連の番号を示します。
- 通信モード
送受信の種類、通信モード、使用した機能を示します。
- 相手先
送信時はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている相手先の略称、電話番号を示します。
受信時は相手先のファクスから通知された略称、電話番号を示します。
- 枚数
メモリに読み込まれた原稿の枚数を示します。
- 受付時刻
通信を受け付けた時刻を示します。
- 開始時刻
送信時に、送信予約時刻を示します。

参考

- 本機に内蔵されているバックアップ電池は完全に充電しておくようにしてください。充電するためには、本機の電源を 30 分以上連続で入れておく必要があります。バックアップ電池が完全に充電されていないときは、電源が切れている状態が 30 分以内でも、メモリ内の原稿がクリアされてしまうことがあります。
- 電源が切れても、メモリ内の原稿がクリアされずに保持されていた場合は、メモリクリアリストはプリントされません。

お手入れ

本体のお手入れ

本体は、柔らかい布で拭いてください。水を含ませて固く絞った布で汚れを落としたあと、から拭きしてください。

▲ 注意

- 清掃のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。⇒ P.17
- 清掃のときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性有機溶剤が本体内部の電気部品に接触したり、揮発ガスが本機内に充満すると火災・感電の原因になります。

▼ 重要

電源を切ると、約 30 分でメモリ内の原稿はクリアされてしまいます。ただし、すべての登録内容は保存されています。清掃が終了したら電源を入れてください。

内部の清掃

本機の内部をときどき清掃し、きれいな状態にしておいてください。

本機の内部が汚れていると、送信原稿の画像やコピーに汚れがプリントされたり、記録紙を出力するとき裏に汚れが付着することがあります。

▲ 警告

原稿読み取り白地部や原稿搬送ローラ、記録部などを清掃するときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性有機溶剤が本体内部の電気部品に接触したり、揮発ガスが本機内に充満すると火災・感電の原因となることがあります。

▼ 重要

- 原稿読み取り白地部や原稿搬送ローラ、記録部などは、濡れた布で拭かないでください。
- ティッシュペーパーは使用しないでください。チリが付着したり静電気が発生します。

■ 原稿読み取り部と搬送部の清掃

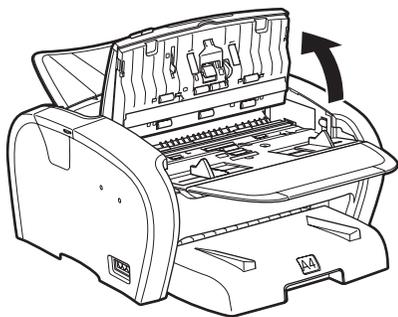
読み取りガラスや原稿搬送ローラなどに汚れが付着すると、送信原稿の画像やコピーに汚れがプリントされてしまいます。次の手順に従って、ときどき清掃してください。

▲ 注意

原稿読み取り白地部や原稿搬送ローラなどを清掃するときは、電源を切ってください。電源を切らずに清掃すると、火災や感電の原因となることがあります。⇒ P.17

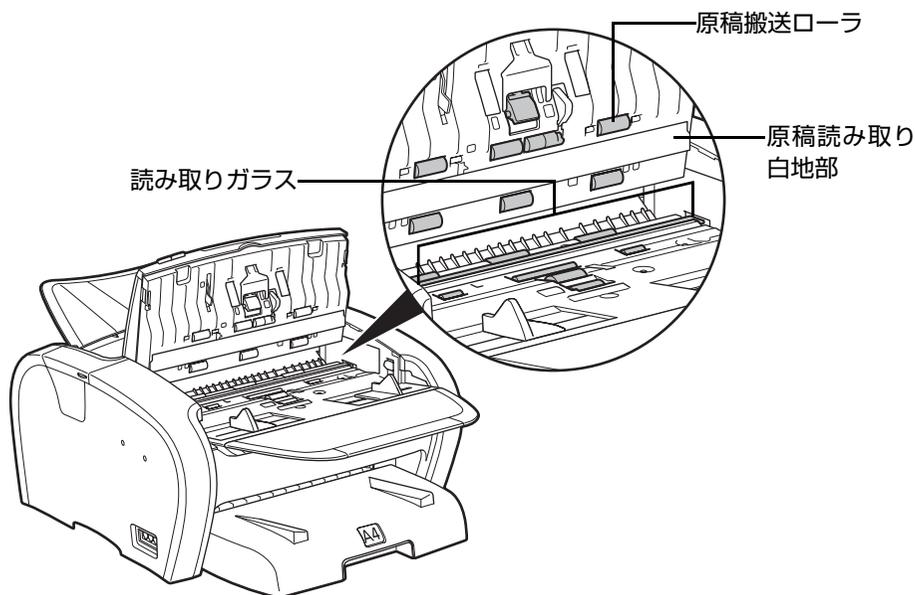
1 操作パネルを開きます

操作パネルの手前の部分を持って、上に開いてください。



2 読み取りガラスや原稿搬送ローラなどを清掃します

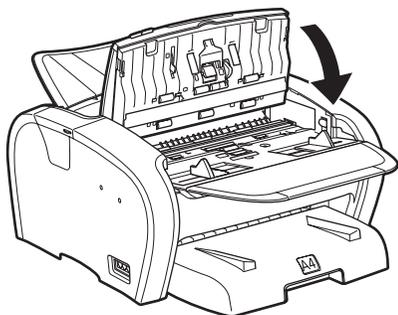
操作パネルを手で支えながら、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。



原稿搬送ローラを清掃するときに、手で直接さわったり、ローラを回したりしないでください。

3 操作パネルを閉じます

操作パネルの中央部を押し、カシャッという音がするのを確認してください。



電源を切ると、約 30 分でメモリ内の原稿はクリアされてしまいます。ただし、すべての登録内容は保存されています。清掃が終了したら電源を入れてください。

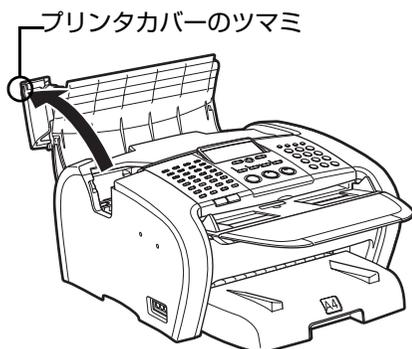
■ 記録部の清掃

記録紙がつまると、プリンタが汚れ、記録紙を出力するとき裏に汚れが付着することがあります。次の手順に従って、ときどき清掃してください。

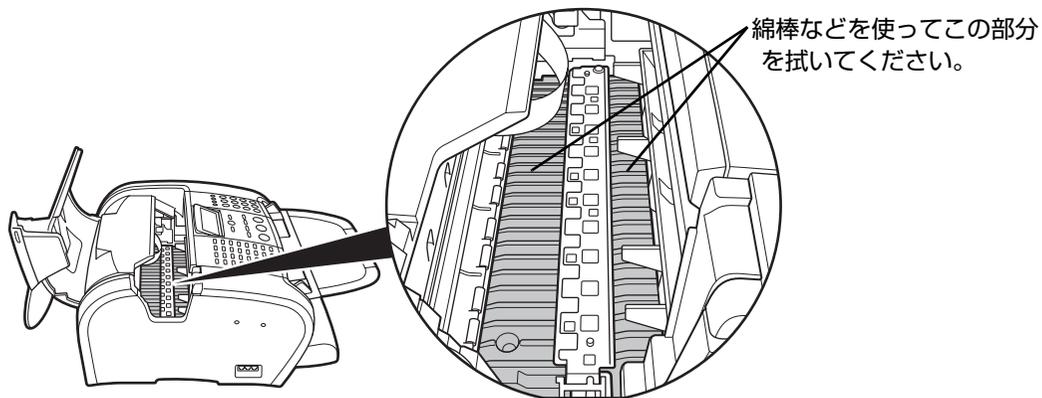


記録部を清掃するときは、電源を切ってください。電源を切らずに清掃すると、火災や感電の原因となることがあります。⇒ P.17

1 プリンタカバーのつまミを持ってプリンタカバーを開けます



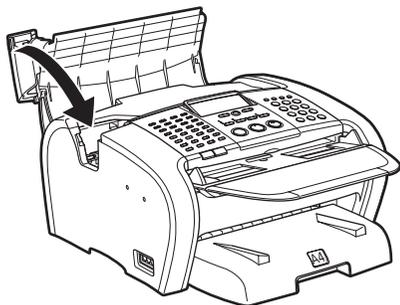
2 記録部を清掃します



重要

記録部を清掃するときは、プリンタケーブルに触れないでください。⇒ P.203

3 プリンタカバーのツマミを持ってプリンタカバーを閉めます



重要

電源を切ると、約 30 分でメモリ内の原稿はクリアされてしまいます。ただし、すべての登録内容は保存されています。清掃が終了したら電源を入れてください。

■スタンプインクの補充

送信済みまたは読み込み済みの原稿に押されるスタンプが薄くなってきたら、次の手順でスタンプインクを補充してください。

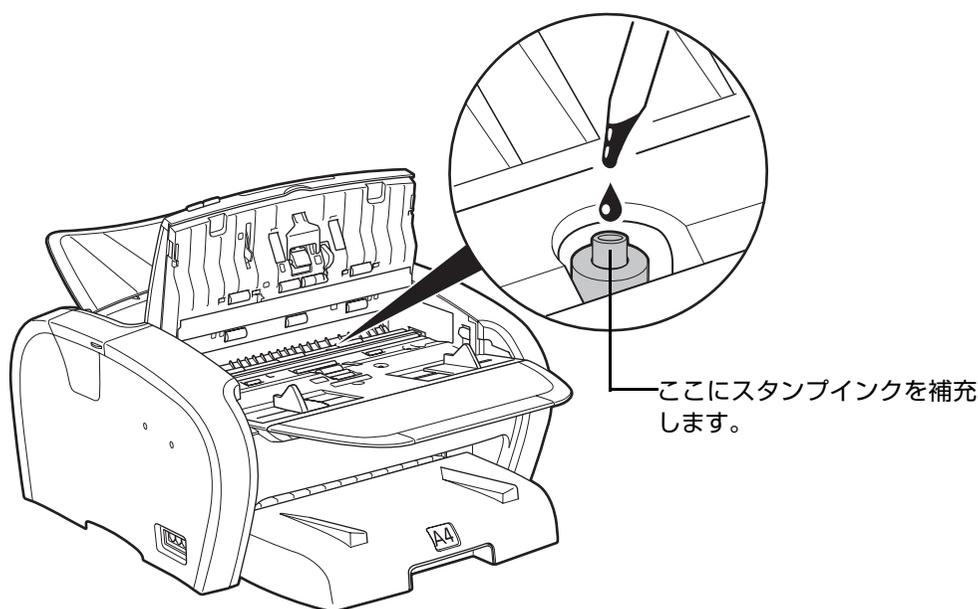
▲ 注意

スタンプインクを補充するときは、電源を切ってください。電源を切らないでインクを補充すると、感電の原因となることがあります。⇒ P.17

1 操作パネルを開きます⇒ P.189

2 スタンプインクを補充します

図の位置に上からインクを1滴たらして補充してください。



▲ 注意

イラストで示した補充場所以外のところにスタンプインクをこぼさないように注意してください。発煙の原因となることがあります。

3 操作パネルを閉じます

操作パネルの中央部を押し、カシャッという音がするのを確認してください。

重要

- 電源を切ると、約30分でメモリ内の原稿はクリアされてしまいます。ただし、すべての登録内容は保存されています。スタンプインクの補充が終了したら電源を入れてください。
- インクがしみこむまで多少時間がかかります。補充後、1時間程度たってからご使用ください。
- インクは別売品の「シヤチハタ X スタンパー補充インキ Y-30 (イエロー、染料系)」と指定して、お近くの文具店でお買い求めください。

■ 本体を移動するには

本体は、次の手順に従って移動してください。

1 本体右側の電源スイッチを“○”（OFF）にします⇒ P.17

2 電源コンセントから電源コードのプラグを抜きます

3 モジュージャックコードを電話回線接続端子から抜きます

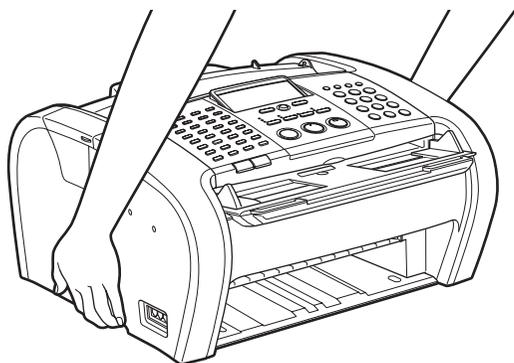
移動先で使用するときは、壁側のモジュージャックコンセントからもモジュージャックコードを抜いてください。

4 原稿台、原稿トレイ、記録紙カセットを取り外します

5 オプションのハンドセットを取り付けている場合は、ハンドセットとハンドセット置き台を取り外します

6 本体を移動します

図で示した部分をしっかりと持ち、移動してください。



- 持ち運ぶときは、本機を傾けたりせず、水平の状態を保ったままで移動してください。

▲ 注意

- 移動させる場合は、本機の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、モジュージャックコードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。⇒ P.16, P.17
- 本機を持ち運ぶときは、必ず図で示された場所を持ってください。本機を落として、けがの原因となることがあります。

記録紙を補給する

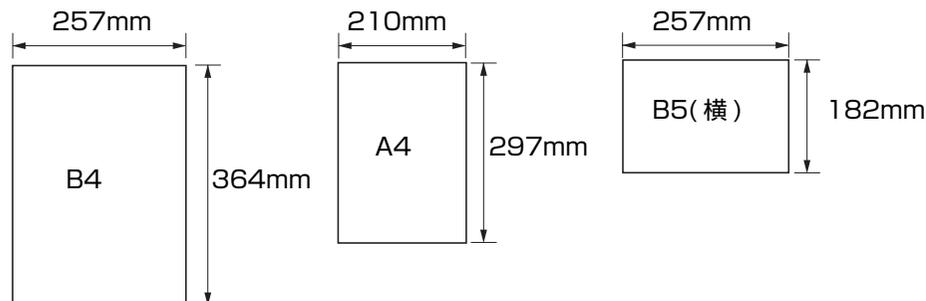
記録紙は、ディスプレイに“キロクシガ アリマセン”と表示され、エラーランプが赤く点滅したときに補給してください。記録紙が途中でつまったりしないよう、規定のサイズの記録紙を正しくセットしてください。

セットできる記録紙

記録紙カセットは、記録紙のサイズに合わせてガイドの位置が調整できるユニバーサルカセットです。

記録紙カセットにセットできるのは次のサイズの記録紙です。

- 60～75g/m²の重さの普通紙を使用してください。



推奨紙の紹介

記録紙として下記のキヤノン純正紙をお勧めします。

- PB PAPER GF-500
- スーパーホワイトペーパー SW-101

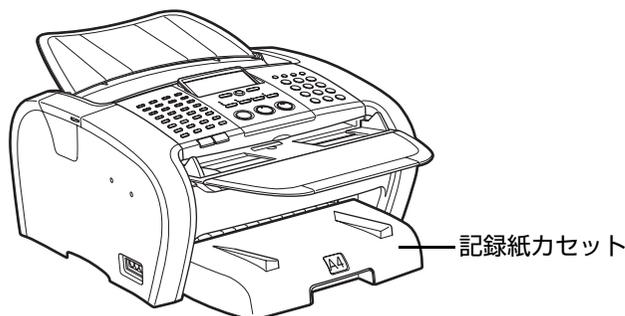
重要

- 記録紙はキヤノンの推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証致しかねますのでご了承ください。
- しわ、折り目のある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- OHP フィルムやカラー紙は使用できません。故障や誤動作の原因になることがあります。

記録紙カセットのセット位置

記録紙カセットは、次の位置にセットします。

本機には、オプションのカセットフィーダをセットすることもできます。詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 記録紙カセットには、200枚（坪量 64g/m²）まで記録紙がセットできます。オプションの記録紙カセット（FXB-カセットフィーダ 2）をセットしている時には、いずれかの記録紙カセットをレポートプリント用の記録紙カセットとして指定することもできます。⇒ P.166

* 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を 150 枚程度に減らしてください。

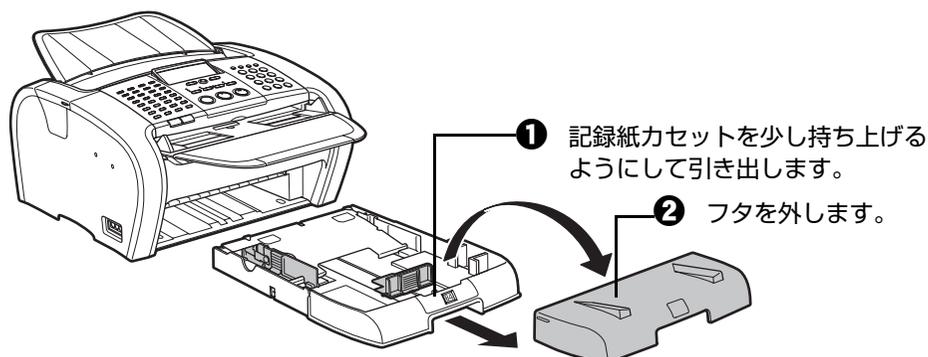
重要

オプションの記録紙カセットをセットした場合でも、本体の上段記録紙カセットは必ずセットしてください。オプションの記録紙カセットだけをセットした状態では、原稿を受信しても記録紙がつかったり、エラーになったりすることがあります。

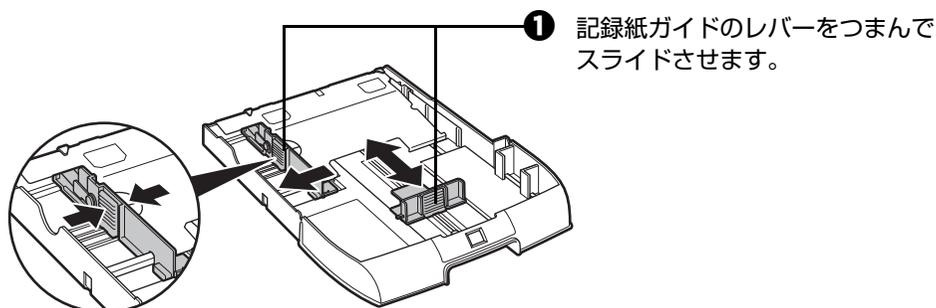
記録紙カセットに記録紙をセットするには

- プリント中には、記録紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因となることがあります。

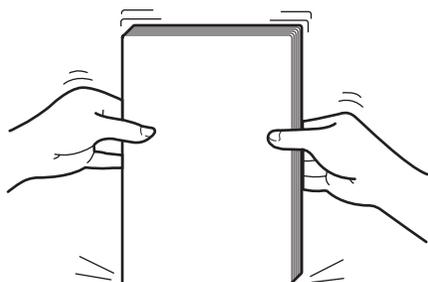
1 記録紙カセットを引き出し、フタを外します



2 記録紙のサイズに合わせて記録紙ガイドをスライドさせます



3 記録紙の左右と先端をそろえます



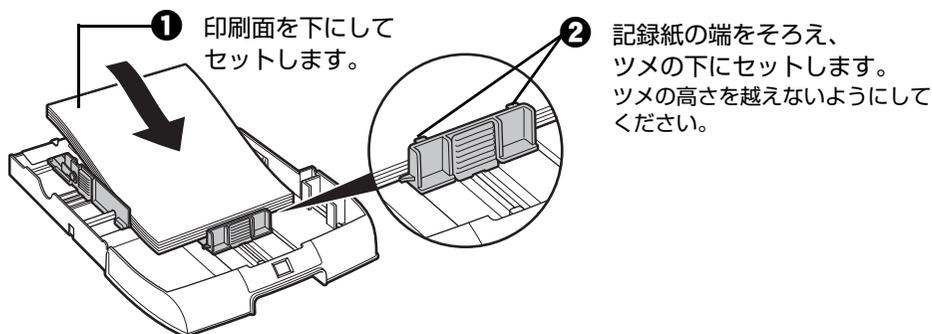
▲ 注意

記録紙を補給するときは、記録紙の端で手を切ったりしないように注意して扱ってください。

▼ 重要

残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。

4 記録紙をセットします

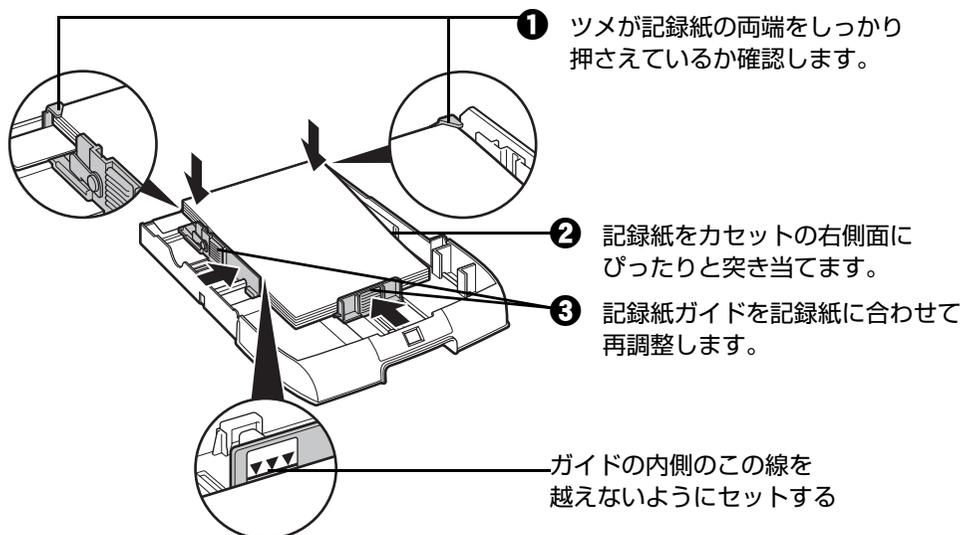


▼ 重要

記録紙カセットには、200枚（坪量64g/m²）まで記録紙がセットできます。

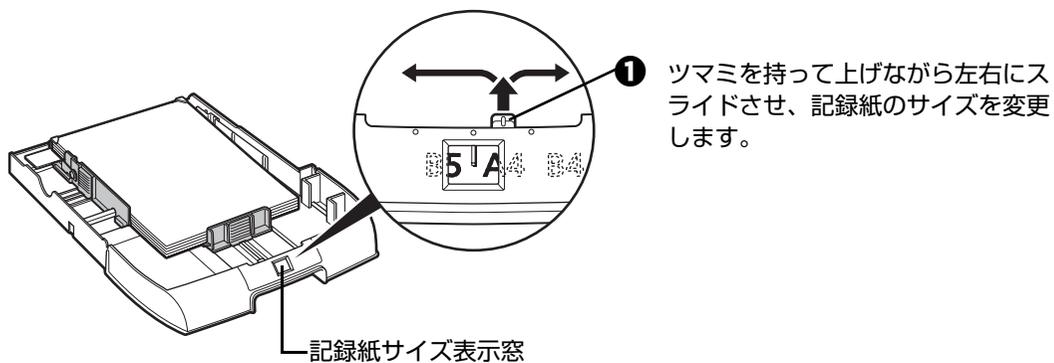
ただし、用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を150枚程度に減らしてください。

5 セットした記録紙の先端を上から押さえます

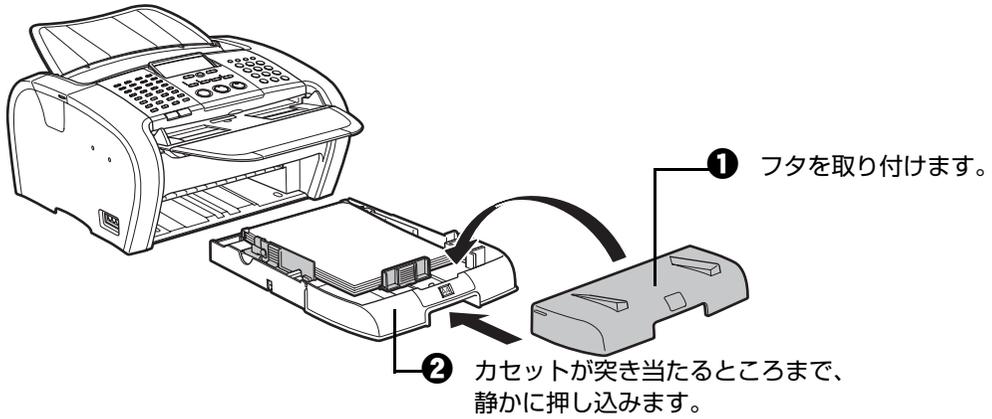


目盛りの線を越えて記録紙をセットすると、故障の原因となることがあります。注意してください。

6 表示板をセットした記録紙のサイズに合わせます



7 フタを取り付け、記録紙カセットを戻します



重要

- 記録紙カセットのフタは必ず取り付けてください。フタを外したままで記録紙にプリントすると、プリントの途中で記録紙が詰まる場合があります。
- 記録紙カセットは、きちんと元に戻してください。中途半端な位置にセットすると、記録紙のサイズを正しく検知できない場合があります。

参考

記録紙が極端にカールする場合は、記録紙の表裏の面を逆にセットし直してみてください。

FINE カートリッジのセットと交換

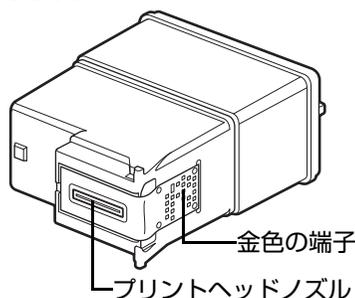
FINE カートリッジのインクが少なくなると、ディスプレイに“カートリッジノコウカンヲオススメシマス”と表示され、エラーランプが赤く点滅します。⇒P.106

FINE カートリッジを次の手順で交換してください。

FINE カートリッジの交換

重要

- FINE カートリッジに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本機の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下や FINE カートリッジの故障の原因となることがあります。非純正インクのご使用はお勧めしません。
- 非純正インクカートリッジまたは非純正インクを使用したことによる不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- FINE カートリッジの金色の端子やプリントヘッドノズルには、手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。

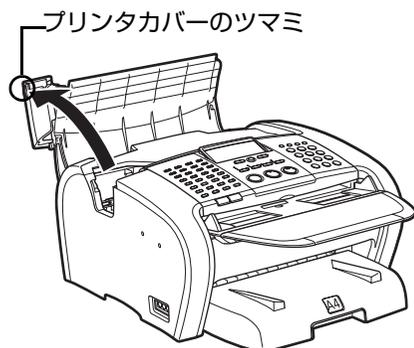


- クリーニングなど、お手入れを行っても印刷結果が改善されない場合は、インクがなくなっています。インクがなくなったときは FINE カートリッジを交換してください。FINE カートリッジの型番を間違えると印刷できません。
- 本機で使用できる FINE カートリッジの番号については、本書の裏表紙を参照してください。
- FINE カートリッジの交換はすみやかに、FINE カートリッジを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用 FINE カートリッジは新品のものを装着してください。取り外されていたものを装着すると、ノズルの目づまりなどが原因で正しく印刷できないことがあります。また、インク残量を正しく表示できません。
- 最適な印刷品質を保つため、FINE カートリッジは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本機に取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（本機に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

FINE カートリッジは、本機の電源を入れた状態で取り付けてください。

1 プリンタカバーのつまみを持ってプリンタカバーを開けます

FINE カートリッジホルダが、自動的に FINE カートリッジの交換位置に移動します。



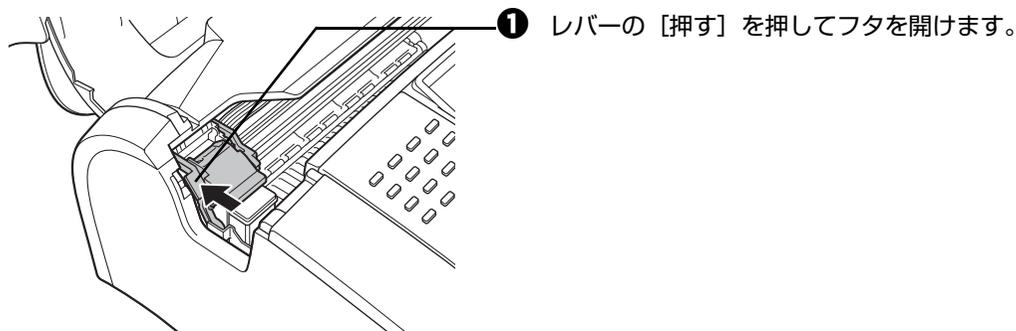
▲ 注意

本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。

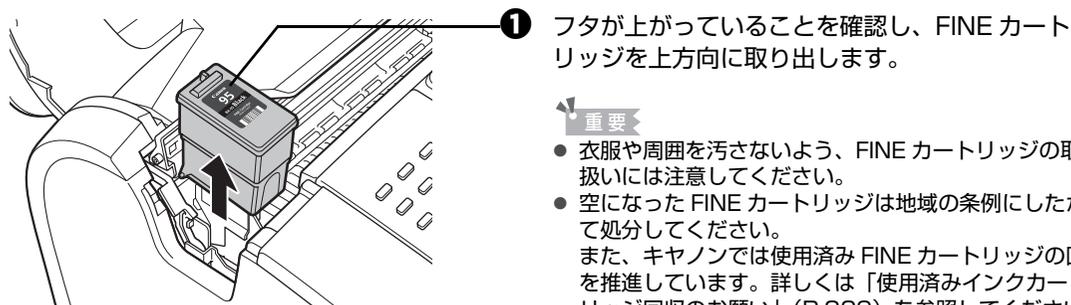
▼ 重要

- FINE カートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。
- FINE カートリッジホルダが右側へ戻っている場合は、いったんプリンタカバーを閉じ、開け直してください。

2 フタを開けます



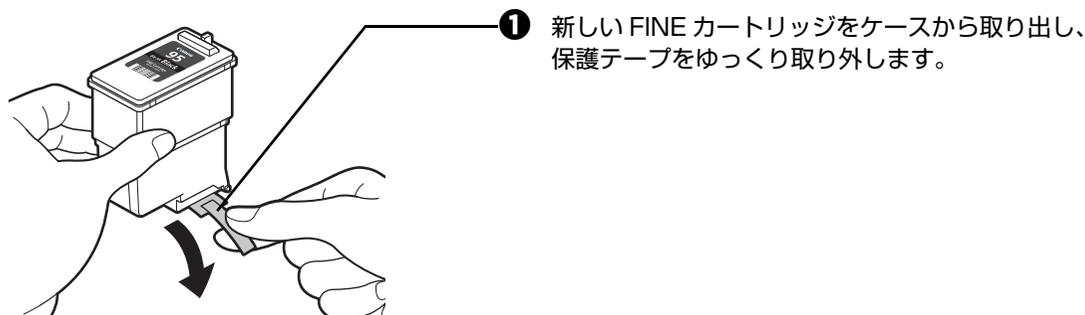
3 使い終わった FINE カートリッジを取り外します



▼ 重要

- 衣服や周囲を汚さないよう、FINE カートリッジの取り扱いには注意してください。
 - 空になった FINE カートリッジは地域の条例にしたがって処分してください。
- また、キヤノンでは使用済み FINE カートリッジの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」(P.229) を参照してください。

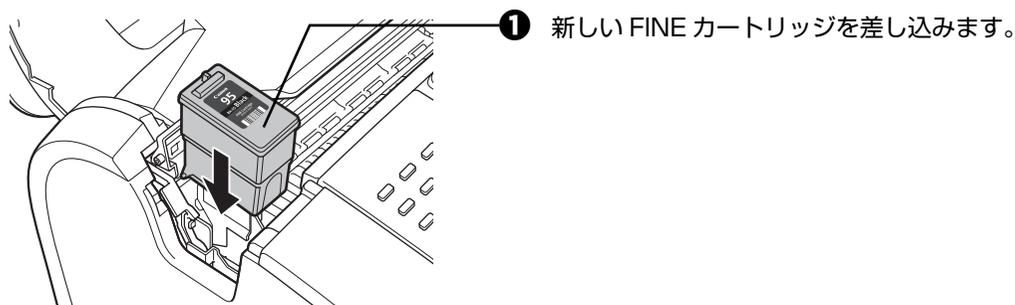
4 新しい FINE カートリッジを準備します



重要

- FINE カートリッジを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。
- FINE カートリッジを振るとインクが飛び散り、手や周りのものを汚す恐れがあります。FINE カートリッジの取り扱いには注意してください。
- 取り外した保護テープに付いているインクで、手や周りのものを汚す恐れがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護テープは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。
- FINE カートリッジの金色の端子やプリントヘッドノズルには、手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。
- FINE カートリッジを洗淨したり、拭いたりしないでください。

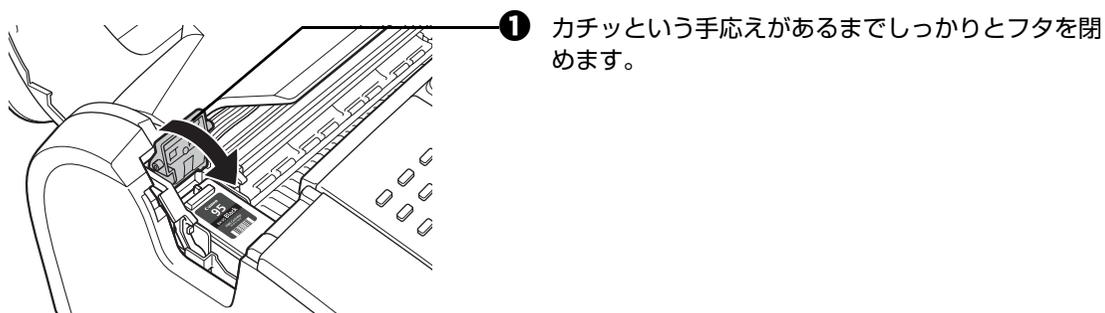
5 新しい FINE カートリッジを取り付けます



重要

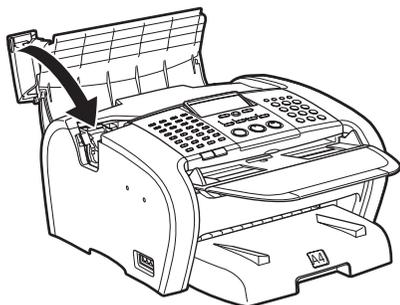
FINE カートリッジを製品に取り付ける場合には、FINE カートリッジホルダの周囲に FINE カートリッジをぶつけることなく、注意して FINE カートリッジホルダにセットしてください。

6 フタを閉めます



7 プリンタカバーのツマミを持ってプリンタカバーを閉めます

プリンタカバーを閉めると、FINE カートリッジのクリーニング動作を行います。“カートリッジヨ イドウシマス シバラク オマチクダサイ” というメッセージが消え、待機状態になるまでしばらくお待ちください。



参考

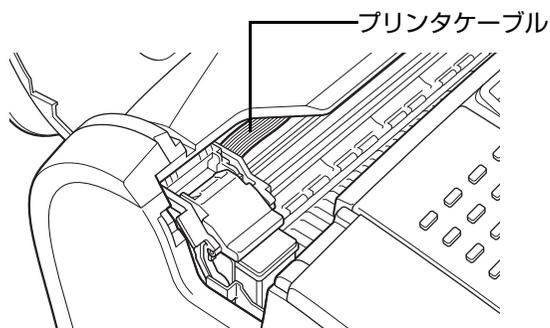
- プリントした原稿に白いスジがあるときは、クリーニングしてください。⇒ P.204
- FINE カートリッジのインクを節約するように設定できます。⇒ P.173 (エコノミー記録)

プリンタに関するその他の注意

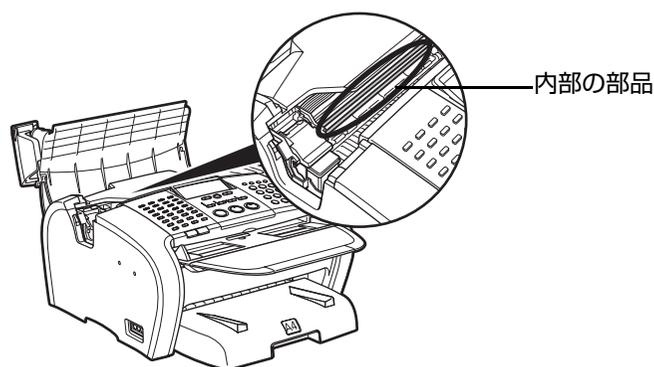
プリンタを正常に機能させるために、次のことに注意して使用してください。

重要

- 印字中にプリンタカバーを開けないでください。
- プリンタケーブルには触れないでください。ケーブルが折れたり曲がったりすると正しくプリントできなくなります。



- プリントの途中で電源を切らないでください。FINE カートリッジが右側のホームポジション以外にあるときに電源を切ると、プリントヘッドノズルが乾いてプリントできなくなります。
- プリント終了直後の記録紙に触れると、インクで手が汚れることがあります。ご注意ください。
- プリント後の記録紙に水などの液体がかかるとインクがにじむことがあります。ご注意ください。
- プリンタの内部の部品には触れないでください。プリンタがスムーズに機能するために塗ってあるグリース（油）が手に付着します。



参考

使用状況によっては、本体のインク吸収体がいっぱいになりインクがあふれてしまうことがあります。インク吸収体に関するエラーメッセージが表示された場合は、「ディスプレイに表示されるメッセージ」(P.214)を参照の上、お買い上げの販売店にご相談ください。

プリントヘッドのメンテナンス

FINE カートリッジのプリントヘッド部分にはノズルがあり、インクはノズルを通して記録紙に吹きつけられます。印刷の結果が思わしくないときは、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。

ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認したあとに、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にすることができます。



重要

プリントヘッドのノズル部分を洗淨したり、拭いたりしないでください。プリントヘッドを損傷するおそれがあります。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのクリーニングを行う前に、プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷してください。

1 本機の電源が入っている事を確認し、記録紙カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします⇒ P.195

2 ワンタッチパネル 3 を開いて、【メンテナンス】 ボタンを押します (メンテナンス)

メンテナンスモード*
1. ヨミトリブ ショキカ

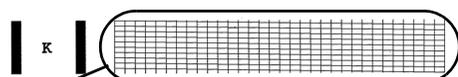
3 【∧】 または 【∨】 ボタンを押して、“2. ノズル チェック” を表示させます (∧ ∨)

2. ノズル チェック

4 【セット】 ボタンを押します (セット)

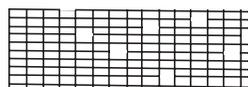
“ノズル チェック” と表示されたあと、パターンの印刷が始まります。

5 印刷されたパターンを確認します



欠けがある場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。

線が欠けている場合



プリントヘッドをクリーニングする

印刷されたノズルチェックパターンを確認し、パターンに欠けがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。プリントヘッドをクリーニングすると、使用したインクが本機内部のインク吸収体に吸収されます。

1 ワンタッチパネル 3 を開いて、【メンテナンス】 ボタンを押します (メンテナンス)

メンテナンスモード*
1. ヨミトリフ ショキカ

2 【△】 または 【▽】 ボタンを押して、“3. クリーニング” を表示させます (△▽)

3. クリーニング*

3 【セット】 ボタンを押します (セット)

“クリーニング” と表示されたあと、クリーニングが始まります。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 50 秒かかります。



参考

- クリーニングを 2 回まで繰り返し行っても印刷結果が改善されないときには、強力クリーニングを行ってください。
- クリーニングを行ったあとで、再度ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングによってパターンの欠けがなくなったかどうか確認してください。⇒ P.204
- クリーニングを行うと少量のインクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを 2 回まで行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングを行うと、使用したインクがインク吸収体に吸収されます。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 ワンタッチパネル 3 を開いて、【メンテナンス】 ボタンを押します (メンテナンス)

メンテナンスモード*
1. ヨミトリフ ショキカ

2 【△】 または 【▽】 ボタンを押して、“4. キョウリョク クリーニング” を表示させます (△▽)

4. キョウリョク クリーニング*

3 【セット】 ボタンを押します (○)

“キョウリョク クリーニング” と表示されたあと、強力クリーニングが始まります。

強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 70 秒かかります。



- クリーニングを行ったあとで、再度ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングによってパターンの欠けがなくなったかどうか確認してください。⇒ P.204
- 強力クリーニングを行っても印刷結果が思わしくない場合は、新しい FINE カートリッジに交換してください。⇒ P.199

■ プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、プリントヘッド位置を調整してください。

1 記録紙カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします⇒ P.195

2 ワンタッチパネル 3 を開いて、【メンテナンス】 ボタンを押します (メンテナンス)

メンテナンスモード*
1. ヨミトリブ* ショキカ

3 【∧】 または 【∨】 ボタンを押して、“5. ヘッドイチ チョウセイ” を表示させます (△▽)

5. ヘッド* イチ チョウセイ

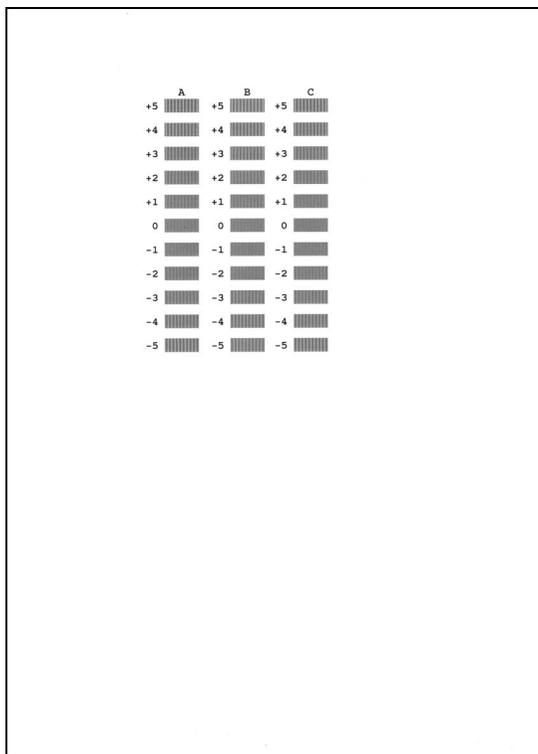


“6. ヘッドイチチョウセイイチ インサツ” を表示させ、【セット】 ボタンを押すと、現在の調整値を印刷できます。

4 【セット】 ボタンを押します (○)

“ヘッドイチ チョウセイ” と表示されたあと、ヘッド位置調整パターンの印刷が始まります。

5 ヘッド位置調整パターンが印刷されます



6 印刷されたパターンを見ながら、プリントヘッドの位置を調整します

- ① 以下のような画面が表示されたら、[<] または [>] ボタンを押して、A 列で最もすじが目立たないパターンを選択し、[セット] ボタンを押します。



- ② B 列と C 列についても同様に、最もすじが目立たないパターンを選択します。



パターンが均一にならないときには、白いすじが最も目立たないパターンを選択します。



最もすじが目立たない例



すじが目立つ例

- ③ A 列から C 列まで、すべてのパターンを選択し終わると、本機は待機状態に戻ります。



本機の電源を切るときは、必ずメンテナンスモードの「プリンタ パワー オフ」をしてから電源スイッチを“○” (OFF) にしてください。⇒ P.17

電源コードを抜いて電源を切ると、プリントヘッド位置の調整結果が失われてしまいます。

第10章 困ったときは

停電があったときには

停電などで急に電源が切れた場合でも、ユーザデータの設定内容やワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの登録内容は内蔵されている電池で保持されます。メモリに記憶された送受信画像も約30分間は保持されます（バックアップ機能）。

停電中の制限事項

停電中、本機の機能は、次のように制限されます。

- 原稿のコピーや送信だけでなく、受信することもできません。
- オプションのハンドセットで電話をかけることはできません。電話機を接続してご使用の場合、電話をかけることができます。
- 電話がかかってきたときは、オプションのハンドセットでも、接続している電話機でも電話が受けられます。

データの保存について

停電中や電源が切れたときでも、本機のデータは、次のような条件で保持されます。

- メモリに記憶している送信原稿や受信原稿の画像データは、約30分間保持されます。30分以上電源が切れた状態になっていて、画像データが消えてしまった場合は、電源が入ってからメモリクリアリストをプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。⇒P.187
ただし、記録紙が切れているときは、メモリクリアリストはプリントされません。
- ユーザデータの設定内容やワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの登録内容は、内蔵されているリチウム電池で保持されます。



参考

メモリに記憶している原稿の量が多い場合、停電復旧後、電源が入ってから正常に動作するまでに時間がかかります（約3分）。

バックアップ電池の充電について

電源が切れたとき、画像データを約30分間保持するようには、バックアップ電池を十分に充電しておく必要があります。

十分に充電するには、常温常湿の環境で、最低でも30分間連続で本機の電源を入れたままの状態にしてください。

- 頻繁に電源を入れたり切ったりすると、十分に充電されないだけでなく、バックアップ電池の寿命も短くなってしまいます。電源は常に入れた状態にしておくことをお勧めします。
- 本機は5～35℃の温度、10～90%の湿度の環境で正常に動作するように設計されていますが、暑い場所や寒い場所では、データ保持の時間やバックアップ電池の寿命が短くなります。
- バックアップ電池の充電状態により画像データの保持時間は変化しますが、30分以上連続して電源を入れていたのに、画像データの保持時間が半分にも満たない場合は、バックアップ電池の寿命が使用環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。有償で修理させていただきます。

原稿がつまったときには

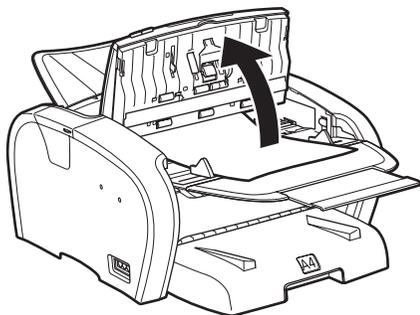
原稿が途中でつまったり、途中で止まってしまったときは、電源を入れた状態のまま、操作パネルを開いて原稿を取り出してください。

1 【ストップ】 ボタンを押します ()

- 読み込みの途中で【ストップ】 ボタンを押すと、それまでメモリに記憶していた部分も消去されます。つまった原稿を取り出してから、もう一度最初からやり直してください。

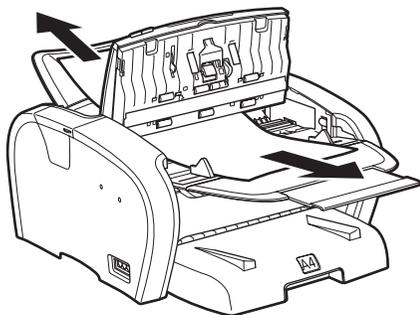
2 操作パネルを開きます

操作パネルの手前の部分を持って、上に開いてください。



3 原稿を取り出します

操作パネルを手で支えながら、前方または後方から引き出してください（取り出しやすい方から引き出してください）。



▲ 注意

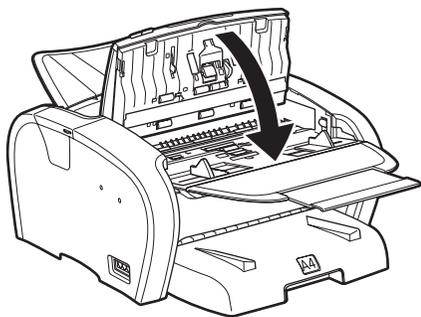
つまった原稿を取り除くときは、原稿の端で手を切ったりしないように注意して扱ってください。

▼ 重要

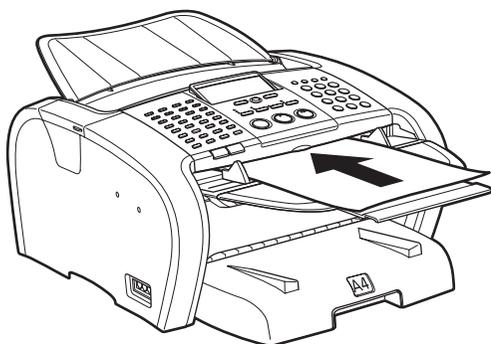
操作パネルが閉じた状態のときは、原稿を引き抜かないでください。無理に引き抜こうとすると、原稿が破れることがあります。

4 操作パネルを閉じます

操作パネルの中央部を押し、カシャッという音がするのを確認してください。



5 原稿をセットし直します



重要

原稿をセットしてもピッという音が鳴らず、“ゲンコウガ セット サレマシタ”というメッセージも出ないときには、原稿を取り除き、[メンテナンス] ボタンを押したあと、[∧] または [∨] ボタンで“1. ヨミトリ プ ショキカ”を選択し、[セット] ボタンを押してください。

記録紙がつまったときには

記録紙がプリントの途中でつまったり、プリンタが途中で止まってしまったときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示され、エラーランプが点滅します。電源を入れたまま、ここで説明する手順でつまった記録紙を取り出してください。

▲ 注意

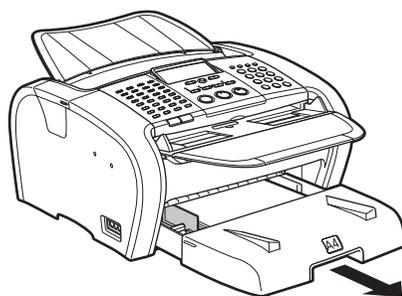
つまった記録紙を取り除いたりするために本機の内部を点検するときは、ネックレスやプレスレットなどの金属物が本体内部に触れないように気をつけてください。やけどや感電の原因となることがあります。

▼ 重要

本体内に引き込まれた状態の記録紙が見えているときでも、無理に引き抜かないでください。

1 記録紙カセットを取り出します

記録紙がつまっているときは、取り除いてください。



- オプションの記録紙カセット（FXB-カセットフィーダ2）がセットされているときは、上段、下段の順でカセットを取り出してください。
- 記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、本体の中に紙片を残さず、すべて取り除いてください。

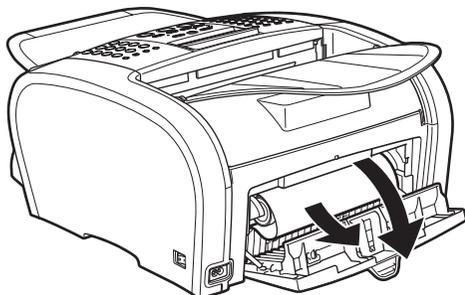
▲ 注意

- 記録紙のインクで手や衣服が汚れないように気をつけてください。
- つまった記録紙を取り除くときは、記録紙の端で手を切ったりしないように注意して扱ってください。

2 記録紙カセットを元に戻します

3 背面カバーを静かに開きます

背面カバーのツマミを持ったままゆっくりと押し下げてください。記録紙がつまっているときは、背面カバーが元に戻らないように押さえながら記録紙を取り除いてください。



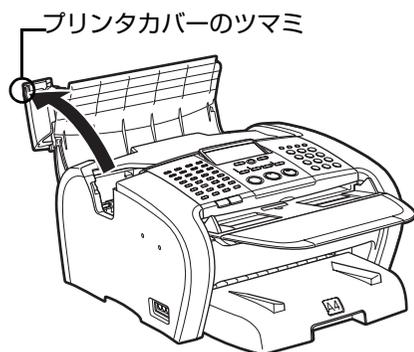
- オプションの記録紙カセットがセットされているときは、上段、下段の順で背面カバーを開けてください。

▲ 注意

背面カバーは強力なスプリングで自動的に元に戻ります。背面カバーに指をはさまないように気をつけてください。

4 プリンタカバーを開きます

プリンタカバーのツマミを持って後方に倒してください。記録紙がつまっているときは、取り除いてください。



▼ 重要

プリンタケーブルには触れないでください。ケーブルが折れたり曲がったりすると正しくプリントできなくなります。⇒ P.203

5 プリンタカバーのツマミを持ってプリンタカバーを閉めます

6 **【ストップ】 ボタンを押します** ()

ディスプレイのエラーメッセージとエラーランプが消え、待機状態に戻ります。



プリンタカバーは必ず閉めてください。プリンタカバーを開けたままで操作しないようにしてください。

■ **推奨紙の紹介**

記録紙として下記のキャノン純正紙をお勧めします。

- PB PAPER GF-500
- スーパーホワイトペーパー SW-101

ディスプレイに表示されるメッセージ

ディスプレイにはさまざまなメッセージが表示されます。メッセージの内容を確認し、的確に対処してください。対処後、メッセージが自動的に消えない場合は、[ストップ] ボタンを押して消してください。

● ア

エラー／確認メッセージ	対処方法
アイテ オウトウナシ	相手先が応答しませんでした。もう一度はじめからやり直してください。相手先のファクスが G3 以外の機種である可能性もあります。相手先のファクスの交信モードを確認してください。
アイテサキ キロクシ ナシ	相手先に記録紙をセットするように連絡してください。
インクノ ザンリョウガ フメイデス	インクがなくなっている可能性があります。「ディスプレイでインク残量を確認する」(P.106) を参照して、必要な操作を行ってください。
インジカスレノカノウセイガアリマス	インクが少なくなっています。「ディスプレイでインク残量を確認する」(P.106) を参照して、必要な操作を行ってください。

● カ

エラー／確認メッセージ	対処方法
カートリッジガ セットサレテイマセン	FINE カートリッジを確認しセットしてください。セットされている場合は、FINE カートリッジホルダのフタがきちんと閉められているか、再度確認してください。⇒ P.201
カートリッジノコウカンヲオススメシマス	インクが少なくなっているか、またはインクがなくなっています。「ディスプレイでインク残量を確認する」(P.106) を参照して、必要な操作を行ってください。
カートリッジニ フレナイデクダサイ	FINE カートリッジが高温になっています。メッセージが消えるまで、しばらくお待ちください。
カートリッジヲ イドウシマス シバラク オマチクダサイ	プリンタカバーを閉じると、FINE カートリッジが自動的に移動します(記録紙がつまった場合を除く)。メッセージが消えるまで、しばらくお待ちください。
カイセンカクニン デキマセンデシタ	回線のダイヤルトーンを確認できなかったため、送信できませんでした。電話回線やモジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください。⇒ P.11 接続されている場合は、電話回線の種類を確認し、正しく設定してください。⇒ P.18 それでも回線のダイヤルトーンを確認できない場合は、ダイヤルトーンの確認を“カクニン シナイ”に設定して、もう一度はじめからやり直してください。⇒ P.41
カバーガ シマツテ イマセン	プリンタカバーが開いています。プリンタカバーを閉じてください。FINE カートリッジが移動中のときは、本体内部に手を入れないでください。
キロクシガ アリマセン	記録紙カセットを正しくセットし直すか、記録紙を補給してください。⇒ P.194
キロクシガ ツマリマシタ	つまった記録紙を取り除いて、[ストップ] ボタンを押してください。⇒ P.211 記録紙がつまっていなかった場合は、[ストップ] ボタンを押してください。メモリ(代行)受信している場合は、受信原稿がプリントされます。⇒ P.109

エラー／確認メッセージ	対処方法
キロクシサイズヲ タシカメテクダサイ	記録紙カセットの記録紙ガイドを記録紙に合わせて再調整してください。⇒P.195
ゲンコウガ ナガスギマス	長さが1m以上の原稿を送信しようとした。複写機で分けてコピーをとってから送信し直してください。⇒P.25
ゲンコウヲ テンケン シテクダサイ	原稿がつまっている可能性があります。つまっている原稿を取り除いてください。⇒P.209 ポーリング受信時には、相手先のファクスに原稿がセットされていないか、蓄積されていない可能性があります。相手先に確認してください。⇒P.111
コノカートリッジハ ツカエマセン	取り付けした FINE カートリッジは不良品です。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
コノタンシュクダイヤルハ ツカエマセン	手動送信または電話をかけるときに、グループダイヤルが登録されている短縮ダイヤルを指定しました。短縮ダイヤル／グループダイヤルの登録内容を確認してください。⇒P.77, P.91 また、グループダイヤルを使って送信するときは、メモリ送信してください。⇒P.35
コノワンタッチキーハ ツカエマセン	手動送信または電話をかけるときに、グループダイヤルが登録されているワンタッチダイヤルボタンでダイヤルしようとした。ワンタッチ／グループダイヤルの登録内容を確認してください。⇒P.77, P.91 また、グループダイヤルを使って送信するときは、メモリ送信してください。⇒P.35

● サ

エラー／確認メッセージ	対処方法
サクセイ サレテ イマセン	定時ポーリングや転送で、設定を変更しようとしたが登録されていません。もう一度確認してください。⇒P.133, P.145
ジドウ リダイヤル	ダイヤルした相手先が話し中のためリダイヤル待機しています。リダイヤルの必要がないときは、ダイレクト送信時には [ストップ] ボタンを押してください。メモリ送信時は [メモリ照会] ボタンを押してメモリ内の原稿を削除してください。⇒P.62, P.139
ジュウキヲ オイテ クダサイ	送信、受信が終了したのにハンドセットまたは受話器が外れたままになっています。ハンドセットまたは受話器をきちんと戻してください。
ステニ サクセイ サレテ イマス	定時ポーリングや転送機能を設定しようとしたが、すでに設定されています。設定の変更操作をしてください。⇒P.136, P.148

● タ

エラー／確認メッセージ	対処方法
ダイコウ ジュシン シマシタ	FINE カートリッジを交換するか記録紙を補給してから、メモリに記憶されている原稿をプリントしてください。⇒P.109, P.194, P.199
チガウ サイズニ プリント？ ハイ= (*) イイエ= (#)	メモリ（代行）受信した原稿のサイズと同じサイズの記録紙がセットされていません。違うサイズの記録紙にプリントしてもよい場合は [*] ボタンを押してください。同じサイズの記録紙にプリントしたい場合は、同じサイズの記録紙をセットしてください。
チクセキガゾウガ アリマセン	メモリ照会時、蓄積画像がない場合に表示されます。
ツウシンチュウデス シバラク オマチクダサイ	メモリで送受信しているときにダイレクト送信をしようするとこの表示になります。メッセージが消えるまでお待ちください。
データガ コワレマシタ	お買い上げの販売店にご連絡ください。
デンワバンゴウ ミトウロクデス	電話番号が登録されていないワンタッチ／短縮ダイヤルが使用されました。電話番号を登録してから使用してください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
トリケシ デキマセン	取り消そうとした転送設定は、原稿が記憶されているため、取り消しできません。原稿をクリアしてから、転送を取り消してください。⇒P.139

● 八

エラー／確認メッセージ	対処方法
ハイインクガイッパイニナリマス	インク吸収体が満杯に近づいています。 本機は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、ワンタッチパネル3を開いて[クリア]ボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。本書裏表紙を参照し、お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様によるインク吸収体の交換はできません。
ハナシチュウ デシタ	リダイヤルしても応答がありません。もう一度ははじめからやり直してください。
プリンタエラー 5100	印刷を中止し、「電源の切りかた」(P.17)を参照して電源スイッチを切ってください*。 * 操作パネル上のボタンを押しても、エラーを解除することはできません。 それからFINEカートリッジホルダの保護材やつまった用紙など、FINEカートリッジホルダの動きを妨げているものを取り除き、再度電源を入れてください。 * このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印字結果不具合などの原因になります。 それでも回復しない場合は、本書裏表紙を参照し、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
プリンタエラー 5B00	インク吸収体が満杯になりました。 本機は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、交換が必要です。本書裏表紙を参照し、お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様によるインク吸収体の交換はできません。
プリンタエラー B200	「電源の切りかた」(P.17)を参照して電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください*。 * 操作パネル上のボタンを押しても、エラーを解除することはできません。 本書裏表紙を参照し、修理受付窓口に修理をご依頼ください。
プリンタエラー ****	記録紙がつまっている可能性があります。つまった記録紙がないか点検してください。⇒P.211 記録紙がつまっていない場合は、本機に異常があります。「電源の切りかた」(P.17)を参照して電源スイッチを切ってください*。 * 操作パネル上のボタンを押しても、エラーを解除することはできません。 10秒以上待ってから、もう一度電源を入れ直してください。それでもエラーメッセージが消えないときには、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ポーリング ジュシン デキマセン	Fコードを指定してポーリング受信をしようとしたとき、相手先のファクスがFコードに対応していなかったため、ポーリング受信できませんでした。相手先のファクスを確認してください。⇒P.111

● マ

エラー／確認メッセージ	対処方法
メモリガ イッバイデス	メモリ代行受信などでメモリがいっぱいです。メモリに記憶された原稿をプリントしてください。⇒ P.109, P.138 解像度や画質を「スーパーファイン」や「文字／写真」に設定しているときは、ダイレクト送信するか、あるいは解像度を「ファイン」や「標準」に、画質を「文字」に設定してメモリ送信してみてください。

● ヤ

エラー／確認メッセージ	対処方法
ヤリナオシテクダサイ	回線の状態が悪い、あるいはシステムの誤動作によりエラーが発生しました。もう一度はじめからやり直してください。

エラーコード一覧

エラーが発生すると、マルチ通信結果レポートを除く各種レポートにはエラーコードが記録されます。エラーの内容を確認し、的確に対処してください。

エラーコード	原因	対処方法
#001	原稿がつかまっている可能性があります。	つかまっている原稿を取り除いてください。⇒P.209
#003	長さが1m以上の原稿を送ろうとしました。	複写機でコピーをとり、分割して送信し直してください。⇒P.25
	データ量が大きすぎるため、1枚の画像を送信するのに時間がかかってしまいました。	読み取り時の解像度や画質を下げてください。⇒P.45
	1枚の原稿を受信するのに時間がかかってしまいました。	相手先に、読み取り時の画質を上げるか、原稿を分けて送信するように連絡してください。
#005	相手先が応答しませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。
	相手先のファクスがG3以外の機種である可能性があります。	相手先に確認してください。
#009	記録紙がないか記録紙カセットが正しくセットされていません。	記録紙カセットを正しくセットし直すか、あるいは記録紙を補給してください。
#011	送信原稿が正しくセットされていませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。
	相手先のファクスに原稿が蓄積もしくはセットされていないためポーリング受信できませんでした。	相手先に原稿を蓄積もしくはセットするように連絡してください。
#012	相手先のファクスの記録紙がなかったため送信できませんでした。	相手先に記録紙をセットするように連絡してください。
#017	回線のダイヤルトーンを確認できなかったため送信できませんでした。	ダイヤルトーンの確認を“カクニン シナイ”に設定してもう一度はじめからやり直してください。⇒P.41
#018	リダイヤルしても応答がありませんでした。 相手先が通話中などでファクス信号が返ってこなかったために送信できませんでした。	相手先の状態を確認したあと、もう一度はじめからやり直してください。
#021	相手先のファクスが拒否したためポーリング受信できませんでした。	相手先に確認してもう一度はじめからやり直してください。
#022	複数の相手先からポーリング受信するように設定されていましたが、相手先を指定するときに使用したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの登録内容が削除されました。	ポーリング受信できなかった相手先を確認し、再度ポーリング受信するための設定をしてください。
#037	メモリがいっぱいです。	メモリ代行受信などでメモリに記憶された原稿をプリントしてください。⇒P.109, P.138
#059	ダイヤルした番号と相手先のファクスに登録してある番号が異なっていたため送信を中止しました。	相手先のファクスに正しい電話番号が登録されているか確認してください。もしくは、システム管理設定の送信機能制限で相手先確認を“シナイ”に設定してください。⇒P.178
#080	相手先のファクスがFコードに対応していないため送信できません。	相手先に確認してください (Fコードについては、P.56を参照してください)。
#081	相手先のファクスがパスワードに対応していないため送信できません。	相手先に確認してください (パスワードについては、P.56を参照してください)。
#082	相手先のファクスがFコードに対応していないためポーリング受信できません。	相手先に確認してください (Fコードについては、P.56を参照してください)。
#083	ポーリング受信時にFコードやパスワードが一致しませんでした。	相手先に確認してください (Fコードやパスワードについては、P.56を参照してください)。

エラーコード	原因	対処方法
#084	相手先のファクスがパスワードに対応していないためポーリング受信できません。	相手先に確認してください（パスワードについては、P.56を参照してください）。
#102	送信時にFコードやパスワードが一致しませんでした。	相手先に確認してください（Fコードやパスワードについては、P.56を参照してください）。
#995	通信予約のクリア操作が行われました。	必要に応じて、もう一度はじめから送信し直してください。

重要

- 記載されている対処方法に従ってもエラーが解除されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ここに示した以外のエラーコードがプリントされた場合は、もう一度送り直していただき、それでも通信できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

システムエラーコード

数字の前に“#”が2つついているエラーコードは、システムエラーです。

エラーコード	対処方法
##332 ~ ##348	お買い上げの販売店にお問い合わせください。

困ったときには

昨日まで使えていたのに急に送受信やコピーができなくなった、引っ越したらファクスが使えなくなったなど、本機が正しく使えないというときは、まずこのページに沿ってチェックしてみてください。

コピー

電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源スイッチはOFFになっていませんか。

YES

電源プラグをコンセントに接続し、電源を入れます。⇒P.16

NO

電話回線やモジュージャックコードが抜けていませんか。または、接続する回線接続端子を間違えていませんか。

YES

電話回線やモジュージャックコードを正しく接続します。⇒P.11, P.12

NO

プッシュ回線／ダイヤル回線の種類を間違えていませんか。引っ越しや、ビルの電話回線の種類が変更されたときには必ずチェック!

YES

プッシュ回線／ダイヤル回線の種類を変更します。⇒P.18

NO

操作パネルのエラーランプが点滅していますか。

YES

ディスプレイを確認します。ディスプレイに表示されるメッセージ⇒P.214

NO

NO

操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていますか。

YES

メッセージを確認し適切に対処してください。⇒P.214

NO

NO

現在のトラブルの症状と対応する項目を探して、適切に対処してください。

- ファクス送信でのトラブル⇒P.221
- ファクス受信でのトラブル⇒P.223
- ダイヤルインでのトラブル⇒P.224
- 電話でのトラブル⇒P.225
- コピーでのトラブル⇒P.226
- その他のトラブル⇒P.227

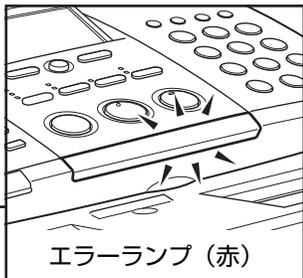
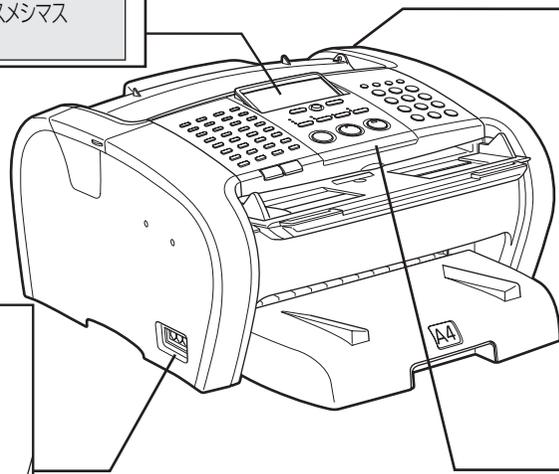
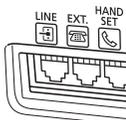
まだ、本機が正しく使えないときは、お買い上げの販売店または、お客様相談センターにご連絡ください。⇒裏表紙

ディスプレイ

カートリッジ/ノコウカン/オス/メ/シマ/ス

電源プラグ/電源スイッチ

回線接続端子



エラーランプ (赤)

ファクス送信でのトラブル

● ダイヤルできない

チェック	対処方法
テンキー FAX 送信制限が“スル”に設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限でテンキー FAX 送信制限が“スル”に設定されていると、テンキーでのダイヤルができません。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。
手動リダイヤル制限が“スル”に設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限で手動リダイヤル制限が“スル”に設定されていると、[リダイヤル] ボタンでのダイヤルができません。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。
同報送信制限が“スル”に設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限で同報送信制限が“スル”に設定されていると、複数の宛先を指定してファクスを送信できません。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。

● ダイヤルしても送信できない

チェック	対処方法
電話回線の種類が正しく設定されていますか？	電話回線の種類を確認し、正しく設定してください。⇒ P.18
原稿が正しくセットされていますか？	もう一度原稿をセットし直してから送信してみてください。⇒ P.25
電話番号は正しくダイヤルしましたか？	もう一度ダイヤルし直してみてください。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した電話番号が正しいかどうか確認してください。⇒ P.91
送信前のダイヤルトーンを“カクニン スル”に設定していますか？	“カクニン シナイ”に設定してもう一度ダイヤルし直してみてください。⇒ P.41
相手先のファクスの記録紙がなくなっていますか？	記録紙がなくなっていないか、相手先に確認してください。
相手先の回線が送受信、話し中等で使用になっていませんか？	NTTのお話し中調べ（局番なしの114番）でご確認ください。
手動送信禁止が“スル”に設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限で手動送信禁止が“スル”に設定されていると、受話器をあげた状態でファクスを送信することはできません。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。

● 送信のときにすぐメモリがいっぱいになる

チェック	対処方法
解像度が「スーパーファイン」になっていませんか？画質が「文字／写真」になっていませんか？	原稿に細かい文字や写真が含まれていないときは、解像度を「標準」にし、画質を「文字」にしてください。⇒ P.45 原稿に細かい文字や写真が含まれているときは、メモリ送信ではなくダイレクト送信してください。⇒ P.37
メモリに文書がたまっていますか？	メモリ内の受信原稿をプリントするか、送信予約原稿の送信が済んでから操作し直してください。

● 相手先の受信原稿に縦線が出る

チェック	対処方法
読み取りガラスが汚れていませんか？	コピーをとり、汚れを確認してみてください。コピーが汚れるときは、読み取りガラスを清掃してください。⇒ P.188

● 相手先の受信原稿の画像が縮小してプリントされる

チェック	対処方法
スライダが送信原稿のサイズに合っていますか？	スライダを送信原稿のサイズに合わせて、送り直してください。⇒ P.43
送信した原稿のサイズよりも相手先の記録紙サイズが小さくありませんか？	本機は、相手先の記録紙サイズが小さいときは、相手先の記録紙サイズに合わせて自動的に縮小して送信します。

● 相手先が受信した原稿が薄い

チェック	対処方法
原稿読み取り濃度が“ウスク”に設定されていませんか？	設定を変更してみてください。⇒ P.46
画質が「文字／写真」に設定されていませんか？	画像モードボタンを押して「文字」を選択してください。⇒ P.45
読み取りガラスが汚れていませんか？	コピーをとり、汚れを確認してみてください。コピーが汚れるときは、読み取りガラスを清掃してください。⇒ P.188

● Fコード送信できない

チェック	対処方法
相手先のファクスはFコードに対応した通信機能を持っていますか？	相手先に確認してください。
相手先のファクスのFコードやパスワードを正しく指定しましたか？	相手先が登録しているFコードやパスワードを確認して、同じ番号を指定してください。⇒ P.56
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しているFコードやパスワードに誤りはありませんか？	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録内容を確認してください。⇒ P.84, P.91
相手先のファクスのメモリがいっぱいになっていませんか？	相手先に確認してください。

ファクス受信でのトラブル

● 自動受信できない

チェック	対処方法
手動受信ランプまたは留守ランプが点灯していませんか？	点灯しているときは、受信モードボタンを押してランプを消してください。⇒ P.96
DM（ダイレクトメール）制限が“スル”に設定されていませんか？	DM（ダイレクトメール）制限が設定されていると、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル登録している相手先以外からの原稿は受信できません。⇒ P.177

● メモリ受信できない

チェック	対処方法
メモリがいっぱいになっていませんか？	メモリがいっぱいのときは、メモリ受信はできません。メモリに記憶されている原稿をプリントしてから、メモリ受信してください。⇒ P.109, P.132, P.138
メモリ代行受信が“シナイ”に設定されていませんか？	メモリ代行受信を“スル”に設定し直してください。⇒ P.109, P.171

● 手動受信できない

チェック	対処方法
原稿台に原稿がセットされていませんか？	原稿がセットされているときは、それを取り除いてから受信し直してください。
ハンドセット（受話器）を戻す前に【スタート／コピー】ボタンを押しましたか？	先にハンドセット（受話器）を戻すと、回線が切れてしまいます。もう一度、受信し直してください。⇒ P.99
ダイヤルインサービスを利用していませんか？	「モデムダイヤルイン F/T 切り替え」、または「ダイヤルイン F/T 切り替え」に設定している場合、受信モードボタンを押しても手動受信ランプは点灯せず、手動受信はできません。⇒ P.96

● リモート受信できない

チェック	対処方法
ダイヤルインサービスを利用していませんか？	「モデムダイヤルイン F/T 切り替え」、または「ダイヤルイン F/T 切り替え」に設定している場合、リモート受信機能ははたらきません。⇒ P.114, P.124

● FAX/TEL 切り替えできない

チェック	対処方法
留守ランプまたは手動受信ランプが点灯していませんか？	点灯しているときは、受信モードボタンを押してランプを消してください。⇒ P.96
受信モード選択が「FAX/TEL 切り替え」に設定されていますか？	FAX/TEL 切り替えの登録／設定内容を確認してください。⇒ P.100

● 記録紙に何もプリントされない

チェック	対処方法
プリントヘッドが目づまりしていませんか？	「プリントヘッドのメンテナンス」(P.204)を参照して、必要なお手入れの操作を行ってください。

● 受信原稿の左右が欠ける

チェック	対処方法
記録紙カセットの記録紙ガイドが外れていませんか？	記録紙ガイドを記録紙のサイズに合わせてセットし直してください。⇒ P.195

● プリントされた原稿にムラがある

チェック	対処方法
プリントヘッドが目づまりしていませんか？	「プリントヘッドのメンテナンス」(P.204)を参照して、必要なお手入れの操作を行ってください。
FINE カートリッジが正しくセットされていますか？	FINE カートリッジを確認しセットしてください。セットされている場合は、FINE カートリッジホルダのフタがきちんと閉められているか、再度確認してください。⇒ P.201
送信してきた相手先のファクスの読み取りガラスが汚れていませんか？	本機できれいにコピーできるときは、相手先のファクスに問題がありません。相手先に連絡して、相手先のファクスを清掃してもらってからもう一度送り直してもらってください。

● ポーリング受信できない

チェック	対処方法
相手先のファクスのFコードやパスワードを正しく指定しましたか？	相手先が登録しているFコードやパスワードを確認して、同じ番号を指定してください。⇒ P.112
相手先のファクスは自動受信状態になっていますか？	相手先に連絡して確認してください。
相手先のファクスに原稿がセットされていますか？	相手先に連絡して確認してください。

■ ダイヤルインでのトラブル

● 自動受信できない

チェック	対処方法
受信モードは正しく設定されていますか？	モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスの利用契約をしたのに受信モードを正しく設定していなかったり、利用契約をしていないのに受信モードを「モデムダイヤルインF/T切り替え」または「ダイヤルインF/T切り替え」に設定していると、ファクスが受信できなくなります。モデムダイヤルインサービスの利用契約をしている場合だけ、受信モードを「モデムダイヤルインF/T切り替え」にし、またダイヤルインサービスの利用契約をしている場合だけ、「ダイヤルインF/T切り替え」に設定してください。⇒ P.124
電話番号は正しく登録されていますか？	モデムダイヤルインサービスまたはダイヤルインサービスの契約時に確認した電話番号をモデムダイヤルインサービスの場合は市外局番から全桁、またダイヤルインサービスの場合は下4桁を設定してください。⇒ P.124, P.126

電話でのトラブル

● 電話がかけれない

チェック	対処方法
ハンドセットまたは電話機はきちんと接続されていますか？	ハンドセットまたは電話機の接続を確認してください。⇒ P.13, P.15
即時ダイヤル制限が“スル”に設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限で即時ダイヤル制限が“スル”に設定されていると、電話をかけることができません。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。
テンキー FAX 送信制限が“スル”に設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限でテンキー FAX 送信制限が“スル”に設定されていると、テンキーでのダイヤルができません。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。
手動リダイヤル制限が“スル”に設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限で手動リダイヤル制限が“スル”に設定されていると、[リダイヤル] ボタンでのダイヤルができません。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。

● 通話中に電話が切れてしまう

チェック	対処方法
留守ランプが点灯していませんか？	点灯しているときは、受信モードボタンを押して留守ランプを消してください。⇒ P.96

● 留守番電話接続機能がはたらかない

チェック	対処方法
留守ランプが消えていませんか？	消えているときは、受信モードボタンを押して留守ランプを点灯させてください。⇒ P.96
留守番電話が留守にセットされていますか？	留守番電話を留守のモードにセットしてください。
ダイヤルインサービスを利用していませんか？	「モデムダイヤルイン F/T 切り替え」または「ダイヤルイン F/T 切り替え」に設定している場合、本機の留守番電話接続機能ははたらきません。ただし、相手先がダイヤルインサービスの電話用の番号をダイヤルした場合、接続した留守番電話機の通常の機能ははたらきます。⇒ P.124

コピーでのトラブル

● コピーできない

チェック	対処方法
プリントヘッドが目づまりしていませんか？	「プリントヘッドのメンテナンス」(P.204)を参照して、必要なお手入れの操作を行ってください。
【オンフック】ボタンが押されていませんか？	【オンフック】ボタンを確認してください。
ハンドセット(受話器)が外れていませんか？	ハンドセット(受話器)をハンドセット置き台(電話機)に戻してから、もう一度やり直してください。
メモリに文書がたまっていますか？	メモリ内の受信原稿をプリントするか、送信予約原稿の送信が済んでから操作し直してください。⇒P.132

● 画像の左右が欠けてコピーされる

チェック	対処方法
記録紙カセットの記録紙ガイドが外れていませんか？	記録紙ガイドを記録紙のサイズに合わせてセットし直してください。⇒P.195
原稿セット方向に対し、横方向のコピー有効記録範囲外に画像がありますか？	原稿より大きなサイズ of 用紙を指定して等倍でコピーし直してください。⇒P.151

● 画像が縮小されてコピーされる

チェック	対処方法
スライダが原稿のサイズに合っていますか？	スライダを原稿のサイズに合わせて、コピーし直してください。⇒P.150
原稿セット方向のコピー有効記録範囲外に画像がありませんか？	コピー設定の全面コピーを“シナイ”に設定し、原稿より大きなサイズ of 用紙を指定してコピーし直してください。 コピー有効記録範囲外に画像が入っている場合、全面コピーが“スル”になっていると、用紙にすべての画像が収まるよう、自動的に縮小してコピーされます。⇒P.151, P.159, P.174

その他のトラブル

● 電話番号の登録や変更ができない

チェック	対処方法
TEL 暗証番号が設定されていませんか？	システム管理設定の送信機能制限で TEL 暗証番号が設定されていると、電話番号の登録や変更をする場合に暗証番号の入力が必要です。⇒ P.179 本機の設定状況について、システム管理者にお問い合わせください。

● 送受信が遅い

チェック	対処方法
解像度が「ファイン」、「スーパーファイン」に設定されていませんか？（送信時のみ）	「標準」に設定すると送信時間は短くなります。ただし、細かい文字などが読みにくくなることもあります。⇒ P.45
画質が「文字／写真」に設定されていませんか？（送信時のみ）	画像モードボタンを押して「文字」を選択してください。⇒ P.45
ECM 通信が「スル」に設定されていませんか？	ECM 方式は、エラーを訂正しながら通信するため、回線のトラブルなどがあると、通常の通信に比べて時間がかかってしまうことがあります。ECM 通信を「シナイ」に設定してみてください。⇒ P.38, P.88

● 印字速度が遅い

チェック	対処方法
受信データのかすれ検知が「スル」に設定されていませんか？	受信機能設定の受信データのかすれ検知が「スル」に設定されていると、インク残量が少なくなった際に印字速度が遅くなります。故障ではありません。⇒ P.106
エコノミー記録が「エコノミー」に設定されていませんか？	プリント設定のエコノミー記録が「エコノミー」に設定されていると、印字速度が遅くなります。⇒ P.157, P.173

● 情報サービスをうまく受けられない

チェック	対処方法
トーン信号になっていますか？	ダイヤル回線の場合、相手先につながったあと【トーン】ボタンを押して、トーン信号にしてください。⇒ P.121
相手先から受信状態にするなどの指示がありましたか？	最後に【スタート／コピー】ボタンを押してください。

● メモリバックアップされない

チェック	対処方法
充電時間は十分ですか？	電池を十分に充電するには、最低でも約 30 分間連続で本機の電源を入れたままの状態にする必要があります。⇒ P.208

F ネット (ファクシミリ通信網) を利用するには

F ネットとは、NTT コミュニケーションズのファクシミリ専用ネットワークサービスです。F ネットを利用すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。本サービスの詳細につきましては NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。



NTT コミュニケーションズのファクシミリ専用ネットワークです。一旦文書を F ネット内に蓄積してから送信するシステムにより、さまざまなサービスが実現できます。スピーディで確実なファクシミリ通信をさらに経済的かつ効率的にお使いいただけます。

● 一斉同報通信

1 回のダイヤル操作で、10カ所までの相手先に同一の原稿を送信できます。また、F ネットにあらかじめ登録された短縮ダイヤルをご利用になると、一度に最大 10000 カ所まで一斉に同報送信が行えます。

● 自動再送信

一斉同報で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作で送り直すことができます。

● 再コール・不達通知

相手先がお話し中の場合、F ネットが 2 分間隔で 5 回、自動的に再コールします。それでも送れなかった場合は、送信できなかった理由と送信内容の一部を、F ネットよりお知らせします。

● 夜間配送指定通信

昼間に F ネットへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯（午後 7 時から翌朝 8 時まで）に F ネットから相手先へ送信させることができます。

● 無鳴動自動受信

F ネットを使った受信では、呼び出し音を鳴らさずに自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1 本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。



- 本機では、NTT コミュニケーションズのネットワークサービスがご利用になれます。本サービスの詳細、お申し込みにつきましては、NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。
- [F ネット] ボタンは、F ネットに接続するための番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する際に使用するボタンです。
F ネットを使うには、「161」や「162」（F ネットのファクス番号）をダイヤルしたあとに [F ネット] ボタンを押します（自動的にポーズが入力されます）。その後、「161」や「162」以降の F ネットの番号を登録します。
- F ネットをダイヤル回線でご使用の場合、[F ネット] ボタンのあとで [#] ボタンをダイヤルするときは、[トーン] ボタン（[*] ボタンと兼用）を押してトーン（ブッシュ）信号に切り替えてから [#] ボタンをダイヤルしてください。
- 電話番号は市外局番からダイヤルしてください。

使用済みインクカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいようお願いいたします。



キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。また回収窓口到店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動

キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。

ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。

この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。

環境への取り組み canon.jp/ecology

さくいん

英数字・記号

184	164
186	164
2 in 1	118, 170
3 ピンプラグ式コンセント	12
50 音検索	65
B5 分割優先	173
DM (ダイレクトメール) 制限	177
ECM 受信	170
ECM 送信	168
ECM 通信	88
ECM 方式	38
EXT.	13
FAX/TEL 切り替え	94, 96, 98, 100
音声応答	102
受信の流れ	103
受信モード	100
設定	102
呼び出し開始時間	102
呼び出し後の動作	102
呼び出し時間	102
FAX 番号確認	178, 179
FINE カートリッジ	5, 9, 199
FIS スイッチ	177
FXB-カセットフィーダ 2	9, 20
F コード	56
F コード送信	56, 58
[F コード] ボタン	24
F ネット	228
一斉同報通信	228
再コール・不達通知	228
自動再送信	228
無鳴動自動受信	228
夜間配送指定通信	228
[F ネット] ボタン	24
G3	1
HAND SET	15
ID 番号	114
LINE	11
PB PAPER GF-500	10
RX	105
TEL 暗証番号	178, 179
TX	48
[◀ -] [+ ▶] ボタン	22
[^] [v] [◀] [▶] ボタン	24

あ

アイテ オウトウナシ	214
相手先確認	178, 180
アイテサキ キロクシ ナシ	214
厚さ	25
宛先ラベル	9
アルファベット検索	66
安全にお使いいただくために	2
一斉同報通信	228
移動	193
インク警告	109
インク残量	106
インクノ ザンリョウガ フメイデス	214
インク量節約	173
インジカスレノカノウセイガアリマス	214
英字	28
エコノミー記録	173
エラーコード	218
エラーメッセージ	214
エラーランプ	22
オートダイヤル	63
グループダイヤル	64
短縮ダイヤル	63
ワンタッチダイヤル	63
オートダイヤル機能	236
お手入れ	188
記録部	190
原稿読み取り部	188
スタンピングの補充	192
内部	188
搬送部	188
本体	188
オプション	9
オフフックアラーム	164
音声応答	121
[オンフック] ボタン	22
音量	164

か

カートリッジガ セットサレテイマセン	214
カートリッジニ フレナイデクダサイ	214
カートリッジノコウカンヲオスメシマス	214
カートリッジヲ イドウシマス シバラク オマチクダサイ	214
海外	60
外形寸法	236
会社名称	33

外線	89
カイセンカクニン デキマセンデシタ	214
回線種類	164
回線使用中ランプ	22
回線接続	11
解像度ボタン	22
各種機能の登録/設定	161
拡大コピー	155
各部の名称	20
かすれ検知	106
カセット選択	173
カセットフィーダ	14
画像縮小	173
画像モードボタン	22
カタカナ	28
カバーガ シマッテ イマセン	214
かんたんスタートガイド	9
管理	182
管理暗証番号	177
記号	28
機能ボタン	24
基本設定	163
オフフックアラーム	164
音量調整	164
回線種類選択	164
登録/設定項目	164
特番登録	164
発信元記録	164
日付/時刻セット	164
ユーザ TEL 登録	164
ユーザ略称登録	164
読み取り濃度セット	164
キャッチホンサービス	123
給紙方式	236
強力クリーニング	205
記録紙	116, 194, 236
PB PAPER GF-500	194
記録紙カセット	195
記録紙がつまる	211
サイズ	194
縮小記録	117
推奨紙	194
スーパーホワイトペーパー SW-101	194
有効記録範囲	117
優先順位	116
キロクシガ アリマセン	214
記録紙カセット	9, 11, 20
キロクシガ ツマリマシタ	214
記録紙切れ	109
キロクシサイズヲ タシカメテクダサイ	214
記録紙排出口	20
記録部	190
記録方式	236
クイックメモリ送信	168

[クリア] ボタン	24
クリーニング	205
グループダイヤル	64, 77
削除	80
登録	77
グループダイヤル電話番号リスト	91
形式	236
掲示板機能	57
原稿	25, 43, 236
厚さ	25
原稿がつまる	209
サイズ	25
セットできない原稿	25
読み取り範囲	26
ゲンコウガ ナガスギマス	214
原稿台	9, 11, 20
原稿台延長トレイ	20
原稿トレイ	9, 11, 20
原稿のセット方法	43
原稿読み取り部	188
原稿リスト	139
ゲンコウヲ テンケン シテクダサイ	214
検索	65
50音検索	65
アルファベット検索	66
国際送信	86
国際ダイヤル	90
子電話接続端子	20
コノカートリッジハ ツカエマセン	214
コノタンシュクダイヤルハ ツカエマセン	214
コノワンタッチキーハ ツカエマセン	214
コピー	150, 226
拡大	155
サイズ	154
縮小	156
コピー設定	174
全面コピー	174
登録/設定項目	174

さ

再コール・不達通知	228
サイズ	25, 194
[削除] ボタン	24
サクセイ サレテ イマセン	215
時刻	31
時刻指定	52, 55
システムエラーコード	219
システム管理設定	176
DM (ダイレクトメール) 制限	177
FIS スイッチ	177
管理暗証番号	177
受信スタートスピード	177
受信パスワード	177
送信機能制限	178

送信スタートスピード	177	お客様情報（発信元情報）の登録	29
登録／設定項目	177	音量の設定	21
日付タイプ	177	電源	16
メモリ受信	177	電話回線の設定	18
質量	236	同梱品の確認	9
自動	98	付属品の取り付け	11
自動再送信	228	仕様	236
自動受信	94, 96, 98	使用環境	236
自動受信切り替え	170	使用上のご注意	6
自動リダイヤル	168	消費電力	236
ジドウ リダイヤル	215	情報サービス	120
縮小	44	音声応答	121
縮小記録	117	ファクス情報サービス	120
縮小コピー	156	親展送信	56
受信	94, 223	推奨紙	10, 194
中止	105	PB PAPER GF-500	10
受信画像	170	スーパーホワイトペーパー SW-101	10
受信機能設定	169	数字	28
2 in 1 記録	170	スーパーファインランプ	22
ECM 受信	170	スーパーホワイトペーパー SW-101	10
自動受信切り替え	170	[スタート／コピー] ボタン	22
受信画像記録	170	スタンプ	168
受信情報記録	170	スタンプインク	192
受信モード選択	170	スタンプ機能	44
着信呼び出し	170	[スタンプ] ボタン	24
登録／設定項目	170	スタンプランプ	22
リモート受信	170	ステニ サクセイ サレテ イマス	215
受信結果レポート	166, 186	[ストップ] ボタン	22
受信原稿	118	[スペース] ボタン	24
受信状況	104	スライド	20
受付番号	104	設置場所	2, 4, 6
受信終了後に表示されるメッセージ	104	設定	161
通信相手の電話番号	104	[セット] ボタン	22
通信状況	104	鮮明	45, 157
受信情報	170	全面コピー	159, 174
受信スタートスピード	177	設定	160
受信設定の確認／変更	96	走査線密度	236
受信データのかすれ検知	107, 108, 171	操作パネル	20
受信パスワード	177	操作パネルの名称	22
受信モード	94, 170	走査方式	236
FAX/TEL 切り替え	94	送信	34, 221
自動受信	94	手動送信	34
手動受信	94	ダイレクト送信	34
ダイヤルイン F/T 切り替え	94	中止	49
モデムダイヤルイン F/T 切り替え	94	メモリ送信	34
留守番電話接続	94	予約	35
受信モードボタン	22	予約解除	49
手動受信	94, 96	送信機能制限	178, 179
手動受信ランプ	22	FAX 番号確認	178, 179
手動送信	34, 39	TEL 暗証番号	178, 179
手動送信禁止	178, 179	相手先確認	178, 180
手動リダイヤル制限	178, 179	手動送信禁止	178, 179
受話器接続端子	20	手動リダイヤル制限	178, 179
ジュワキヲ オイテ クダサイ	215	即時ダイヤル制限	178, 179
準備	9, 10	ダイヤルタイムアウト	178, 180

テンキー FAX 送信制限	178, 179
同報送信制限	178, 179
送信機能設定	167
ECM 送信	168
クイックメモリ送信	168
自動リダイヤル	168
スタンプの種類	168
送信前のダイヤルトーン	168
登録/設定項目	168
ポーズ時間セット	168
送信結果レポート	166, 185
送信原稿	43
送信先	68
送信時刻	52
送信状況	47
受付番号	47
送信終了後に表示されるメッセージ	47
通信状況	47
電話番号	47
送信スタートスピード	177
送信スピード	87
送信方法	34
装置全体	20
即時ダイヤル制限	178, 179
外付電話機	13

た

ダイコウ ジュシン シマシタ	215
タイマー送信	52
解除	53
設定	52
送信原稿のプリント	54
[タイマー通信] ボタン	24
ダイヤルイン	224
ダイヤルイン F/T 切り替え	94, 97
ダイヤルインサービス	123
ダイヤルタイムアウト	178, 180
ダイヤル登録	68
ダイヤルトーン	41
確認設定	41
ダイレクト送信	34, 37
ダイレクト送信ボタン	22
ダイレクト送信ランプ	22
短縮ダイヤル	63, 73
削除	75
登録	73
短縮ダイヤル電話番号リスト 1	91
短縮ダイヤル電話番号リスト 2	91
[短縮] ボタン	22
チガウ サイズニ プリント?	
ハイ = (*) イイエ = (#)	215
チクセキガゾウガ アリマセン	215
着信呼び出し	170
中継指示送信	57

直流抵抗値	236
直結配線コンセント	12
追加	44
通信管理レポート	166, 182
通信機能	82
ECM 通信	88
F コードとパスワード	84
海外への送信がうまくいかない	90
国際送信	86
国際ダイヤル利用時	90
送信時刻	83
送信スピード	87
内線から送信する場合	89
通信結果	48, 105, 182
[通信結果] ボタン	24
ツウシンチュウデス	
シバラク オマチクダサイ	215
定時ポーリング	175
定時ポーリング受信	145
宛先	145
暗証番号	145
開始時刻	145
設定	145
設定変更	148
登録/設定項目	145
取り消し	149
ディスプレイ	20, 22
停電	208
データガ コワレマシタ	215
データの保存	208
適用回線	236
デュアルアクセス機能	35
テンキー	22
テンキー FAX 送信制限	178, 179
電源	2, 4, 6, 16, 17, 236
電源コード	2, 4, 9, 21
電源スイッチ	21
転送	133, 175
宛先	133
暗証番号	133
時間指定	133
指示元制限	133
指定時間外の転送	137
受信原稿プリント	133
条件設定	134
設定変更	136
登録/設定項目	133
取り消し	137
電送時間	236
転送でんわサービス	123
[転送] ボタン	24
電話	67, 225
でんわ会議サービス	123
電話回線	11, 123
電話回線種類	18
確認	18

変更	18
電話回線接続端子	20
電話回線用コンセント	11
3ピンプラグ式コンセント	12
直結配線コンセント	12
モジュラー式差し込み口	12
電話帳機能	65
[電話帳] ボタン	22
電話番号	32, 91, 123
2種類の電話番号の設定	124
デンワバンゴウ ミトウロクデス	215
同梱	9
同報送信	50
同報送信制限	178, 179
登録	161
[登録/設定] ボタン	24
トーカー案内サービス	123
[トーン] ボタン	22
特番登録	164
トラブル	220
コピーでのトラブル	226
その他のトラブル	227
ダイヤルインでのトラブル	224
電話でのトラブル	225
ファクス受信でのトラブル	223
ファクス送信でのトラブル	221
取扱い	3, 4
トリオホンサービス	123
トリケシ デキマセン	215

な

内線	89
内部	188
なりわけサービス	128
ナンバー・ディスプレイ	164
入力	27, 28
濃度	46, 157
ノズルチェックパターン	204

は

ハイインクガイッパイニナリマス	216
背面	21
背面カバー	21
[パスワード] ボタン	24
バックアップ電池	208
パッケージ内容	9
発信元記録	164
発信元情報	29
会社名称	33
時刻	31
電話番号	32
日付	31
話し中	62

ハナシチュウ デシタ	216
搬送部	188
ハンドセット	21
ハンドセットキット	15
ハンドセットキット L12	9, 20
日付	31
日付/時刻	164
日付タイプ	177
標準ランプ	22
ファインランプ	22
ファクシミリ通信網	228
ファクス情報サービス	120
付属品	9
フックボタン	21
プリンタエラー 5100	216
プリンタエラー 5B00	216
プリンタエラー B200	216
プリンタエラー * * * *	216
プリンタカバー	20
プリンタに関する注意	203
プリンタヲ テンケン シテクダサイ	216
プリント	54
プリント暗証番号	129
プリントカセット指定	166
プリント設定	172
B5 分割優先	173
エコノミー記録	173
カセット選択	173
画像縮小	173
登録/設定項目	173
プリントヘッド	204
強力クリーニング	205
クリーニング	205
ノズルチェックパターン	204
プリントヘッド位置の調整	206
プリントヘッド位置の調整	206
並列接続	12
ポーズ時間	168
ポーリング受信	111
Fコード	112
パスワード	112
ポーリング ジュシン デキマセン	216
[ポーリング] ボタン	24
保守/点検	3, 4
[保留/ポーズ] ボタン	22
本体	188

ま

マルチ通信結果レポート	186
無鳴動自動受信	228
名称	236
メッセージ	214
メモリ	138

メモリ内の原稿確認	139
メモリガ イッパイデス	217
メモリ管理設定	175
定時ポーリング	175
転送	175
登録/設定項目	175
メモリクリアリスト	187
メモリ受信	129, 177
解除	132
時間指定	129
指定時間外のセット	132
設定	130
登録/設定項目	129
プリント暗証番号	129
レポート	129
[メモリ受信] ボタン	24
メモリ照会	138
原稿クリア	138
原稿送信	138
原稿プリント	138
原稿リスト	138
受信画像プリント	138
[メモリ照会] ボタン	24
メモリ送信	34, 35
メモリ代行受信	109
受信した原稿のプリント	109, 138
メモリバックアップ	208
メモリランプ	22
メンテナンス	204
[メンテナンス] ボタン	24
文字	27, 28
文字/写真ランブ	22
文字の種類	27
モジュラー式差し込み口	12
モジュラージャックコード	9, 12
文字ランブ	22
モデムダイヤルイン F/T 切り替え	94, 97
モデムダイヤルインサービス	123

や

夜間配送指定通信	228
ヤリナオシテクダサイ	217
有効記録幅	236
有効記録範囲	117
有効読取幅	236
ユーザ TEL 登録	164
ユーザズガイド	9
ユーザデータ	161
ユーザデータリスト	181
ユーザ略称	164
呼び出し音	99, 128
変更	128
呼び出し音量調整器	21
読み取り濃度	164

読み取り範囲	26
--------	----

ら

リスト	91, 181
グループダイヤル電話番号リスト	91
短縮ダイヤル電話番号リスト 1	91
短縮ダイヤル電話番号リスト 2	91
ワンタッチダイヤル電話番号リスト 1	91
ワンタッチダイヤル電話番号リスト 2	91
リダイヤル	62
自動リダイヤル	62
手動リダイヤル	62
[リダイヤル] ボタン	22
リモート受信	114, 170
留守番電話	115
留守番電話接続	94, 96
留守ランブ	22
レポート	182
受信結果レポート	186
送信結果レポート	185
通信管理レポート	182
マルチ通信結果レポート	186
レポート設定	165
受信結果レポート	166
送信結果レポート	166
通信管理レポート	166
登録/設定項目	166
プリントカセット指定	166
[レポート] ボタン	24

わ

ワンタッチダイヤル	63, 68
削除	71
登録	68
ワンタッチダイヤル電話番号リスト 1	91
ワンタッチダイヤル電話番号リスト 2	91
ワンタッチダイヤルボタン	22
ワンタッチパネル	22
ワンタッチパネル 1	22
ワンタッチパネル 2	24
ワンタッチパネル 3 (機能ボタン)	24

仕様

装置の概要	
名称	Canofax JX6000
形式	デスクトップタイプ
記録方式	インクジェット方式
記録紙	B4、A4、B5 60g / m ² ~ 75g / m ² (普通紙)
原稿	A4 (210 × 297 mm) B4 (257 × 364 mm) A3 (297 × 420 mm)
有効読取幅	A4 : 208 mm、B4 : 255 mm、A3 : 293 mm
有効記録幅	A4 : 203 mm、B4、B5 (横) : 250 mm
走査方式	密着イメージセンサによる平面走査
走査線密度	ファクス： 標準モード 8 dot / mm × 3.85 line / mm ファインモード 8 dot / mm × 7.7 line / mm スーパーファインモード 8 dot / mm × 15.4 line / mm コピー： メモリコピー 300 dpi 相当 × 300 dpi 相当
電送時間 (キヤノン FAX 標準チャート No.1)	ECM-JBIG (ITU-T 対応) 約 2 秒台
適用回線	電話網、ファクシミリ通信網、NCC 回線
オートダイヤル機能	ワンタッチダイヤル 76カ所 短縮ダイヤル 168カ所
給紙方式	カセット給紙 (200 枚) (オプションカセット増設時 400 枚)
電源	100 V (50/60 Hz)
消費電力	待機時 約 5.1 W コピー時 約 30 W 最大消費電力 (瞬時) : 40W (以下)
直流抵抗値	約 250 Ω
使用環境	温度 5 °C ~ 35 °C 湿度 10 %RH ~ 90 %RH
質量	● 約 10.6 kg (FINE カートリッジを装着。記録紙を除く) ● 約 10.9 kg (FINE カートリッジ、オプションのハンドセットを装着) ● 約 14 kg (FINE カートリッジ、オプションのカセットフィーダを装着)
外形寸法	約 417 mm (幅) × 約 619 mm (奥行き) × 約 302 mm (高さ) (オプションのハンドセット、カセットフィーダを除き、原稿台延長トレイを収納した状態時)

※ 外観・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

電送時間は手順信号を含まない画像電送のみの時間です。

一般の電話回線での電送速度は、28.8 Kbps 程度です。回線の状況等によってはこの速度以下になる場合もあります。

消耗品のご注文先

販売店

電話番号

担当部門

担当者

サービス担当者 連絡先

販売店

電話番号

担当部門

担当者

本機で使用できるFINEカートリッジ番号は、以下のものです。

BX-95

FINEカートリッジについてのご注意

- ・FINEカートリッジに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本機の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- ・インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やFINEカートリッジの故障の原因となることがあります。非純正インクのご使用はお勧めしません。
- ・非純正インクカートリッジまたは非純正インクを使用したことによる不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※ FINEカートリッジの交換については、199ページを参照してください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
(全国共通番号)

050-555-90055

[受付時間] 〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
(1/1～3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9331をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

紙幣、有価証券などを本機で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条 等